

(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事

(建築)

令和元年度

沖縄県住宅供給公社

図 面 目 録

意 匠 図 構 造 図

図面番号	図面名称	A1縮尺	図面番号	図面名称	A1縮尺	図面番号	図面名称	A1縮尺	図面番号	図面名称	A3縮尺	図面番号	図面名称	A1縮尺
A - 001	図面目録		A - 036	EVホール・受水槽室等平面詳細図	1/50	A - 071	UB詳細図	図示				S - 001	構造設計標準仕様書	図示
A - 002	特記仕様書(1)		A - 037	平面詳細図(1LDK・2DK)	1/50	A - 072	サインKEYPLAN	1/200				S - 002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	図示
A - 003	特記仕様書(2)		A - 038	平面詳細図(2DK・2LDK・3LDK)	1/50	A - 073	サイン詳細図	図示				S - 003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	図示
A - 004	特記仕様書(3)		A - 039	A断面詳細図(1)	1/50	A - 074	内装パネルリスト図	1/50				S - 004	柱状図(1)	1/200
A - 005	特記仕様書(4)		A - 040	A断面詳細図(2)	1/50	A - 075	内装パネル標準詳細図	1/200				S - 005	柱状図(2)	1/200
A - 006	特記仕様書(5)		A - 041	B断面詳細図	1/50	A - 076	1LDK 内装材割付図-1	1/50				S - 006	杭芯図・基礎伏図	1/150
A - 007	特記仕様書(6)		A - 042	C断面詳細図	1/50	A - 077	2DK(1) 内装材割付図-1	1/50				S - 007	2階伏図・3階伏図	1/150
A - 008	特記仕様書(7)		A - 043	階段詳細図	1/50	A - 078	2DK(2) 内装材割付図-1	1/50				S - 008	4階伏図・5階伏図	1/150
A - 009	特記仕様書(8)		A - 044	展開図-1(共用部1)	1/50	A - 079	2LDK 内装材割付図-1	1/50				S - 009	6階伏図・屋根伏図	1/150
A - 010	特記仕様書(9)		A - 045	展開図-2(共用部2)	1/50	A - 080	3LDK 内装材割付図-1	1/50				S - 010	軸組図(1)	1/150
A - 011	特記仕様書(10)		A - 046	展開図-3(1LDK)	1/50	A - 081	1LDK 内装材割付図-2	1/50				S - 011	軸組図(2)	1/150
A - 012	特記仕様書(11)		A - 047	展開図-4(2DK)	1/50	A - 082	2DK(1) 内装材割付図-2	1/50				S - 012	軸組図(3)	1/150
A - 013	特記仕様書(12)		A - 048	展開図-5(2DK)	1/50	A - 083	2DK(2) 内装材割付図-2	1/50				S - 013	軸組図(4)	1/150
A - 014	案内図・配置図	1/200	A - 049	展開図-6(2LDK)	1/50	A - 084	2LDK 内装材割付図-2	1/50				S - 014	地中梁・基礎リスト	1/50
A - 015	仮囲い配置図	1/200	A - 050	展開図-7(3LDK)	1/50	A - 085	3LDK 内装材割付図-2	1/50				S - 015	柱リスト	1/30
A - 016	敷地面積求積図	1/250	A - 051	床伏せ図 1	1/50	A - 086	経層探査面積求積図	1/100				S - 016	梁リスト	1/30
A - 017	建築面積求積図	1/200	A - 052	床伏せ図 2	1/50	A - 087	経層探査断面図	図示				S - 017	小梁・スラブ・壁・階段リスト	1/30
A - 018	床面積求積図(基準法)	1/200	A - 053	天井伏図 1	1/100	A - 088	鉛直探査孔配置図	1/100				S - 018	セルボイドスラブ標準仕様書	—
A - 019	住戸別床面積表(1)(公営法)	1/100	A - 054	天井伏図 2	1/100	A - 089	鉛直探査断面図 A区域	1/100				S - 019	セルボイドスラブリスト・配筋要領書 断面配筋図	図示
A - 020	住戸別床面積表(2)(公営法)	1/100	A - 055	建具表KEYPLAN(共用部分)	1/50	A - 090	鉛直探査断面図 B区域	1/100				S - 020	2~6、R階セルボイドスラブ配筋区分図書	1/150
A - 021	1階床面積求積図(公営法)	1/150	A - 056	金属製建具表(共用部)	1/50	A - 091	鉛直探査断面図-1 C区域	1/100						
A - 022	基準階床面積求積図(公営法)	1/150	A - 057	建具表KEYPLAN(住戸部分)	1/50	A - 092	鉛直探査断面図-2 C区域	1/100						
A - 023	面積集計表(公営法)		A - 058	金属製建具表(住戸別)	1/50									
A - 024	仕上表		A - 059	木製 建具 KEYPLAN(住戸部分)	1/200									
A - 025	住戸KEYPLAN	1/250	A - 060	雨水排水図	1/200									
A - 026	1階平面図	1/100	A - 061	雑詳細図(1)	1/100									
A - 027	基準階平面図	1/100	A - 062	雑詳細図(2)	1/50									
A - 028	屋根伏図	1/100	A - 063	雑詳細図(3)	1/50									
A - 029	立面図	1/200	A - 064	雑詳細図(4)	1/100									
A - 030	断面図	1/200	A - 065	雑詳細図(5)	1/50									
A - 031	1階平面詳細図 1/2	1/50	A - 066	雑詳細図(6)	1/20									
A - 032	1階平面詳細図 2/2	1/50	A - 067	雑詳細図(7)	1/20									
A - 033	基準階平面詳細図 1/2	1/50	A - 068	雑詳細図(8)	1/20									
A - 034	基準階平面詳細図 2/2	1/50	A - 069	雑詳細図(9)	1/20									
A - 035	集会室平面詳細図	1/50	A - 070	雑詳細図(10)	1/20									

工事名称	(仮称)公社赤道都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	図面目録
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1= A3=
適用		図面番号	A-001
検印	管理建築士	設計	製図
		設計者	名称 (株)かみもり設計
			資格者氏名 比嘉 豊 第305084号
			登録番号 第103-478号
		所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号

平成29年版 公共住宅建設工事特記仕様書	沖縄県土木建築部施設建築課	章 項 目	特 記 事 項
----------------------	---------------	-------	---------

I 工事概要

(1) 工 事 名：(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)

(2) 工事場所：沖縄県うるま市赤道972-51 他3筆

(3) 敷地面積： 4,909.99 m²

(4) 工事種目：新築工事 (5) (地域地区等：第1種中高層住居専用地域)

ア 建築物

建築物の名称	公社赤道団地		
主要用途	共同住宅		
構造及び階数	R C造 6階建		
工事種別	新築工事		
建築面積	799.87 m ²		
延べ面積	3,920.60 m ²		
建設戸数	住戸56戸 + 集会所1戸		

イ 工作物及び立木

工作物等の名称			
数 量			

2 本工事の設計時期
本工事の設計書は、令和【1】年【10】月時点での公共住宅建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。

3 建築工事仕様

(1) 標準仕様
図面及びこの特記仕様に記載されていない事項は、すべて「公共住宅建設工事共通仕様書 (建築工事編)」[平成28年版] (以下「共通仕様書」という。)による。

(2) 特記仕様
ア 章は、番号に○印の付いた章を適用する。
イ 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
ウ 特記事項は「・」に○印のついたものを適用する。「・」に○印がつかない場合は「※」のついたものを適用する。「・」と「※」共に○印がついた場合は共に適用する。
エ 特記事項のうち【 】については、適用する事項を選択して記載すること。
オ 項目及び特記事項に記載の（. . .）内表示番号は、共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
カ 形状寸法の単位は、特記なき限りmmとし、質量も従来どおりkgであるが、力（N：ニュートン）、応力（N/mm²）、圧力（Pa：パスカル）、エネルギー（J：ジュール）等は基本的には国際単位系（SI単位）を使用する。

4 その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力
ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。
イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。
ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調整・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。
エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策
請負人は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書（平成19年7月24日）」に基づき、次に關する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。
ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。
ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。

(3) ワンデーレスポンスの実施
ア この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。「ワンデーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。
イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。
ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて文書にて監督員へ報告すること。

エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合がありますため、協力すること。

(4) 工事監督業務の一部委託
ア 本工事は、沖縄県財務規則第112条第1項の規定に基づき発注者又は建設工事請負契約書（以下「契約書」という。）第9条に基づく監督員（以下「監督員」という。）が行う監督業務の一部を委託し、職員以外のもの（以下「管理技術者等」という。）が監督業務の一部を実施する。
イ 受注者又は契約書第10条に定める現場代理人及び主任技術者等（以下「現場代理人等」という。）は、管理技術者等が監督員に代わり現場で立会等をする場合には、その業務に協力しなければならない。また、書類の提出に関し、説明を求められた場合はこれに応じなければならない。ただし、管理技術者等は、指示、承諾、協議及び確認の適否等を行う権限は有しない。
ウ 監督員から現場代理人等に対する指示又は通知等は管理技術者等を通じて行うことがあるので、この際は監督員から直接指示又は又は通知等があったものと同等である。
エ 監督員の指示により、現場代理人等が監督員に対して行う報告又は通知等は、管理技術者等を通じて行うことができるものとする。

(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて
本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約の場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率（元契約額÷元設計額）を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。

(6) 県産資材の優先使用
本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。

(7) 下請業者の県内企業優先活用
請負業者は、下請契約の相手方を県内企業（主たる営業所を沖縄県内に有する者。）から選定するように努めなければならない。

(8) 不発弾等発見時の処理について
本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署（交番、駐在所）に報告すると共に、監督員を通して関連市町村（防災主管課）、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術管理課に報告すること。
また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。なお、これについては、下請業者へも周知すること。

(9) ダンプトラック等による過積載等の防止について
ア 工事用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。
イ 過積載を行っている資材納入者から、資材購入をしないこと。
ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。
エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に入りすることのないようにすること。
オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。
カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。

(10) 不正軽油の使用の禁止等について
ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）又は建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。）を使用し、又は使用させてはならない。
イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。

(11) 設計図書における資材等の取扱いについて
ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。
イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとおり品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等級以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。
ウ 「参考図」は建設工事請負契約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。

(12) 工事の余裕期間
本工事は、余裕期間を設定【 ・して ・しないで 】実施する工事である。
(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。
(2) CO-RINDS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。
(3) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は、不要とする。
(4) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものである。
(5) 受注者は、着手関係書類（工程表、請負代金内訳書を除く）について、実工期の始期に提出するものとする。
(6) 受注者は、余裕期間内においては資材の搬入、仮設物の設置等工事の着手を行ってはならない。ただし、余裕期間内に施工体制等及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議を行い、速やかに工事着手するとともに、着手関係書類を提出するものとする。
(7) 実工期の始期に変更が生じた場合は、全体工期の変更協議を行う。
(8) 受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。

(13) 住宅瑕疵担保履行法による資力確保措置について
ア 住宅瑕疵担保履行法による資力確保措置のため住宅瑕疵担保責任保険に加入するものとする。

(14) 情報共有システム
本工事は、沖縄県が指定する情報共有システムを使用する。
(1) 現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。
【インターネット環境】：ブロードバンド回線 【パソコンOS】：Microsoft Windows Vista／7／8／10
【推奨ブラウザ】：Internet Explorer 8.0／9.0／10.0

情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。
(2) 受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあつては、1件当たり67,000円にその消費税相当額を加えた使用承諾料を「沖縄県CALSシステム運営業務」を受託している者に支払うこと。
(3) 沖縄県CALSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること

1 章 一般共通事項

1 節 一般事項

1 適用基準等
・公共住宅建設共通仕様書〔公共住宅事業者等連絡協議会 編集〕〔最新版〕
・建築工事標準仕様書〔国土交通省大臣官房官庁営繕部監修〕〔最新版〕
・建築工事監理指針〔国土交通省大臣官房官庁営繕部監修〕〔最新版〕
・公共住宅標準詳細図集〔ベターリビング 〕〔最新版〕
・建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事〔最新版〕
・鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説 〔(一社)日本建築学会〕〔最新版〕
・鉄筋鉄骨コンクリート造配筋指針・同解説 〔(一社)日本建築学会〕〔最新版〕
・プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説 〔(一社)日本建築学会〕〔最新版〕
・プレストレストコンクリート造技術基準解説及び設計・計算例 〔(一社)日本建築センター〕〔最新版〕
・敷地調査共通仕様書〔国土交通省・国営整第183号〕〔最新版〕
・建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿〔最新版〕
・営繕工事写真撮影要領 (最新版)・同解説 工事写真の撮り方 (建築編)
・防錆に関する工事仕様書作成要領 (案)〔沖縄金属腐食対策協議会発行〕〔最新版〕
・「沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体等・再資源化等及び再生資源活用に関する実施要領」〔沖縄県土木建築部〕〔最新版〕
・構造計画・施工計画の留意事項〔沖縄県土木建築部〕〔平成25年4月〕
以上の図書は現場に常備するものとする。

2 工事実績情報の登録
登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。

3 工事の一時中止する事項
工事の一時中止に係る計画の作成
(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に關する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械等の確認に關すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に關すること及び工事現場の維持・管理に關する基本的事項を明らかにする。
(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

2 節 工事関係図書

1 実施工程表 (1.2.1)
図示された範囲は【平成 年 月 日】までに完了すること。

2 施工計画書 (1.2.2)
b. c) 品質計画
建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。
(1) 風速：V0=46m/s (平12建造第1454号第2)
(2) 地表面粗度区分： III

4 施工図等 (1.2.3)
(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。
(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図 (各1/50程度) 及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。
(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。

3 節 工事現場管理

1 電気保安技術者 (1.3.3)
2 施工条件 (1.3.5)
1 電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。
1 施工順序等の制約 ・無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・ 】
工事車両の駐車場 : ・図示 ・現場説明書による ・
資材、機材置場 : ・図示 ・現場説明書による ・
建設発生土の仮置場 : ・図示 ・現場説明書による ・
その他の施工条件 : ・図示 ①現場説明書による ・

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	特記仕様書 (1)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale
通 用		図面番号	A -002
検 印	管理建築士	設 計	製 図
	名 称		(株) かみもり設計
	資格者氏名		比嘉 豊 第305084号
	登録番号		第103-478号
所在地		沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項
③ 交通安全管理 (1.3.8)	国道5路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(平成18年12月1日 沖縄県公安委員会告示第163号)	⑧ 養生 (1.3.12)	既存部分、工事目的物の施工済み部分等について、汚損又は損傷のないよう適切な方法で養生を行う。		ア ゆいぐる材利用状況報告書 イ ゆいぐる材出荷量証明書 (3) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。
④ 主任技術者 監理技術者	(1) 工事請負代金額が3,500万円以上(建築一式工事の場合7,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。 ア 現場施工に着手するまでの期間 【現場施工に着手する日が確定している場合】 請負契約の締結の日の翌日から平成 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 【現場施工に着手する日が確定していない場合】 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 イ 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事完成を確認した旨、受注者に通知した日(工事検査合格通知書における日付)とする。 (2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。 イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(健康保険被保険者証等の写し)を提出しなければならない。	⑨ 既存建物との 取り合い	工事中、取り合い部その他本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は、原状に復する。		
		⑩ 近隣との調整	工事の施工に当たっては、近隣との十分な調整を行うとともに、施工の安全確保を図ること。		
			4 節 材 料		2 章 仮設工事
		① ゆいぐる材の 使用等	(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、原則「ゆいぐる材」とする。ただし、ゆいぐる材がない離島等での工事の場合は、ゆいぐる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいぐる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいぐる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいぐる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。 (2) ゆいぐる材の品質管理 ア ゆいぐる材の品質管理にあたっては、「標準仕様書」等のほかに「ゆいぐる材品質管理要領」に基づいて行うこと。 イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいぐる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいぐる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。 ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。 エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。	① 足場、その他 (2.2.4)	・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 4 設置する足場、作業構台等の設置：【 ・ ※ 建築工事】 5 仮囲いの位置等：【 ※ 図示による 】 6 工事用道路、工事用水、排水及び特殊仮設： 【 ※本工事に支障のないよう、請負者(施工協力会)で適切に管理するものとする。】 7 赤土処理プラント：【 ・ ※図示による 】
			5 節 施 工		2 節 縄張り、遣り方、足場その他
⑤ 工事の保険等	(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。 【 ・ 火災保険 ・ 建設工事保険 ・ 組立保険 ・ 請負業者賠償責任保険 】 (2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。 (3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。 ア 掛金収納書を契約後一ヶ月以内に発注者に提出する。 イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。 ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。	① 技能士 (1.5.2)	技術検定の職員及び作業の種別： 適用工事種別 技能検定作業 鉄筋工事 ・ 鉄筋施工(鉄筋組み立て作業) コンクリート工事 ・ 型枠施工 ・ コンクリート圧送施工 PC工事 ・ とび ブロック・ALC・パネル工事 ・ ブロック建築 ・ ALCパネル施工 防水工事 ・ アスファルト防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ ウレタン塗膜防水 ・ シーリング防水 ・ 無機質浸透性塗布防水 石工事 ・ 石材施工(石張り施工) タイル工事 ・ タイル工事 木工事 ・ 建築大工 屋根及びとい工事 ・ 建築板金(内外装板金施工) ・ 瓦施工 金属工事 ・ 内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) 左官工事 ・ 左官 建具工事 ・ 建具製作 ・ サッシ施工 ・ ガラス施工 カーテンウォール工事 ・ カーテンウォール施工(PC) ・ サッシ施工 塗装工事 ・ 塗装(・ 建築施工 ・ 木工塗装 ・ 金属塗装) 内装工事 ・ プラスチック系床仕上げ ・ カーペット床仕上げ ・ ボード仕上げ ・ 畳製作 ・ 表装(・ 壁装作業 ・ 表具作業) 補装工事 ・ 造園	① 監督員事務所 受注者事務所等 (2.3.1)	1 監督員事務所の設置及び同所の備品の設置：【 ・ 建築〇工区】 2 監督員事務所消費する水道光熱費は、請負者【建築〇工区】負担とする。 3 原則として軽量鉄骨造(プレハブ工法)とする。
⑥ 施工中の環境 保全等 (1.3.10)	(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。 (2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成14年4月1日付け国総施設第225号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5~260kW) ア バックホウ イ 車輪式トラクタショベル ウ ブルドーザ エ 発動発電機 オ 空気圧縮機 カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの) キ ローラ類 ク ホイールクレーン	② 施工の検査等 (1.5.5)	(c) 見本施工の実施【 ・ 実施する ・ 実施しない 】		3 節 仮設物
⑦ 発生材の処理等 (1.3.11)	(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。 発生材の種類 発注者に引き渡すもの 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法 現場において再利用を図るもの (2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。 (3) 工事着手前にあらかじめ、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出する。また、工事完成時には、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督員に提出する。なお、提出に当たっては国土交通省のホームページで提供されているCREDAS(クレダス)入力システムで作成したデータ形式により行うこと。 (4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいぐる材の認定を受けた施設又はゆいぐる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいぐる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。 (5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件の合う中から運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。	③ 化学物質の 室内濃度測定 (1.5.9)	(1) 測定方法の基準、測定方法、測定対象室及び測定箇所数 ・ 「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」(国営整第4号 平成24年4月5日) ・ 「学校における室内空気汚染対策について」(15学健第11号 平成15年7月4日) 測定対象室 測定箇所数 備 考 各タイプ別 住戸2室 検査対象室は、居室とする。 (2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡は受けない。		4 節 仮設物
		① 完成図 安全に関する資料 (1.7.3)	※ 完成図 ※ 安全に関する資料 (1) 本工事は電子納品対象工事とする。 ア 工事完成時の提出図書は電子媒体(CD-R)で納品する。電子納品に関する基準は、「電子納品運用ガイドライン(案)」【営繕事業編】によるほか、監督員の指示による(署名捺印の取扱いは同ガイドライン(案)によるほか、監督員と協議すること)。 イ 納品する電子媒体は、一般財団法人沖縄県建設技術センターにおいて収録内容の確認を受けた後に、同センター発行の確認証とともに提出する。 ウ 電子化に要する費用は共通費に含まれているものとする。 (2) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。		1 監督員事務所 受注者事務所等 (2.3.1)
			7 節 完成図書		1 監督員事務所 受注者事務所等 (2.3.1)
					4 示物(各種図表を見やすい位置に掲示する)： 【 ・ 工程表 ・ 工事関係者機構図 ・ 各関係機関連絡先図表 ・ 安全管理者組織図 ・ 施工体系図 】 ※参考平面図 ・ 監督員事務所の備品については、特記仕様書(12)、A-013図の12節その他に記載 6 工事用水 構内既存の施設：【 ・ 利用できない ・ 利用できる(有償) ・ 利用できる(無償) 】 7 工事用電力 構内既存の施設：【 ・ 利用できない ・ 利用できる(有償) ・ 利用できる(無償) 】 8 受注者事務所等 (a) 請負者事務、所従業員休憩所、便所等は関係法令に従って設ける。 (b) 従業員宿舎は原則として工事現場内に設けてはならない。 (c) 工事現場の適切な場所に、工事名称、建築主名、工期計画通知番号及び通年月日を記入した表示板(2400×1200以上)及び完成予想図(900×1800程度)を監督員の指示する位置に設ける。 (d) 仮設建物は、下記のものとし設置場所については、監督員の承諾を受ける。： 【 ・ 請負者事務所(m2程度) ・ その他必要と認められるもの()】 (e) 工事期間中、保安員を配置する。費用は請負者(施工協力会)負担とする。 (f) 本工事で消費する水道光熱費等はすべて請負者(施工協力会)負担とする。
					工事名称 (仮称)公社赤通都市再生住宅整備工事(建築) 工事年度 令和1年度 工事場所 うるま市赤通972番51、929番11 図面名称 特記仕様書(2) 発注機関 沖縄県住宅供給公社 縮 尺 No Scale 適用 図面番号 A-003 管理建築士 設 計 製 図 設 計 者 名 称 (株)かみもり設計 資格者氏名 比嘉 豊 第305084号 登録番号 第103-478号 所在地 沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																													
8 節 記 録		2 節 建物その他調査		5 節 サンプリング																																														
① 完成図その他 (1.8.4)	<p>(1) 本工事は電子納品対象工事とする。</p> <p>ア 工事完成時の提出図書は電子媒体(CD-R)で納品する。電子納品に関する基準は、「電子納品運用ガイドライン(案)」[営繕事業編]によるほか、監督員の指示による(署名捺印の取扱いは同ガイドライン(案)によるほか、監督員と協議すること)。</p> <p>イ 納品する電子媒体は、一般財団法人沖縄県建設技術センターにおいて収録内容の確認を受けた後に、同センター発行の確認証とともに提出する。</p> <p>ウ 電子化に要する費用は共通費に含まれているものとする。</p> <p>(2) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。</p> <p>ア ゆいぐる材利用状況報告書</p> <p>イ ゆいぐる材出荷量証明書</p> <p>(3) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。</p>	<p>1 一般事項 (1.2.1) 1 調査の種類及び範囲：【 ・ 】 4 掘削調査：【 ・ 】</p> <p>2 建物調査 (1.2.2) 2 建物調査図の内容 1.2.2表 矩計図の箇所：【 ・ 】</p> <p>3 工作物及び立木調査 (1.2.4) 2 立木 (2)調査対象立木：【 ・ ※すべてとする】</p> <p>4 電気設備調査 (1.2.5) 3 接地抵抗又は大地抵抗率の測定種別：【 ・ 】</p>	<p>1 土質試験用試料 (乱した試料) (2.5.1) 2 採取位置、深度、土質等：【 ・ 】</p> <p>2 土質試験用試料 (乱さない試料) (2.5.2) 1 サンプラーの種類：【 ・ 】 2 採取位置、深度、土質等：【 ・ 】</p> <p>3 標本用試料 (2.5.3) 1 採取位置、個数：【 ・ ※地層の変化すること採取 】</p>																																															
【調査編】 1 章 敷地調査工事		2 章 地盤調査工事		6 節 サウンディング																																														
② 設計図CADデータの貸与	<p>本工事は、沖縄県が指定する情報共有システムを使用する。</p> <p>(1) 現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>【インターネット環境】：ブロードバンド回線 【パソコンOS】：Microsoft Windows Vista/7/8/10 【推奨ブラウザ】：Internet Explorer 8.0/9.0/10.0</p> <p>情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。</p> <p>(2) 受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあつては、1件当たり67,000円にその消費税相当額を加えた使用承諾料を「沖縄県CALSシステム運営業務」を受託している者に支払うこと。</p> <p>(3) 沖縄県CALSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること(支払いの事実を証明する書類(銀行振り込みの写し等)を提出)。</p>	<p>② 1 調査の種類 (2.1.2) 地盤、地質及び土質調査の種類：【 ・ 】</p> <p>2 業務実績情報の登録 (2.1.3) 測量調査設計業務実績情報(TECRIS)を登録：【 ・ 】</p> <p>3 作業計画 (2.1.4) 2 作業計画書の記載事項：【 ・ ※(1)~(6)】</p> <p>4 調査技術者 (2.1.5) 2 管理技術者の資格等：【 ・ 】</p> <p>5 調査地点の位置、深さ、標高 (2.1.6) 1 標高の表示方法：【 ・ 】</p> <p>6 調査の実施 (2.1.8) 1 調査の種類、数量及び調査箇所：【 ・ 】</p> <p>7 現場管理 (2.1.9) 7 現場作業の終了後の試験孔の埋め戻し：【 ・ ※セメントミルク等で埋め戻す】</p> <p>8 報告書 (2.1.10) 報告書の部数：【 ・ 】 (2)高度な各種地盤解析並びに地質解析業務を行う場合：【 ・ 】</p>	<p>1 一般事項 (2.6.1) 試験位置：【 ・ 】</p> <p>2 標準貫入試験 (2.6.2) 2 試験の間隔：【 ・ ※1m】</p>																																															
③ 情報共有システム		<p>② 1 調査の種類 (2.1.2) 地盤、地質及び土質調査の種類：【 ・ 】</p> <p>2 業務実績情報の登録 (2.1.3) 測量調査設計業務実績情報(TECRIS)を登録：【 ・ 】</p> <p>3 作業計画 (2.1.4) 2 作業計画書の記載事項：【 ・ ※(1)~(6)】</p> <p>4 調査技術者 (2.1.5) 2 管理技術者の資格等：【 ・ 】</p> <p>5 調査地点の位置、深さ、標高 (2.1.6) 1 標高の表示方法：【 ・ 】</p> <p>6 調査の実施 (2.1.8) 1 調査の種類、数量及び調査箇所：【 ・ 】</p> <p>7 現場管理 (2.1.9) 7 現場作業の終了後の試験孔の埋め戻し：【 ・ ※セメントミルク等で埋め戻す】</p> <p>8 報告書 (2.1.10) 報告書の部数：【 ・ 】 (2)高度な各種地盤解析並びに地質解析業務を行う場合：【 ・ 】</p>	<p>7 節 原位置試験</p> <p>1 現場密度測定 (2.7.1) 1 種別：【 ・ 】</p> <p>2 現場透水試験 (2.7.2) 2 試験方法の種類：【 ・ 】</p> <p>3 間隙水圧試験 (2.7.3) (3)遮水方法及び間隙水圧計の設置方法：【 ・ 】</p> <p>4 孔内水平載荷試験 (2.7.5) 2 試験器具：【 ・ 】</p> <p>5 揚水試験 (2.7.5) 2 観測井戸の設置位置、深度及び試験方法等：【 ・ 】</p> <p>③ 6 地盤の平板載荷試験 (2.7.6) 2 載荷試験の適用【 ・ ※階段式載荷】</p> <p>7 建物の沈下測定 (2.7.8) 1 基準点、測点は次による。 (1)基準点の構造：【 ・ 】 (2)建物の測点位置：【 ・ 】</p>																																															
1 節 敷地測量		2 節 事前調査		8 節 土質試験																																														
敷地調査工事	<p>1 一般事項 (1.1.1) 1 測量の種類及び範囲：【 ・ 図示による 】 4 測点の表示杭：【 ・ ※45mm、長さ600mm程度の本杭 】 5 成果品その他 (1)提出物図の縮尺：【 ・ 】 (2)平面図の原図用紙：【 ・ ※マイラーベース、電子出力 】 (3)求精図、縦横断面図その他の原図用紙：【 ・ ※トレーシングペーパー】</p> <p>2 平面測量 (1.1.2) 1 測量の方法 (3)その他の場合の測量：【 ・ ※(1)、(2)】</p> <p>3 平面図 (3)真北線の測定方法及び記載方法：【 ・ ※測定方法、記載方法の標準仕様有り】</p> <p>3 水準測量 (1.1.3) 1 方眼紙 (1)方眼紙の方向：【 ・ ※監督員の指示】 2 ペンチマーク (2)ペンチマークの設置方法：【 ・ ※コンクリート等】 5 等高線の記入：【 ・ 】 6 縦横断面図 (1)断面箇所：【 ・ ※1.1.3表の方眼紙の間隔】 (2)縦横断面図：【 ・ ※1.1.5表による 】 (3)1.1.5表以外の縮尺：【 ・ 】</p>	<p>1 調査の目的及び内容 (2.2.1) 調査の目的及び内容：【 ・ 】</p> <p>2 資料収集 (2.2.2) 収集すべき既存資料の範囲、内容及び整理、分析：【 ・ 】</p> <p>3 現地踏査 (2.2.4) 1 現地踏査の範囲、内容及び整理、分析：【 ・ 】</p> <p>4 結果の整理 (2.2.5) 1 図面の縮尺及び断面図の作成の位置：【 ・ 】</p>	<p>1 試験の目的内容 (2.8.1) 1 実施種目及び数量並びに本節に記載なき事項等：【 ・ 】</p> <p>③ 2 CBR試験 (2.8.13) 1 試験種別：【 ・ JIS A1211】</p> <p>3 三軸圧縮試験 (2.8.16) 1 種別及び数量：【 ・ 】</p>																																															
3 節 物理探査・検層		3 節 物理探査・検層		磁気探査																																														
		<p>1 調査の目的及び内容 (2.3.1) 1 調査種目及び内容：【 ・ 】</p> <p>2 電気探査 (2.3.3) 3 最大電極間隔：【 ・ 】</p> <p>3 弾性波速度検層 (PS検層) (2.3.5) 2 検層方法：【 ・ 】 3 測定間隔：【 ・ ※1m】</p> <p>4 常時微動測定 (2.3.6) 3 測定方法：【 ・ 】 (2)地中で2箇所以上の測定を行い場合：【 ・ 】 (3)高層建築物、免震構造等の場合で、固有周期5秒の換振器を併用する場合：【 ・ 】</p>	<p>① 磁気探査 (1)探査種別、位置、探査対象深さ等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>鉛直探査</th> <th>経層探査(水平)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>位 置</td> <td>建物部：杭、基礎等</td> <td>全層外部：根切り、総堀部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>探査対象</td> <td>杭工事掘削深さによる</td> <td>深さ0.5mごとに水平探査を行い、根切り底面が確認できる深さ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>深 さ</td> <td>【 ・ 図示による】</td> <td>【 ・ 図示による】</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 探査仕様 1 「磁気探査実施要領(案)」(平成25年4月 沖縄県土木建築部制定)による。</p> <p>③ 磁気探査実施 2 工事区分：【 建築 】にて実施する。</p>	種 類	鉛直探査	経層探査(水平)	備 考	位 置	建物部：杭、基礎等	全層外部：根切り、総堀部分		探査対象	杭工事掘削深さによる	深さ0.5mごとに水平探査を行い、根切り底面が確認できる深さ		深 さ	【 ・ 図示による】	【 ・ 図示による】																																
種 類	鉛直探査	経層探査(水平)	備 考																																															
位 置	建物部：杭、基礎等	全層外部：根切り、総堀部分																																																
探査対象	杭工事掘削深さによる	深さ0.5mごとに水平探査を行い、根切り底面が確認できる深さ																																																
深 さ	【 ・ 図示による】	【 ・ 図示による】																																																
				<table border="1"> <tr> <td>工事名称</td> <td>(仮称)公社赤通都市再生住宅整備工事(建築)</td> <td>工事年度</td> <td>令和1年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>うるま市赤通972番51、929番11</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書(3)</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>沖縄県住宅供給公社</td> <td>縮 尺</td> <td>No Scale</td> </tr> <tr> <td>適 用</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>A-004</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検 印</td> <td>管理建築士</td> <td>設 計</td> <td>製 図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>名 称</td> <td>(株)かみもり設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>資格者氏名</td> <td>比嘉 豊 第305084号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>登 録 番 号</td> <td>第103-478号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>所 在 地</td> <td>沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号</td> </tr> </table>		工事名称	(仮称)公社赤通都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度	工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書(3)	発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale	適 用		図面番号	A-004	検 印	管理建築士	設 計	製 図												名 称	(株)かみもり設計			資格者氏名	比嘉 豊 第305084号			登 録 番 号	第103-478号			所 在 地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号
工事名称	(仮称)公社赤通都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度																																															
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書(3)																																															
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale																																															
適 用		図面番号	A-004																																															
検 印	管理建築士	設 計	製 図																																															
		名 称	(株)かみもり設計																																															
		資格者氏名	比嘉 豊 第305084号																																															
		登 録 番 号	第103-478号																																															
		所 在 地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号																																															

章 項目	特記事項																																																		
	【建築編】 1章 一般共通事項																																																		
	1節 一般事項																																																		
	① ① 関連工事との 取合い (1.1.3)	ガス設備工事、エレベーター設備工事、機械式駐車装置設備工事及びその他設備工事が別契約の場合の工事の区分： 【 ※ 図示による 】 別途工事：【 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・屋外設備工事 ・景工事 ・その他関連工事 】																																																	
	スリーブの位置、径及び開口部補強：【 ※ 図示による（構造設計標準仕様書等）による 】																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工事内容</th> <th colspan="4">本工事</th> </tr> <tr> <th>建築</th> <th>電気</th> <th>機械</th> <th>土木</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通の補強及び開口部の補強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切り込み及び下地材の補強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び装置スイッチ</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 自動閉鎖装置取り付け箇所の切り込み補強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 屋上等に設置する場合の設備機器類の基礎(架台)</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外気取り付けがらり(ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む)</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 身障者用手すり(衛生機器回りの手すりを含む)</td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ その他 鉄筋コンクリート部の貫通口及び箱入れ部の補強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		工事内容	本工事				建築	電気	機械	土木	・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通の補強及び開口部の補強	※				・ 図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切り込み及び下地材の補強	※				・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び装置スイッチ	※				・ 自動閉鎖装置取り付け箇所の切り込み補強	※				・ 屋上等に設置する場合の設備機器類の基礎(架台)	※				・ 外気取り付けがらり(ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む)	※				・ 身障者用手すり(衛生機器回りの手すりを含む)	※		※		・ その他 鉄筋コンクリート部の貫通口及び箱入れ部の補強	※			
	工事内容	本工事																																																	
		建築	電気	機械	土木																																														
	・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通の補強及び開口部の補強	※																																																	
	・ 図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切り込み及び下地材の補強	※																																																	
・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び装置スイッチ	※																																																		
・ 自動閉鎖装置取り付け箇所の切り込み補強	※																																																		
・ 屋上等に設置する場合の設備機器類の基礎(架台)	※																																																		
・ 外気取り付けがらり(ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む)	※																																																		
・ 身障者用手すり(衛生機器回りの手すりを含む)	※		※																																																
・ その他 鉄筋コンクリート部の貫通口及び箱入れ部の補強	※																																																		
別契約の関連工事については、その工程及び施工に関し、監督員の指示により、当該工事関係者と協力し、円滑な進捗をはかる。																																																			
3章 土工事																																																			
2節 根切り及び埋め戻し																																																			
⑤ ① 根切り (3.2.1)	支持力：【 ・ 】																																																		
② 埋戻し及び盛土 (3.2.3)	(b) 建物の根切り部分に行う埋戻し及び1階床下の盛土： 【 ・ ※ 根切り発生土、異物は取り除く 】																																																		
③ 地ならし (3.2.4)	地ならし：【 ・ ※ 建物周囲4m以内 】 地ならしの高さ：【 ・ ※ 図示による 】																																																		
④ 残土処分 (3.2.5)	残土処分：【 ・敷地外指定場所に処分 ※ 敷地内に処分 】 受け入れ施設名：【 ・協議し、受け入れ施設を決定し、工事間再利用とする。 】 仮置場所：【 ・敷地内 】																																																		
3節 山留め																																																			
1 山留めの施工 (3.3.3)	山留めの存置を【 ・行う ・行わない 】																																																		
4章 地業工事																																																			
2節 試験及び報告																																																			
④ 1 一般事項 (4.2.1)	(a) この節に示す試験によらない試験を行う場合：【 ・ 】																																																		
2 試験杭 (4.2.2)	(a) 試験杭の位置、本数及び寸法：【 ・ ※ 図示による 】																																																		
3 杭の載荷試験 (4.2.3)	(a,c) 杭の載荷試験：【 ・ ※ 試験方法は(公社)地盤工学会の「杭の鉛直載荷試験方法・同解説」及び「杭の水平載荷試験方法・同解説」 】 (b) 試験杭の位置、本数、載荷荷重等【 ・ 】 (e) 報告書の記載事項等：【 ※ 必要 】																																																		
4 地盤の載荷試験 (4.2.4)	(a,d) 地盤の載荷試験：【 ・ ※ 試験方法は(公社)地盤工学会基準 】 (b) 試験位置及び載荷荷重：【 ※ 構造図による 】 (e) 報告書の記載事項等：【 ※ 必要 】																																																		
3節 既製コンクリート杭地業																																																			
1 材 料 (4.3.2)	1 種類、性能及び曲げ強度等による区分等：【 ・ ※ 構造図による 】 2 杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状等：【 ・ ※ 構造図による 】																																																		
2 打込み工 法 (4.3.3)	3 支持地盤：【 ・ ※ 構造図による 】 6 本杭 (1) ハンマーの種類及び容量：【 ・ ※ 構造図による 】 低騒音、低振動工法による場合：【 ・ ※ 構造図による 】																																																		
3 埋込み工 法 (セメントミルク 工法) (4.3.5)	3 支持地盤の位置及び種類：【 ・ ※ 構造図による 】 6 本杭 (1) アースオーガーの支持地盤への掘削深さ及び杭の支持地盤への根入れ深さ： 【 ・ 構造図による ※ 1.5m程度とし、杭の支持地盤への根入れ深さは1m以上 】																																																		

章 項目	特記事項	
	4 根固め液及び杭周辺固定液の管理試験：【 ・ ※ (1)~(7) 】	
	5 特定埋込み杭 工 法 (4.3.7)	3 水平方向への位置ずれ制度：【 ・ 】 4 支持地盤の位置及び書類：【 ・ 】
	6 継 手 (4.3.8)	1 杭の継手工法：【 ・ ※ 無溶接工法 】 3 継手部に接続金具を用いた方法とし、仕様等：【 ・ 】
	7 施工精 度 (4.3.9)	施工精度：【 ・ ※ 水平偏心は、D/4(Dは杭径)かつ100mm以内、傾斜は1/100以内】
	8 杭頭の処 理 (4.3.10)	2 既製コンクリート杭の杭頭の切り揃えの方法：【 ・ 】
	4節 鋼杭地業	
	1 適用範 圍 (4.4.1)	2 4.4.4及び4.4.5に示す工法の適用：【 ・ 】
	2 材 料 (4.4.3)	1 鋼杭の材料の種類、記号及び寸法：【 ・ 】 2 鋼杭の先端部形状及び補強【 ・ ※ 鋼管杭で打込み工法の場合、先端部は開放形とし、補強は4.4.2表及び4.4.1図 】
	3 継 手 (4.4.6)	1 杭の現場継手工法：【 ・ 】
5節 場所打ちコンクリート杭地業		
1 適用範 圍 (4.5.1)	2 4.5.4及び4.5.5に示す工法の適用：【 ・ 】	
2 材 料 (4.5.3)	1 鉄筋 (2)鉄筋の加工組立：【 ・ ※ (f)~(n)及び5章 】 (k)鉄筋のかぶり厚さ：【 ・ ※ 最小かぶり厚さは、100mm 】 2 コンクリート (1)セメントの種類：【 ・普通ポルトランドセメント ※ 高炉セメントB種 】 (3)コンクリートの設計基準強度：【 ・ 】 (4)コンクリートの種別は4.5.1表：【 ・ ※ 4.5.5に規定する工法を用いる場合は、工法で定められた条件の値】 (6)構造体強度補正値(S)の値：【 ・ ※ 3N/mm ² 。ただし、4.5.5に規定する工法を用いる場合は、工法で定められた条件の値】	
3 アースドリル 工法、リーバース 工法及びオール ケーシング工法 (4.5.4)	1 掘削の工法の場合の種別、使用材料及びコンクリートの打設方法等： 【 ・ 】 性能評価機関の評価・評定を受けた工法の場合の種別、使用材料及びコンクリートの打設方法等： 【 ・ 】 3 本杭 (4)孔壁を超音波測定器により確認する場合：【 ・ 】	
5 場所打ち鋼 管 コンクリート杭 掘削工法 (4.5.5)	2 支持地盤の位置及び種類：【 ・ 】	
6 施工精 度 (4.5.6)	施工精度：【 ・ ※ 水平偏心は100mm以内、傾斜は1/200以内 】	
6節 砂利事業及び捨てコンクリート地業等		
① 砂利及び 砂事業 (4.6.3)	(a) 砂利及び砂事業の厚さ：【 ・ 図示による ※ 50mm 】	
② 捨て コンクリート (4.6.4)	(a) 捨てコンクリートの厚さ：【 ・ 図示による ※ 50mm 】	
③ 床下防湿層 (4.6.6)	(a) 防湿層の適用及び範囲：【 ・ ポリエチレンフィルム 7) 0.15 JIS k6781範囲は図示 】	

章 項目	特記事項																																	
	5章 鉄筋工事																																	
	2節 材料																																	
	⑤ ① 鉄 筋 (5.2.1)	1 鉄筋種類の記号等： <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類</th> <th colspan="3">径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ JIS G3112</td> <td>・ SD295A</td> <td>・ D10</td> <td>・ D13</td> <td>・ D16</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>・ SD345</td> <td>・ D19</td> <td>・ D22</td> <td>・ D25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ SD390</td> <td>・ D29</td> <td>・ D32</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ JIS G3117</td> <td>・ SD295</td> <td>・ D10</td> <td>・ D13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用再生 棒鋼</td> <td>・ SD345</td> <td>・ D10</td> <td>・ D13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規格番号	種類	径(mm)			・ JIS G3112	・ SD295A	・ D10	・ D13	・ D16	鉄筋コンクリート用棒鋼	・ SD345	・ D19	・ D22	・ D25		・ SD390	・ D29	・ D32		・ JIS G3117	・ SD295	・ D10	・ D13		鉄筋コンクリート用再生 棒鋼	・ SD345	・ D10	・ D13			
	規格番号	種類	径(mm)																															
	・ JIS G3112	・ SD295A	・ D10	・ D13	・ D16																													
	鉄筋コンクリート用棒鋼	・ SD345	・ D19	・ D22	・ D25																													
		・ SD390	・ D29	・ D32																														
	・ JIS G3117	・ SD295	・ D10	・ D13																														
	鉄筋コンクリート用再生 棒鋼	・ SD345	・ D10	・ D13																														
2 高強度せん断補強筋の種別、使用部位及び加工：【 ・ ※ 構造図による 】																																		
② 溶接金網 (5.2.2)	溶接金網の網目の形状、寸法及び鉄線の径 <table border="1"> <thead> <tr> <th>網目の形状</th> <th>寸法</th> <th>鉄線の径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100×100mm</td> <td>図示による</td> <td>6φ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	網目の形状	寸法	鉄線の径	備考	100×100mm	図示による	6φ																										
網目の形状	寸法	鉄線の径	備考																															
100×100mm	図示による	6φ																																
3節 加工及び組み立て																																		
① 継手及び定着 (5.3.4)	(a,b) 鉄筋 継手： <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>継手の種類</th> <th>継手位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ D10 ・ D13 ・ D16</td> <td>重ね継ぎ手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D19以上</td> <td>ガス圧接継手</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (c) (1) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継ぎ手の長さ【 ・ 】 (d) 柱、梁の主筋の継手を同一箇所には、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。 【 ※ 構造図及び構造計画・施工計画の留意事項「沖縄県土木建築部」(平成24年8月)による。】 (e) (1) 鉄筋の定着の長さ：【 ※ 構造図による 】	部 位	継手の種類	継手位置	・ D10 ・ D13 ・ D16	重ね継ぎ手		・ D19以上	ガス圧接継手																									
部 位	継手の種類	継手位置																																
・ D10 ・ D13 ・ D16	重ね継ぎ手																																	
・ D19以上	ガス圧接継手																																	
2 鉄筋のかぶり 厚さ及び間隔 (5.3.5)	(a) (注) 1 軽量コンクリートの場合のかぶり厚さ：【 ・ 】 (注) 5 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所：【 ・ 】 (d) 機械式継手及び溶接継手の場合のあき：【 ・ 】																																	
③ 各部配筋 (5.3.7)	各部の配筋：【 ※ 構造図による 】																																	
4節 ガス圧接																																		
① 圧接完了後の 試験 (5.4.9)	(2) 超音波探傷試験又は引張り試験による検査の適用：【 ・ ※ 超音波探傷試験 】																																	
5節 機械式継手及び溶接継手																																		
1 機械式継手 (5.5.4)	1 種類等：【 ・ 】 2 工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等： 【 ・ ※ 所要の品質が得られるように、総則編1.4.2.2による品質計画で定める。】																																	
2 溶接継手 (5.5.5)	2 工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等： 【 ・ ※ 所要の品質が得られるように、総則編1.4.2.2による品質計画で定める。】																																	
3 検 査 (5.5.6)	1 機械式継手及び溶接継手の検査方法及び判定基準は、認定又は評定時の規定に基づくほか： 【 ・ 】 3 不合格となった継手の修正方法：【 ・ 】																																	
<table border="1"> <tr> <td>工事名称</td> <td>(仮称) 公社赤通都再生住宅整備工事(建築)</td> <td>工事年度</td> <td>令和1年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>うるま市赤通972番51、929番11</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書(4)</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>沖縄県住宅供給公社</td> <td>縮 尺</td> <td>No Scale</td> </tr> <tr> <td>適 用</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>A-005</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検 印</td> <td>管理建築士</td> <td>設 計</td> <td>製 図</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設 計 者</td> <td>名 称 (株)かみもり設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>資 格 者 氏 名</td> <td>比嘉 豊 第305084号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>登 録 番 号</td> <td>第103-478号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>所 在 地</td> <td colspan="2">沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号</td> </tr> </table>		工事名称	(仮称) 公社赤通都再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度	工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書(4)	発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale	適 用		図面番号	A-005	検 印	管理建築士	設 計	製 図		設 計 者	名 称 (株)かみもり設計		資 格 者 氏 名	比嘉 豊 第305084号		登 録 番 号	第103-478号		所 在 地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	
工事名称	(仮称) 公社赤通都再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度																															
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書(4)																															
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale																															
適 用		図面番号	A-005																															
検 印	管理建築士	設 計	製 図																															
		設 計 者	名 称 (株)かみもり設計																															
		資 格 者 氏 名	比嘉 豊 第305084号																															
		登 録 番 号	第103-478号																															
	所 在 地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号																																

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																									
6章 コンクリート工事		9節 試験		2節 材料																																																																										
1節 一般事項		10節 軽量コンクリート		3節 工作一般																																																																										
6 1 適用範囲 (6.1.1) 設計基準強度が36N/mm ² を超える場合：【 ・ 】 1 コンクリートの種類 (6.2.1) 3 コンクリートの気乾単位容積質量による種類は、普通コンクリート及び軽量コンクリートの適用：【 ・ 】 4 コンクリート使用材料、施工条件、要求性能等による種類と、その適用範囲及び施工時期：【 ・ 】 5 コンクリートの種別：【 ・ ※ I種 】 6 建築基準法第37条第二号に規定する国土交通大臣の認定を受けたコンクリート：【 ・ 】 2 コンクリートの強度 (6.2.2) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>類別等</th> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構造図による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> コンクリートの設計基準強度 (F _c) は、普通コンクリートでは36N/mm ² 以下、軽量コンクリートでは27N/mm ² 以下： 【 ・ 】 アルカリシリカ反応性による区分：【 ・ A種 ※ 区分がBの骨材を使用する場合、6.3.1の2(2) 】 2 使用するコンクリートの荷卸し地点におけるスラブ：【 ・ 構造図による ※ 6.2.2表 】 2 コンクリート表面の仕上げ状態 (1) コンクリート打放し仕上げ (イ) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ：【 ・ B種 】 4 塗装、仕上げ塗材、壁紙張り下地等 6.2.6表 コンクリート面の下地処理 (注) 3. 軽量コンクリートを使用する場合の仕上げ裏面の下地処理方法：【 ・ 】	種類	類別等	設計基準強度 (F _c)	気乾単位容積質量	適用箇所	構造図による															1 受入れ時の試験 (6.9.2) 2 6.9.1表 塩化物量の試験回数：【 ・ ※ コンクリートの種類が異なるごとに1日1回以上、かつ、150m ³ ごと及びその端数につき1回以上 】 ・ レディーミクストコンクリートの品質確保については、「レディーミクストコンクリートの品質確保について」（平成15年11月10日付け国営建第95号）及び「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について」（平成15年11月10日付け国営技第71号）を適用する。 2 コンクリート強度試験の総則 (6.9.3) 1 コンクリートの強度試験の試験回数 (2) 軽量コンクリート：【 ・ ※ (1) 】	7 1 鋼材 (7.2.1) 材質、形状及び寸法 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>記号の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>形状及び寸法は、図示による。</td> </tr> </tbody> </table> 2 高力ボルト (7.2.3) 1 高力ボルトの適用、寸法、径 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>径</th> <th>縁端距離</th> <th>間隔</th> <th>ゲージ</th> <th>備考 (すべり係数試験等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 2 ボルトの形状及び寸法、径 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>径</th> <th>縁端距離</th> <th>間隔</th> <th>ゲージ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 4 アンカーボルト (7.2.4) 1 構造用アンカーボルトの種類：【 ・ 】 2 建方用アンカーボルトの種類：【 ・ 】 3 アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法：【 ・ 】 5 アンカーボルト及びナットのねじの種類、ねじの等級の規格並びに仕上げの程度：【 ・ ※ 7.2.3表 】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材質</th> <th>形状及び寸法</th> <th>保持及び埋込み工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 5 溶接材料 (7.2.5) 1 及び2以外の溶接材料【 ・ 】 6 ターンバックル (7.2.6) ターンバックルは、JIS A5540、JIS A5541及びJIS A5542によるものとし 【 ・ ※ 鋼は割枠式、ボルトは羽子板ボルト 】 7 デッキプレート (7.2.7) 1 デッキプレート版 (デッキプレート単体の構造) に用いるデッキプレートの材質、形状及び寸法：【 ・ 】 2 デッキプレート版 (デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造) に用いるデッキプレートの材質、形状及び寸法： <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 4 1から3まで以外のデッキプレートの材質、形状及び寸法【 ・ 】 2 無収縮モルタルとする場合：【 ・ ※ (1)~(4) 】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 3 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験の適用【 ・ 】	記号の種類	適用箇所	備考			形状及び寸法は、図示による。	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考 (すべり係数試験等)							径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考						名称	材質	形状及び寸法	保持及び埋込み工法	備考						名称	材質	形状	寸法	備考						材料	厚さ	種別	備考				
種類	類別等	設計基準強度 (F _c)	気乾単位容積質量	適用箇所																																																																										
構造図による																																																																														
記号の種類	適用箇所	備考																																																																												
		形状及び寸法は、図示による。																																																																												
種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考 (すべり係数試験等)																																																																									
径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																																																										
名称	材質	形状及び寸法	保持及び埋込み工法	備考																																																																										
名称	材質	形状	寸法	備考																																																																										
材料	厚さ	種別	備考																																																																											
3節 コンクリートの材料及び調合		12節 暑中コンクリート		4節 高力ボルト接合																																																																										
1 コンクリートの材料 (6.3.1) 1 セメント (1) セメントの種類：【 ・ ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 】 (2) 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種の適用箇所：【 ・ 】 2 骨材 (1) (イ) フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ骨材、電気炉酸化スラグ骨材及び再生骨材Hの使用：【 ・ 】 (2) アルカリシリカ反応性による区分：【 ・ ※ A 】 アルカリシリカ反応がB種の骨材を使用する場合：【 ・ ※ (イ)、(ロ) 】 4 混和材料 種類及び適用：【 ・ ※ (1)、(2) 】 (ウ) (イ) から (iii) まで以外の混和材料の種類、使用方法及び使用量：【 ・ 】	1 材料及び調合 (6.12.2) 2 構造体強度補正值 (S)：【 ・ ※ 6N/mm ² 】	5節 溶接接合		6節 流動化コンクリート																																																																										
6節 コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締め固め		13節 マスコンクリート		7章 鉄骨工事																																																																										
1 打ち継ぎ (6.6.3) 2 打継ぎ面の目地寸法：【 ・ 図示による 】	14節 無筋コンクリート		1節 一般事項		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>工事名称</td> <td>(仮称) 公社赤通都市再生住宅整備工事 (建築)</td> <td>工事年度</td> <td>令和1年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>うるま市赤道972番51、929番11</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書 (5)</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>沖縄県住宅供給公社</td> <td>縮尺</td> <td>No Scale</td> </tr> <tr> <td>適用</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>A-006</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検印</td> <td>管理建築士</td> <td>設計</td> <td>製図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>名称</td> <td>(株) かみもり設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>資格者氏名</td> <td>比嘉 豊 第305084号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>登録番号</td> <td>第103-478号</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>所在地</td> <td colspan="2">沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号</td> </tr> </table>		工事名称	(仮称) 公社赤通都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度	工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	特記仕様書 (5)	発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	No Scale	適用		図面番号	A-006	検印	管理建築士	設計	製図				設計者	名称	(株) かみもり設計		資格者氏名	比嘉 豊 第305084号		登録番号	第103-478号			所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号																																				
工事名称	(仮称) 公社赤通都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度																																																																											
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	特記仕様書 (5)																																																																											
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	No Scale																																																																											
適用		図面番号	A-006																																																																											
検印	管理建築士	設計	製図																																																																											
	設計者	名称	(株) かみもり設計																																																																											
		資格者氏名	比嘉 豊 第305084号																																																																											
	登録番号	第103-478号																																																																												
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号																																																																												
8節 型枠		15節 高強度コンクリート		2節 締め付け																																																																										
1 一般事項 (6.8.2) 4 打増し厚さ：【 ・ 図示による 】 5 ひび割れ誘発目地の位置形状及び寸法：【 ・ 図示による 】 2 材料 (6.8.3) 2 せき板の種類：【 ・ ※ 6.8.1表のB種 】 4 断熱材を兼用した型枠材を使用する場合：【 ・ 】 6 スリーブの材料、「設置位置及び補強等」：【 ・ 】 9 MCR工法シートの適用：【 ・ 】 10 スリーブ (2) 材種及び規格等：【 ・ ※ (イ) から (ニ) 】 4 壁紙張り下地となるコンクリートの出すみ部分の面取り：【 ・ ※ 面取りなし 】 6 スラブ下及び梁下のせき板：【 ・ ※ 支保工を取り外した後取り外す 】 7 スラブ下及び梁下の支保工：【 ・ ※ 盛り替えを行ってはならない 】	1 品質 (6.15.2) 1 水セメント比、単位セメント量【 ・ 水セメント比50%以下 ・ 】 2 スラブ又はスラップフロー 【 ・ ※ 設計基準強度が45N/mm ² 未満の場合は21cm以下又はスラップフロー50cm以下、設計基準強度45N/mm ² 以上60N/mm ² 以下の場合はスラブ23cm以下又はスラップフロー60cm以下 】 2 材料 (6.15.3) 2 混和材料 (2) 高性能AE減水剤以外の混和材料【 ・ 】	3節 締め付け		1節 品質管理試験																																																																										
7章 鉄骨工事		16節 流動化コンクリート		1節 品質管理試験																																																																										
1節 一般事項		1節 調合		1 品質管理試験 (6.16.5)																																																																										
1節 一般事項		3 スラブ【 ・ ※ (6.16.1表) 】 4 流動化コンクリートの空気量 【 ・ ※ 普通コンクリートにあつては6.3.2の(2)(イ)、軽量コンクリートにあつては6.10.2の5 】 5 ベースコンクリートの単位水量 【 ・ ※ 185kg/m ³ 以下 】 6 単位セメント量 【 ・ ※ 普通コンクリートにあつては6.3.2の(2)(ロ)、軽量コンクリートにあつては6.10.3の8 】 7 ベースコンクリートの水セメント比 【 ・ ※ 普通コンクリートにあつては6.3.2の(2)(ハ)、軽量コンクリートにあつては6.10.3の7 】 ベースコンクリート及び流動化コンクリートの品質管理試験【 ・ ※ 9節による 】		1 鉄骨製作工場 (7.1.3) 1 鉄骨製作工場の加工能力及び施工技術者の適用【 ・ 】		2 品質管理試験 (6.16.5)																																																																								

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項				
3 溶接施工 (7.6.7)	1 共通事項 (6) (d) エンドタブの切除の有無及び適用箇所：【 ・ 】	ブルック 2 配筋 (8.3.3)	3 節 コンクリートブロック帳壁及び塀 1 ブロック圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法及び種類： 2 各部の配筋： 適用箇所 種類及びモジュール呼び寸法 正味厚さ 各部の配筋	2 種別及び工程 (9.2.3)	工法による種別 (1) 9.2.3表 (注) 2. 立ち上がり部における保護コンクリートの適用及び工法：【 ・ 】 (2) 9.2.4表 (注) 2. 立ち上がり部における保護コンクリートの適用及び工法：【 ・ 】 (3) 9.2.5表 (注) 3. 立ち上がり部における保護コンクリートの適用及び工法：【 ・ 】 (4) 9.2.6表 (注) 3. 立ち上がり部における保護コンクリートの適用及び工法：【 ・ 】 (5) 脱気装置の種類及び設置数量：【 ・ 】 ※ 種類及び設置数量はルーフィング類製造所の指定 9.2.7表 (注) 3. 仕上塗料の種類及び使用量：【 ・ 】				
	4 溶接の試験 (7.6.11)		2 完全溶け込み溶接 (5) スカラップの形状：【 ・ 】		4 節 ALCパネル 1 パネルの種類、単位荷重、厚さ、長さ及び床パネル等 パネルの種類 単位荷重 厚さ 長さ 構法 (2) 床パネルの耐火性能：【 ・ 1時間 ・ 2時間 】	3 平場の保護 コンクリート (9.2.8)	1 保護コンクリートの厚さ：【 ・ 】 4 屋上の排水溝の位置、形状及び寸法：【 ・ 】		
	7 節 スタッド溶接及びデッキプレート溶接		1 材料 (8.4.2)		5 節 押出成形セメント板 (ECP) 1 パネルの種類、厚さ等： パネルの種類 表面形状 厚さ 幅 取付け工法	1 材料 (9.4.2)	4 節 合成高分子系ルーフィングシート防水 1 合成高分子系ルーフィングシート防水の種類： 【 ・ ※ 9.4.1表から9.4.4表 】 4 断熱材の材質及び厚さ： 【 ・ ※ 機械的固定方法の場合は、A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はA種押し出しポリスチレンフォーム保温材の保温版。接着工法の場合はA種ポリエチレンフォーム保温材の密着及び熱伝導率の規格に適合するもの】 5 絶縁シートに使用する材料： 【 ・ ※ 発砲ポリエチレンシート 】		
	1 デッキプレートの溶接 (7.7.8)		1 デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の構法： 【 ・ ※ デッキプレートを鉄骨部材に密着させ、アークスポット又は済肉溶接 】 2 合成スラブとして使用するデッキプレートの溶接： 【 ・ ※ 焼抜き栓溶接 】		2 外壁パネル構法 (8.4.3)	2 外壁パネル工法 (8.5.3)	2 種類及び工程 (9.4.3)	防水層の工法、種別及び工程：【 ・ 】	
	8 節 錆止め塗装		3 間仕切り壁パネル 構法 (8.4.4)		3 間仕切り壁パネル 工法 (8.5.4)	3 防水層の施行 (9.4.5)	3 目地処理 (圧着工法) P C a 部材下地の場合：【 ・ 】 4 増張り及び成形役物 (2) 加硫ゴムシートの場合の P C a 部材下地の入隅部の増張り：【 ・ 】 5 一般部のルーフィングシートの張り付け (3) (4) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法：【 ・ 】		
	1 塗料の種類 (7.8.3)		(1) 及び(2)の錆止め塗料の種類：【 ・ 】 (1) 鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料： 【 ・ ※ 17.3.1表のA種 】 (2) 耐火被覆材の溶着する面への塗装： 【 ・ 】		9 章 防水工事 1 節 一般事項 2 室内において使用する機材： 【 ・ ※ JIS及びJASに定められてホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを発生しない機材とし、監督員の確認を受ける。】 1 屋根防水等の種別：【 () ウレタン塗膜防水 X-2工法 】		5 節 塗膜防水 1 種類及び工程 (9.5.3)		1 ウレタンゴム系塗膜防水 (1) 防水層の工程による適用：【 () X-2(密着工法) 】 (2) 絶縁工法において、脱気装置の種類及び設置数量：【 ・ 】 2 ゴムアスファルト系塗膜防水 (1) 防水層の工程による適用：【 ・ Y-2(密着工法) 】 (2) 密着工法(2)における保護層 (工程4及び工程5) の適用：【 ・ 保護コンクリート 】
	9 節 耐火被覆		2 節 屋根アスファルト防水工事 1 材料 (9.2.2)		6 節 ケイ酸質系塗布防水 1 適用範囲 (9.6.1)		適用部位：【 ・ 1階ビツト内】		
	1 耐火被覆材の種類及び性能 (7.9.2)		耐火被覆の種類及び性能：【 ・ 】		2 低煙・低臭タイプのアスファルトを使用する場合：【 ・ 】 6 押さえ金物の材質及び形状寸法： 【 ・ ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 】 8 断熱材の材質及び厚さ： 【 ・ ※ JIS A9511 (発砲プラスチック保温材) によるA種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b (スキヤリ) 】 9 絶縁シートに使用する材料： 【 ・ ※ 屋根保護防水密着工法及び屋根保護絶縁工法の場合は、ポリエチレンフィルム厚さ0.5mm以上のものとし、屋根保護防水密着工法及び屋根保護断熱工法の場合は、ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織したフラットヤーンクロス (70g/m2程度) 】 1 2 立上り部の保護に乾式保護材を使用する場合：【 ・ 】 1 3 立上り部の保護れんが：【 ・ ※ JIS A1250(普通れんが) 】		2 防水層の種別 及び工程 (9.6.3)		防水層の種別及び工程：【 ・ ※ C-U1 】
	10 節 工事現場施工		3 清掃り及び開口部の処置 (8.5.5)		3 施工 (9.6.4)		2 下地処理 (4) (1)から(3)まで以外の下地処理：【 ・ 】		
	1 アンカーボルト等の設置 (7.10.3)		1 アンカーボルト (3) 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルトの通用：【 ・ 】 2 構造用アンカーボルト又はアンカーフレームの形状並び寸法：【 ・ 】 3 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み (2) アンカーボルトの保持及び埋込み工法： 【 ・ ※ 建方用アンカーボルトの工法は、7.10.1表の種類B種 】 5 柱底均しモルタル (1) 柱底モルタルの厚さ：【 ・ ※ 30mm程度 】 (4) 柱底モルタルの工法の種別：【 ・ ※ B種 】		9 1 一般事項 (9.1.2)		1 適用範囲 (9.6.1)		1 適用範囲 (9.6.1)
2 現場接合	2 溶接接合 (2) 溶接技術者、溶接条件及び溶接部の検査、補正等の溶接施工管理： 【 ・ ※ 6節】	2 施工一般 (9.1.3)		2 適用範囲 (9.6.1)		2 適用範囲 (9.6.1)			
11 節 軽量鋼構造		3 補償 (9.1.3)		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			
1 施工 (7.11.3)	3 ボルト接合：【 ・ ※ 普通ボルト接合 】	2 補償期間は、工事完成後【 10 】年間とする。ただし、アスファルト防水は【 10 】年間とする。		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			
12 節 溶融亜鉛メッキ工法		3 補償 (9.1.3)		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			
1 溶融亜鉛めっき 高力ボルト接合 (7.12.5)	1 摩擦面の処理：【 ・ 】 (2) プラスト以外の特別な処理とする場合の処理方法及びすべり耐力等の確認方法：【 ・ 】 5 ボルト長さが呼び径の5倍を超える場合のナット回転量：	3 補償 (9.1.3)		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			
8 章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事		3 補償 (9.1.3)		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			
2 節 補強コンクリートブロック造		3 補償 (9.1.3)		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			
1 材料 (8.2.2)	1 ブロック圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法及び種類： 種類及びモジュール呼び寸法 正味厚さ 設計基準強度 (F _c) 各部の配筋 3 鉄筋の種類：【 ・ ※ S D 295 A 】	3 補償 (9.1.3)		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			
2 コンクリートの 調合 (8.2.4)	2 設計基準強度 (F _c)：【 ・ ※ 21N/mm ² 】	3 補償 (9.1.3)		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			
3 鉄筋の加工及び 組み立て (8.2.5)	2 各部の配筋 (1) 各部の配筋：【 ・ 】 3 まぐさの配筋：【 ・ ※ 8.2.2図及び8.2.3図 】	3 補償 (9.1.3)		3 適用範囲 (9.6.1)		3 適用範囲 (9.6.1)			

工事名称	(仮称) 公社赤通都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和 1 年度	
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書 (6)	
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale	
適 用		図面番号	A - 007	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	
	設計者	名 称	(株) かみもり設計	
	登録番号	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	所在地	登録番号	第103-478号	
			所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項														
7 節 シーリング																			
① 材料 (9.7.2)	2 シーリング材の種類及び施工箇所: <table border="1"> <tr> <th>シーリング材の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>試験等</th> </tr> <tr> <td>9.7.1表を標準とする</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </table>	シーリング材の種類	施工箇所	試験等	9.7.1表を標準とする	図示による		2 施工 (10.4.3)	1 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法: [. . .] 6 目地 (1) 目地幅: [. . .] ※ 8mm以上 (2) 目地をシーリング材で仕上げる場合: [. . .] ※ 目地寸法は、幅・深さとも8mm以上	2 役物 (1) 役物の適用: [. . .] 5 タイルユニット等は、次による (2) タイル型枠先付け面のせき板 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用タイル</th> <th>タイル型枠先付け面のせき板</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板						
シーリング材の種類	施工箇所	試験等																	
9.7.1表を標準とする	図示による																		
種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板																	
② シーリング材の施工前試験 (9.7.3)	2 接着性試験: [. . .] ※ 簡易接着性試験	5 節 床及び階段の石張り																	
③ 目地の寸法 (9.7.5)	シーリング材の目地寸法: [. . . 図示による] ※ 9.7.2表	1 床の石張り (10.5.2)	1 材料 (1) 石材の厚さ: [. . .] (2) 石裏面処理の適用: [. . .] 5 目地 (1) (f)目地幅: [. . .] ※ 屋外の場合は4mm以上、屋内の場合は3~6mm (n)目地にシーリング材を用いる場合: [. . .] ※ 10.3.3の5(1)(ニ) (2) (f)伸縮目地の位置: [. . .] ※ 床面積30m2程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取り合う箇所に設ける	2 タイル型枠先付けの種類 (11.4.2)	2 タイル型枠先付けの種類: [. . .]														
10 章 石工事																			
1 節 一般事項																			
1 養生及び清掃 (10.1.3)	5 床の場合で汚れ防止とつやだしワックスを使用する場合: [. . .]	2 階段の石張り (10.5.3)	1 材料 (1) 石材の厚さ: [. . .] (3) 石裏面処理の適用: [. . .]	3 施工 (11.4.4)	1 目地割り及び伸縮目地の寸法: [. . .] ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上														
2 節 材料																			
① 石材 (10.2.1)	1 天然石 (1) 石材の品質: [. . .] ※ 床用石材は2等品、その他は1等品 (2) 石材の種類: [. . . 花崗岩] (3) 石材の表面仕上げ: [. . . 本磨き] 10.2.1表 ジェットバーナーの仕上げの方法 手加工又は機械加工パフ仕上げの有無: [. . .] (1) 天然石 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>玄関扉、玄関中木、ライニング面台</td> <td>花崗岩</td> <td>本磨き</td> </tr> </table>	施工箇所	種類	表面仕上げの種類	玄関扉、玄関中木、ライニング面台	花崗岩	本磨き	11 章 タイル工事											
施工箇所	種類	表面仕上げの種類																	
玄関扉、玄関中木、ライニング面台	花崗岩	本磨き																	
1 節 一般事項																			
12 章 木工事																			
1 節 一般事項																			
2 節 材料																			
2 取り付け金物 (10.2.2)	1 外壁湿式工法及び内壁積工法金物 (2) 受金物の材質、形状及び寸法: [. . .] ※ 材質はS 400、寸法はL-75×75×6mmの加工、l=100mm又はl=150mm程度とし、17.3.1表によるB種の錆止め塗料の1回塗り 2 乾式工法用金物 乾式工法の方式: [. . .] 3 アンカーの材質及び寸法: [. . .] ※ (1)(2) 4 あと施工アンカーの材質、寸法等: [. . .]	1 節 一般事項																	
2 節 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り																			
③ その他の材料 (10.2.3)	1 セメントモルタル (4) 取り付け用モルタル: [. . .] ※ 石材施工業者の指定する製品 (5) 既調合の目地用モルタル: [. . .] ※ 石材施工業者の指定する製品 2 石裏面処理材: [. . .] ※ 石材施工業者の指定する製品 3 裏打ち処理材: [. . .] ※ 石材施工業者の指定する製品 5 金物の固定に使用する充填材料等: [. . .] ※ 石材施工業者の指定する製品	① 一般事項 (11.1.2)	2 室内において使用する機材: [. . .] ※ JIS及びJASIに定められたホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを発生しない機材	① 一般事項 (12.1.2)	2 室内において使用する機材: [. . .] ※ JIS及びJASIに定められたホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを発生しない機材 適用箇所及び種類: [. . .] ※ B種														
3 節 内壁空積工法																			
1 材料 (10.3.2)	1 石材の厚さ: [. . .] ※ 有効厚さ20mm以上 2 石材の加工 (4) 石裏面処理及び裏打ち処理: [. . .]	2 節 陶磁器質タイル張り																	
2 施工 (10.3.3)	2 下地ごしらえ (1) 下地ごしらえ: [. . .] ※ (n)のあと施工アンカー・横筋流し工法 5 目地 (1) (f)一般目地幅: [. . .] ※ 6mm以上 (c)目地にシーリング材を用いる場合: [. . .] ※ 幅・深さとも6mm以上 (2) (f)伸縮調整目地の位置: [. . .] ※ 6mm程度 (n)シーリング材の目地寸法: [. . .] ※ 幅・深さとも6mm以上	② 材料 (11.2.2)	1 形状、寸法、用途による区分、耐凍害性の有無、滑り抵抗性、標準色・特注色の別等: (1) タイルの種類 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>うわぐすり</th> <th>吸水率</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考								② 表面仕上げ (12.1.4)	1 一般事項 (2)(4) 木材の含水率: [. . .] ※ 12.2.1表 2 製材 (1) 「製材の日本農林規格」による製材の適用: [. . .] (4) 下地用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、(板類耳付・押角)及び含水率: [. . .] ※ 等級は2級 (b) 造作材用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、(板類・角類)及び含水率: [. . .] ※ 板類における等級は、桧、鰯、杉、かもし、かまちの類の見え掛かり面は上小節、それ以外は小節以上 (n) 広葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、(耳付材の有無)及び含水率: [. . .] ※ 等級は1級 (2) 「製材の日本農林規格」以外の製材の適用: [. . .] (4) 樹種、寸法、断面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率: [. . .] (3) 造作材の品質 造作材の材面の品質の基準: [. . .] ※ A種 (4) 材種: [. . .] ※ 12.2.3表及び12.2.4表による。ただし、木れんがは、ひのき、米松又は米ひば 3 造作用集成材 (4) 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材の適用: [. . .] (i) 造作用集成材 樹種、寸法及び見付け材面の等級: [. . .] ※ 見付け材目材面の品質は1等 (ii) 化粧ばり造作用集成材 樹種(化粧薄板・芯材)、寸法、化粧薄板の厚さ及び見付け材面の等級: [. . .] ※ 見付け材面の品質は1等 (iii) 化粧ばり構造用集成材 樹種(化粧薄板・芯材)、寸法、化粧薄板の厚さ [. . .] (d) 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (i) 造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質(節、やにつぼ等、欠けきず、腐れ、割れ、欠点、逆目等)及び含水率: [. . .] ※ 含水率は15%以下 (ii) 化粧ばり造作用集成材 樹種(化粧薄板・芯材)、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質(節、やにつぼ等、欠けきず、腐れ、割れ、欠点、逆目等)及び含水率: [. . .] ※ 含水率は15%以下 (iii) 化粧ばり造作用集成材 樹種(化粧薄板・芯材)、寸法、見付け材面の品質(節、やにつぼ等、欠けきず、腐れ、割れ、欠点、逆目等)、化粧薄板の厚さ及び含水率: [. . .] ※ 含水率は15%以下
施工箇所	寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考													
4 節 乾式工法																			
1 材料 (10.4.2)	1 石材の厚さ: [. . .] ※ 外壁の場合は有効厚さ30mm以上、内壁の場合は有効厚さ25mm以上 2 石材の加工 (1) だぼ用の穴の位置: [. . .] ※ 石材の上端横目地合端部の2箇所、両端部より石材幅の1/4程度の位置 (2) 石裏面処理及び裏打ち処理: [. . .]	② 施工 (11.2.7)	1 伸縮調整目地の幅及び深さ: [. . .] ※ 幅10mm以上、深さは7mm以上 2 下地及びタイルごしらえ (1) モルタル塗を行うコンクリート素地面をMCR工法又は目荒し工法とする場合: [. . .]	4 節 タイル型枠先付け工法															
3 節 接着剤による陶磁器質タイル張り																			
4 節 タイル型枠先付け工法																			
1 材料 (11.3.2)																			
1 タイルの形状、寸法、用途による区分、耐凍害性の有無、滑り抵抗性、標準色・特注色の別等:																			
(1) タイルの種類																			
<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>うわぐすり</th> <th>吸水率</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						施工箇所	寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考							
施工箇所	寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考													
(2) タイルの試験張り: [. . . 行う] <input checked="" type="checkbox"/> 行わない																			
(3) タイルの見本焼き: [. . . 行う] <input checked="" type="checkbox"/> 行わない																			
2 役物																			
(1) 役物の適用: [. . .]																			
2 張付け用材料 (11.3.3)																			
1 接着剤のホルムアルデヒド放散量: [. . .] ※ F☆☆☆☆																			
3 シーリング材 (11.3.4)																			
2 目地のシーリング材: [. . .] ※ 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地のシーリング材はポリウレタン系シーリング材、伸縮調整目地その他の目地は変成シリコーン系シーリング材																			
4 施工 (11.3.7)																			
1 下地及びタイルごしらえ (1) モルタル塗を行うコンクリート素地面をMCR工法又は目荒し工法とする場合: [. . .]																			
2 壁タイル																			
(1) タイル張りの工法の適用: [. . .]																			
1 材料 (11.4.2)																			
1 タイルの品質は、JIS A5209 (陶磁器質) によるほか、次による。																			
(1) タイルの形状、寸法、用途による区分、耐凍害性の有無、滑り抵抗性、標準色・特注色の別等:																			
(1) タイルの種類																			
<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>うわぐすり</th> <th>吸水率</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						施工箇所	寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考							
施工箇所	寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考													
(2) タイルの試験張り: [. . . 行う] <input checked="" type="checkbox"/> 行わない																			
(3) タイルの見本焼き: [. . . 行う] <input checked="" type="checkbox"/> 行わない																			

工事名称	(仮称) 公社赤通都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和 1 年度
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書 (7)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale
適 用		図面番号	A-008
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		名 称	(株) かみもり設計
		資格者氏名	比嘉 豊 第305084号
		登録番号	第103-478号
	所 在 地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																													
12 木 工 事	4 造作材用単板集層材 造作材用単板集層材の適用：【 ・ 】 ホルムアルデヒド放散量等： 【 ・ ※「F☆☆☆☆」又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、塗装していないものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」、塗装したものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料を使用」】 (f)厚さ、表面の品質（表面の化粧加工の有無、表面の化粧加工なしの場合は、等級について、表面の化粧加工の場合は、天然木化粧加工・塗装加工について）及び防虫処理 (g)厚さ、表面の品質（表面の化粧加工の有無、表面の化粧加工なしの場合は、生き節又は死に節、抜け節又は穴、入り皮、やにつば、割れ欠け、欠点について、表面の化粧加工の場合は、天然木化粧加工・塗装加工について）、含水率及び防虫処理： 【 ・ 】 5 床張り用合板等 合板等のホルムアルデヒド放散量等： 【 ・ ※「F☆☆☆☆」又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、塗装していないものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」、塗装したものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料を使用」】 (f) 普通合板の厚さ、表板の樹脂名、接着剤の程度及び板面の品質： 【 ・ 】 普通合板の防虫処理、難燃処理及び防火処理を行う場合： 【 ・ 】 (g) 構造用合板の等級、表板の樹脂名、接着剤の程度、板面の品質及び厚さ： 【 ・ ※厚さ12mm、接着剤の程度は1類、等級は2級以上、板面の品質はC-D以上、屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類 】 構造用合板の防虫処理及び強度等級を指定する場合：【 ・ 】 (h) パーティクルボードの表裏面の状態による区分、曲げ強度による区分、接着剤による区分、難燃性による区分及び厚さ： 【 ・ ※厚さ15mm、13Pタイプ又は13Mタイプ】 (i) 構造用パネルの等級及び厚さ：【 ・ 】 5 諸金物： 【 ・ ※ コンクリートに埋め込まれる部分以外で見えがくれとなるものは、亜鉛メッキ 】 土壌処理（防蟻） (1) 施工箇所：「防除施工標準仕様書」（社団法人日本しろあり対策協会発行）Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書4 処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。 (2) 処理薬剤：社団法人日本しろあり対策協会の認定品とする。 (3) 処理方法：「防除施工標準仕様書」Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。 木材処理（防蟻・防虫） (1) 施工箇所：合板、集成材等を除く全ての木材 (2) 処理方法：工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。 (3) 性能区分：性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。 ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1＋保存処理K3とする。 イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。 (1) 社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による補償書を監督員に提出する。なお、補償期間は、処理施工後5年とする。	3節 化粧スレート葺及び厚形スレート葺き 1 材 料 (13.3.2) 4 留付け用釘：【 ・ ※ ステンレス製品】 5 下葺材料：【 ・ ※ JIS A6005によるアスファルトルーフィング940】 2 工 法 (13.3.3) 1 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法：【 ・ 】 2 化粧スレート葺及び厚形スレート葺きの工法：【 ・ ※ 専門業者の仕様による】 5節 とい 1 材 料 (13.5.2) 1 材 種： 13.5.1表 材 種 規格名称 材質 備考 表面処理鋼板の耐酸被覆鋼板：【 ・ 】 3 とい受け金物：【 ・ ※ 溶融亜鉛めっきを行った鋼製 】 2 鋼管製といの工法 (13.5.3) 2 鋼管製といの防露巻：【 ・ ※ 13.5.5表】 3 硬質ポリ塩化ビニル管製といの工法 (13.5.5) 1 継手：【 ・ ※ 冷間接合とし、接着剤を用いて固定 】 県産瓦葺 1 材 料 (1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。 2 工法等 (2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。 【 ・ 1名以上配置 ・ 施工面積 m2につき、 級技能評価試験に合格した者を1名配置 】 14章 金属工事 1節 一般事項 1 施エー一般 (14.1.3) 2 あと施工アンカー (4)あと施工アンカーの引き抜き耐力の試験確認の適用：【 ・ 】 (h) 設計用引張強度：【 ・ 】 2節 表面処理 1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1) ステンレスの表面仕上げの種類：【 ・ ※ ヘアライン仕上げ 】 1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) 1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理：【 ・ ※ B種】 14.2.1表 (注)常温乾燥形の塗装の場合：【 ・ 】 2 陽極酸化被膜の着色方法：【 ・ ※ 二次電解着色 】 色合等：【 ・ 】 表面処理の種類をB-1種又はB-2種としたときの複合皮膜の種類 【 ・ A1 ・ A2 】(JIS H 8602) 3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) 1 鉄鋼の亜鉛めっき種別 表面処理方法 種 別 施工箇所 溶融亜鉛メッキ C種 集会所種 4節 軽量鉄骨壁下地 1 材 料 (14.4.2) 2 スタッド、ライナー等の種類：【 ・ ※ 14.4.1表】 5 14.4.1表 (注)4. スタッドの高さが5.0mを超える場合：【 ・ 】 5節 軽量鉄骨天井下地 1 材 料 (14.5.2) 2 野縁等の種類：【 ・ ※ 14.5.1表の屋内は19形、屋外は25形】 2 工 法 (14.5.3) 8 設計図書に表示されている開口部は次により補強を行う。 (1)補強方法：【 ・ 】 1 1 天井ふところが、1.5m以上の場合は、補強用部材又は[-19×10×1.2mm以上を用いて、つりボルトの水平補強、斜め補強を行うこととし、補強方法： 【 ・ 】 天井ふところが3mを超える場合の補強：【 ・ 】 1 4 天井下地における耐震性を確保した補強：【 ・ 】 1 5 屋外の軽天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強：【 ・ 】	6節 雑金物 1 カーテンレール (14.6.1) 1 カーテンレールの材質及び形状：【 ・ 】 5 カーテンレール取り付け用小ねじの材質：【 ・ ※ ステンレス製 】 2 タラップ (14.6.2) 1 タラップの材質及び形状：【 ・ ※ ステンレス製 】 3 ノンスリップ (14.6.2) 1 材質、形状、寸法等：【 ・ 】 4 ナイロンプラグ及び鋼製拡張式アンカーの種別：【 ・ ※ ステンレス製 SUS304】 5 その他の雑金物 (14.6.5) クーラー用取り付けインサート金具の材質：【 ・ ステンレスSUS304】 隔板取付金具の材質、形状：【 ・ アルミニウム及びアングル（図示による）】 物干し金物：【 ・ 1F天井取り付け用（図示による）、1F車いす対応住戸壁取付用（図示による）、2～10F天井取り付け用（図示による）】 丸環：【 ・ ステンレス（図示による）】 6 床用目地棒 材質：【 ・ 】 形状：【 ・ 】 寸法：【 ・ 】 7 コーナビート 材質：【 ・ 】 形状：【 ・ 】 寸法：【 ・ 】 施工箇所：【 ・ 】 8 室名札及び揭示板 室名札の材質、形状、寸法：【 ・ ※ 図示による 】 揭示板の材質、形状、寸法：【 ・ ※ 図示による 】 9 エキスパンジョイントカバー 材質：【 ・ アルミ ・ 鋼製（溶融亜鉛めっき）】 型式：【 ・ 】 形状・寸法：【 ・ ※ 図示による 】 10 グレーチング 材 種：【 ・ 図示による 】 形状寸法：【 ・ 図示による 】 使用箇所：【 ・ 図示による 】 11 水抜きパイプ 水抜きパイプ材質、形状、寸法：【 ・ 図示による 】 15章 左官工事 2節 モルタル塗り 1 材 料 (15.2.2) 8 既製目地材の適用及び形状：【 ・ 】 2 工 法 (15.2.5) 3 タイル張り下地等の均しモルタル塗り (2)壁 (d)(iii)外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着試験：【 ・ 】 4節 セルフレベリング材塗り 1 材 料 (15.4.2) 1 セルフレベリング材の種類及び品質：【 ・ 】 6節 パーライトモルタル塗り 1 適用範囲 (15.6.1) 2 パーライトモルタルの適用：【 ・ 】 2 材料、調合 (15.6.2) 1 パーライト：【 ・ ※ 製造所の仕様 】 2 調合：【 ・ 】 16章 建具・ガラス工事 1節 一般事項 1 一般事項 (16.1.2) 2 室内において使用する機材：【 ・ ※ JIS及びJASに定められたホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを放散しない機材】 2 防火戸 (16.1.3) 1 防火戸の指定：【 ・ ※ 図示による 】 3 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸をヒューズ装置、熱感知又は煙感知機と連動させる場合：【 ・ ※ 図示による 】 3 その他 (16.1.5) 2 開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」の適用： 【 ・ ※ 図示による 】																																															
	2 接合具 (12.2.2)		14 金 属 工 事		15 左 官 工 事																																													
	3 土壌処理																																																	
	4 防蟻・防蟻 防虫処理 (12.2.1)																																																	
	5 防蟻処理、防虫処 理の施工及び補償																																																	
	13 屋 根	13章 屋根及びとい工事 1節 一般事項 1 施工業者の選定 (13.1.3) (1)施工実績：【 ・ ※ 5年 】 2 施工一般 (13.1.4) 2 屋根葺材、断熱材、防止立ち上がり等の納まり：【 ・ 】 5 雪止め材料及び工法：【 ・ ※ 材料は製造所の仕様による 】 2節 長尺金属板葺 1 材 料 (13.2.2) 1 長尺金属の種類に応じた板及びコイルの種類。塗膜の耐久性の種類、めっき付着量、厚さ等： 【 ・ ※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯の屋根用コイルとし、記号による表示はCGLCC R-20-AZ150、厚さ0.4mm】 4 下葺材料の種類：【 ・ 】 2 工 法 (13.2.3) 1 屋根葺形式：【 ・ 】 2 屋根葺き工法：【 ・ 】 3 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法：【 ・ 】																																																
	及																																																	
	び																																																	
	と																																																	
	い																																																	
	工 事																																																	
					<table border="1"> <tr> <td>工事名称</td> <td>(仮称)公社赤通都市再生住宅整備工事（建築）</td> <td>工事年度</td> <td>令和1年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>うるま市赤通972番51、929番11</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書(8)</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>沖縄県住宅供給公社</td> <td>縮 尺</td> <td>No Scale</td> </tr> <tr> <td>適 用</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>A-009</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検 印</td> <td>管理建築士</td> <td>設 計</td> <td>製 図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>名 称</td> <td>(株)かみもり設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>資格者氏名</td> <td>比嘉 豊 第305084号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>登録番号</td> <td>第103-478号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>所在地</td> <td>沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号</td> </tr> </table>		工事名称	(仮称)公社赤通都市再生住宅整備工事（建築）	工事年度	令和1年度	工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書(8)	発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale	適 用		図面番号	A-009	検 印	管理建築士	設 計	製 図												名 称	(株)かみもり設計			資格者氏名	比嘉 豊 第305084号			登録番号	第103-478号			所在地
工事名称	(仮称)公社赤通都市再生住宅整備工事（建築）	工事年度	令和1年度																																															
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書(8)																																															
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	No Scale																																															
適 用		図面番号	A-009																																															
検 印	管理建築士	設 計	製 図																																															
		名 称	(株)かみもり設計																																															
		資格者氏名	比嘉 豊 第305084号																																															
		登録番号	第103-478号																																															
		所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号																																															

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																						
	2節 アルミニウム製建具		5節 ステンレス製建具																																																																								
1 一般事項 (16.2.2)	<p>1 アルミ製建具の品質及び性能:</p> <p>1 図示による ※ JIS A 4706(サッシ)及び総則編1.5.2.の2(3)に示す基準】</p> <p>2 耐風圧性、気密性、水密性、色彩等の等級及び種類:【・ ※ 図示による】</p> <p>外部に面する建具の性能等級 (JIS A4702 JIS A4706)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性 (Pa)</th> <th>気密性 (等級)</th> <th>水密性 (Mpa)</th> <th>枠見込み (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・a-4 (2000)</td> <td>・A-3 (8)</td> <td>・W-4 (350)</td> <td>・70mm ・100mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・a-5 (2400)</td> <td>・A-3 (8)</td> <td>・W-4 (350)</td> <td>・70mm ・100mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・a-6 (2800)</td> <td>・A-4 (2)</td> <td>・W-5 (500)</td> <td>・70mm ・100mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>・a-6 (2800)</td> <td>・A-4 (2)</td> <td>・W-5 (500)</td> <td>・70mm ・100mm</td> <td>1~2階</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>・a-7 (3600)</td> <td>・A-4 (2)</td> <td>・W-5 (500)</td> <td>・70mm ・100mm</td> <td>3~6階</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>・a-7超 (4000)</td> <td>・A-4 (2)</td> <td>・W-5 (500)</td> <td>・70mm ・100mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外部に面する建具の遮音性能等級:【・T-1 ・その他】</p> <p>3 防音サッシの種類及び等級:【・ 防音サッシ(・ 第I工法 ・ 第II工法)】</p> <p>住宅防音工事標準仕方書(防衛省制定 平成25年12月)及び住宅防音工事選定採用防音材料等一覧(防衛省制定)による。</p> <p>共有施設部の共通キーについては、建具表を参照。</p> <p>5 網戸等</p> <p>(2)防虫網の種類:【・ ※ 防虫網戸は別途とする】</p> <p>(2)特殊なドアセット等の適用及び等級</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)外部に面する建具の表面処理の種類及び複合皮膜の種類</p> <p>種別: B-1</p> <p>複合皮膜の種類:【・A1 ・A2】(JIS H 8602)</p> <p>(4)結露水の処理方法:【・】</p> <p>(5)水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。</p>	種別	耐風圧性 (Pa)	気密性 (等級)	水密性 (Mpa)	枠見込み (mm)	施工箇所	・A種	・a-4 (2000)	・A-3 (8)	・W-4 (350)	・70mm ・100mm		・B種	・a-5 (2400)	・A-3 (8)	・W-4 (350)	・70mm ・100mm		・C種	・a-6 (2800)	・A-4 (2)	・W-5 (500)	・70mm ・100mm		・その他	・a-6 (2800)	・A-4 (2)	・W-5 (500)	・70mm ・100mm	1~2階	・その他	・a-7 (3600)	・A-4 (2)	・W-5 (500)	・70mm ・100mm	3~6階	・その他	・a-7超 (4000)	・A-4 (2)	・W-5 (500)	・70mm ・100mm		・その他						ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考					<p>1 一般事項 (16.5.2)</p> <p>建具の性能等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※建具表による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1 ステンレス製鋼板は、JIS G4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯): 【・ ※ SUS304 SUS430J1L、SUS443J1又はSUS430とする。なお、SUS430は屋外に適用しない。】</p> <p>1 形状、仕上げ:【・ 図示による ※ 表面仕上げはH L仕上げ】</p> <p>2 ステンレス製鋼板の曲げ加工:【・ ※ 普通曲げ】</p>	施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考	※建具表による					17 塗装工事	<p>2 ガラスの大きさ (16.8.3)</p> <p>2 ガラスの大きさ (16.8.3)</p>	<p>JIS R3208 網入り磨き、網入り磨き、網入り型板等の種別:【・ 図示による】</p> <p>JIS R3209 ガラスの種類、耐久性の区分、空気層の厚さ:【・ 図示による】</p> <p>JIS R3221 色、透へい性、耐久性の区分:【・ 図示による】</p> <p>2 ガラス留め材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)ガスケットの種類:【・ ※ 枠見込み70mmのサッシに用いる引違い及び形引きの障子の場合は、グレイジングチャンネル形とする。ただし、16.8.3の2に示す留め材にはグレイジングチャンネルを用いない。】</p> <p>(2)金属製建具のガラスのはめ込みに用いるシーリング材: 【・ ※ JIS A5758(建築用シーリング材)】</p> <p>1 溝の大きさ(面クリアランス、エッジクリアランス及び掛け代): 【・ ※ アルミニウム製建具、鋼製建具及びステンレス製建具の場合は、16.8.2表】</p>	建具の種類	材種		
種別	耐風圧性 (Pa)	気密性 (等級)	水密性 (Mpa)	枠見込み (mm)	施工箇所																																																																						
・A種	・a-4 (2000)	・A-3 (8)	・W-4 (350)	・70mm ・100mm																																																																							
・B種	・a-5 (2400)	・A-3 (8)	・W-4 (350)	・70mm ・100mm																																																																							
・C種	・a-6 (2800)	・A-4 (2)	・W-5 (500)	・70mm ・100mm																																																																							
・その他	・a-6 (2800)	・A-4 (2)	・W-5 (500)	・70mm ・100mm	1~2階																																																																						
・その他	・a-7 (3600)	・A-4 (2)	・W-5 (500)	・70mm ・100mm	3~6階																																																																						
・その他	・a-7超 (4000)	・A-4 (2)	・W-5 (500)	・70mm ・100mm																																																																							
・その他																																																																											
ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																								
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考																																																																							
※建具表による																																																																											
建具の種類	材種																																																																										
2 材料 (16.2.3)	<p>3節 樹脂製建具</p> <p>1 性能及び構造 (16.3.2)</p> <p>2 樹脂製 建具の性能値等</p> <p>(1)耐風圧性、気密性、水密性等級:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性 (Pa)</th> <th>気密性 (等級)</th> <th>水密性 (Mpa)</th> <th>枠見込み (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び遮音性の等級:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 ガラス及びグレイジングガスケット</p> <p>(1)ガラス</p> <p>(イ)単層ガラス、三重ガラス等を用いる場合:【・】</p> <p>2 建具の枠の見込み寸法</p> <p>4 ステンレス製くつずりを使用する場合の厚さ:【・】</p> <p>6 標準色又は特注色の適用:【・】</p> <p>1 工法</p> <p>(4)水切り板、げん板等:【・ ※ 図示による】</p>	種別	耐風圧性 (Pa)	気密性 (等級)	水密性 (Mpa)	枠見込み (mm)	施工箇所							ドアセット等の種類	適用箇所	種別	等級	備考						ドアセット等の種類	適用箇所	種別	等級	備考						<p>2 材料 (16.5.3)</p> <p>3 形状及び仕上げ (16.5.4)</p> <p>4 工法 (16.5.5)</p> <p>1 一般事項 (16.6.2)</p> <p>内装ドア、クロゼット及び量産ふすまの品質及び性能: 【・ ※ 総則編1.5.2の2(3)に示す基準】</p> <p>2 フラッシュ戸 (16.6.3)</p> <p>1 フラッシュ戸の寸法、形状:【・ 図示による】</p> <p>2 材料</p> <p>(1)表面処理の合板の種類及び品質: 【・ ※ 普通合板の板面の品質は、広葉樹にあっては1等、針葉樹にあってはC-Dとし、表板の樹種は、生地のまま又は透明塗料塗の場合はラワン程度、不透明塗料塗の場合はしな程度】</p> <p>3 かまち戸 (16.6.4)</p> <p>1 かまち戸の寸法、形状:【・ 図示による】</p> <p>2 材料</p> <p>(1)かまちの樹種:【・】、鏡板の樹種:【・】</p> <p>1 和ふすま</p> <p>(1)寸法、形状:【・ 図示による】</p> <p>(2)ふすまの上張りの種類:【・ 図示による】</p> <p>16.5.1表</p> <p>(注)3 引手の材種、形状:【・ ※ 合成樹脂製、丸型】</p> <p>5 片側がビニル系ふすま紙又はビニルクスの場合は周囲骨の補強方法:【・】</p> <p>2 量産ふすま</p> <p>(1)寸法、形状:【・ 図示による】</p> <p>(2)周囲縁の色、柄:【・ 図示による】</p> <p>5 紙張り障子 (16.6.6)</p> <p>1 用材の樹種:【・ ※ スプルー (米唐松)、障子紙は障子用レーヨンバルブ紙、引手は桑方又は堅木】</p> <p>4 上下棧、縦かまち及び組子の形状並びに組子の本数:【・ 図示による】</p>	<p>1 一般事項 (17.1.2)</p> <p>2 室内において使用する機材:【・ ※ JIS及びJASに定められたホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを発生しない機材】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装面</th> <th>素地ごしらえ工程の種別</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗装工程の種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防火材料の指定:【・有 ・無】</p> <p>(1)元請業者、施工業者、製造所の三者連署による補償書を監督員に提出する。</p> <p>(2)補償期間は、工事完成後【3】年間とする。</p>	塗装面	素地ごしらえ工程の種別	塗料の種類	塗装工程の種別	適用箇所																																			
種別	耐風圧性 (Pa)	気密性 (等級)	水密性 (Mpa)	枠見込み (mm)	施工箇所																																																																						
ドアセット等の種類	適用箇所	種別	等級	備考																																																																							
ドアセット等の種類	適用箇所	種別	等級	備考																																																																							
塗装面	素地ごしらえ工程の種別	塗料の種類	塗装工程の種別	適用箇所																																																																							
1 一般事項 (16.2.2)	<p>3節 鋼製建具</p> <p>1 玄関ドアの品質及び性能等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性</th> <th>備考(材料等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 バイシャフトドアの品質及び性能等:【・ 図示による】</p> <p>3 耐風圧性、気密性、水密性、遮音性、断熱性、内面変形追従性等の等級及び種類: 【・ 図示による】</p>	施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)						<p>7節 建具用金物</p> <p>1 一般事項 (16.7.2)</p> <p>各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前、各住戸玄関扉用及び内装扉用ドア・クローザーの品質及び性能: 【・ ※ 総則編1.5.2.の2(3)に示す基準】</p> <p>(1)建具用金物の材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)建具用金物の取付け位置は、図示による。</p> <p>2 材料 (16.7.3)</p> <p>1 各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前</p> <p>(1)錠前の種別:【・ ※ サムターン付シリンダー面付箱錠】</p> <p>(2)タンブラー類の本数:【・ ※ 6本以上】</p> <p>(3)鍵の本数:【・ ※ 扉1箇所につき3本を1組】</p> <p>(4)コンストラクションキー装置取り付け:【・】</p> <p>2 引違い戸、引違窓</p> <p>(2)鍵違いの種類:【・ ※ 6種類以上】</p> <p>(4)鍵の本数:【・ ※ 1住戸につき3本】</p> <p>3 その他金物類</p> <p>(2)フロアヒンジ:【・】</p> <p>(3)丁番(ふすまを除く。)の形状、材質及び寸法:【・】</p> <p>(1)マスターキー:【・ 製作する ・ 製作しない】</p> <p>(2)関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。</p> <p>建具用金物の材質、仕上げ及び寸法:【・ ※ 16.7.1表】</p>	形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考					<p>1 一般事項 (17.1.2)</p> <p>2 垂鉛めっき鉄面の素地ごしらえ (17.2.2)</p> <p>3 鉄鋼面の素地ごしらえ (17.2.3)</p> <p>4 垂鉛めっき鉄面の素地ごしらえ (17.2.4)</p> <p>5 コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえ (17.2.5)</p> <p>6 せっこうボード面及び他ボード面の素地ごしらえ (17.2.7)</p>	<p>17章 塗装工事</p> <p>1節 一般事項</p> <p>2 室内において使用する機材:【・ ※ JIS及びJASに定められたホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを発生しない機材】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装面</th> <th>素地ごしらえ工程の種別</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗装工程の種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防火材料の指定:【・有 ・無】</p> <p>(1)元請業者、施工業者、製造所の三者連署による補償書を監督員に提出する。</p> <p>(2)補償期間は、工事完成後【3】年間とする。</p>	塗装面	素地ごしらえ工程の種別	塗料の種類	塗装工程の種別	適用箇所																																																
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																							
形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考																																																																								
塗装面	素地ごしらえ工程の種別	塗料の種類	塗装工程の種別	適用箇所																																																																							
2 材料 (16.3.3)	<p>4節 鋼製建具</p> <p>1 玄関ドアの品質及び性能等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性</th> <th>備考(材料等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 バイシャフトドアの品質及び性能等:【・ 図示による】</p> <p>3 耐風圧性、気密性、水密性、遮音性、断熱性、内面変形追従性等の等級及び種類: 【・ 図示による】</p>	施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)						<p>8節 ガラス</p> <p>1 材料 (16.8.2)</p> <p>1 ガラスの種類及び厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>16.8.1表</p> <p>JIS R3205 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p> <p>JIS R3206 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p>	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示による	図示による		<p>2 垂鉛めっき鉄面の素地ごしらえ (17.2.2)</p> <p>3 鉄鋼面の素地ごしらえ (17.2.3)</p> <p>4 垂鉛めっき鉄面の素地ごしらえ (17.2.4)</p> <p>5 コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえ (17.2.5)</p> <p>6 せっこうボード面及び他ボード面の素地ごしらえ (17.2.7)</p>	<p>2節 素地ごしらえ</p> <p>1 木部の素地ごしらえの種類: 【・ ※ 不透明塗料塗の場合はA種、透明塗料塗の場合はB種】</p> <p>鉄骨面の素地ごしらえの種類:【・ ※ C種】</p> <p>垂鉛めっき鉄面の素地ごしらえの種類:【・ ※ 塗り工法に応じた節の規定】</p> <p>コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえの種類:【・ ※ B種】</p> <p>せっこうボード面及び他ボード面の素地ごしらえの種類: 【・ ※ せっこうボード面の目地工法が継目処理工法の場合はA種、その他の場合はB種】</p>																																																							
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																							
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																									
図示による	図示による																																																																										
3 形状及び仕上げ (16.3.4)	<p>2 鋼板類</p> <p>(1)鋼板</p> <p>(イ)JIS G3302(溶融垂鉛めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Z12又はF12を満足するもの】</p> <p>(ロ)JIS G33172(溶融垂鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Y08を満足するもの】</p>	<p>7節 建具用金物</p> <p>1 一般事項 (16.7.2)</p> <p>各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前、各住戸玄関扉用及び内装扉用ドア・クローザーの品質及び性能: 【・ ※ 総則編1.5.2.の2(3)に示す基準】</p> <p>(1)建具用金物の材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)建具用金物の取付け位置は、図示による。</p> <p>2 材料 (16.7.3)</p> <p>1 各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前</p> <p>(1)錠前の種別:【・ ※ サムターン付シリンダー面付箱錠】</p> <p>(2)タンブラー類の本数:【・ ※ 6本以上】</p> <p>(3)鍵の本数:【・ ※ 扉1箇所につき3本を1組】</p> <p>(4)コンストラクションキー装置取り付け:【・】</p> <p>2 引違い戸、引違窓</p> <p>(2)鍵違いの種類:【・ ※ 6種類以上】</p> <p>(4)鍵の本数:【・ ※ 1住戸につき3本】</p> <p>3 その他金物類</p> <p>(2)フロアヒンジ:【・】</p> <p>(3)丁番(ふすまを除く。)の形状、材質及び寸法:【・】</p> <p>(1)マスターキー:【・ 製作する ・ 製作しない】</p> <p>(2)関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。</p> <p>建具用金物の材質、仕上げ及び寸法:【・ ※ 16.7.1表】</p>	形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考					<p>3節 錆止め塗料塗り</p> <p>1 塗料種別 (17.3.2)</p> <p>2 塗り工程 (17.3.3)</p> <p>2 垂鉛めっき鉄面錆止め塗料の種類: 【・ ※ A種とする。ただし、9節の場合はC種とする。】</p> <p>1 鉄鋼面錆止め塗料めりの種別: 【・ ※ 見え掛り部分はA種とし、見え隠れ部分はB種】</p> <p>2 垂鉛めっき鉄面錆止め塗料塗りの種別: 【・ ※ 鋼製建具等はA種とし、その他はC種とする。ただし、C種に用いる錆止め塗料は17.3.2表のB種】</p>																																																																
形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考																																																																								
4 工法 (16.3.5)	<p>2 鋼板類</p> <p>(1)鋼板</p> <p>(イ)JIS G3302(溶融垂鉛めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Z12又はF12を満足するもの】</p> <p>(ロ)JIS G33172(溶融垂鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Y08を満足するもの】</p>	<p>8節 ガラス</p> <p>1 材料 (16.8.2)</p> <p>1 ガラスの種類及び厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>16.8.1表</p> <p>JIS R3205 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p> <p>JIS R3206 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p>	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示による	図示による		<p>4節 合成樹脂調合ペイント塗 (S.O.P塗り)</p> <p>1 塗料の種類 (17.4.2)</p> <p>2 木部合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ 屋外はA種、屋内はB種】</p> <p>3 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ B種】</p>	<p>3節 錆止め塗料塗り</p> <p>1 塗料種別 (17.3.2)</p> <p>2 塗り工程 (17.3.3)</p> <p>2 垂鉛めっき鉄面錆止め塗料の種類: 【・ ※ A種とする。ただし、9節の場合はC種とする。】</p> <p>1 鉄鋼面錆止め塗料めりの種別: 【・ ※ 見え掛り部分はA種とし、見え隠れ部分はB種】</p> <p>2 垂鉛めっき鉄面錆止め塗料塗りの種別: 【・ ※ 鋼製建具等はA種とし、その他はC種とする。ただし、C種に用いる錆止め塗料は17.3.2表のB種】</p>																																																																	
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																									
図示による	図示による																																																																										
1 一般事項 (16.4.2)	<p>1 鋼板類</p> <p>(1)鋼板</p> <p>(イ)JIS G3302(溶融垂鉛めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Z12又はF12を満足するもの】</p> <p>(ロ)JIS G33172(溶融垂鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Y08を満足するもの】</p>	<p>8節 ガラス</p> <p>1 材料 (16.8.2)</p> <p>1 ガラスの種類及び厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>16.8.1表</p> <p>JIS R3205 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p> <p>JIS R3206 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p>	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示による	図示による		<p>4節 合成樹脂調合ペイント塗 (S.O.P塗り)</p> <p>1 塗料の種類 (17.4.2)</p> <p>2 木部合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ 屋外はA種、屋内はB種】</p> <p>3 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ B種】</p>	<p>4節 合成樹脂調合ペイント塗 (S.O.P塗り)</p> <p>1 塗料の種類 (17.4.2)</p> <p>2 木部合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ 屋外はA種、屋内はB種】</p> <p>3 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ B種】</p>																																																																	
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																									
図示による	図示による																																																																										
2 材料 (16.4.3)	<p>2 鋼板類</p> <p>(1)鋼板</p> <p>(イ)JIS G3302(溶融垂鉛めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Z12又はF12を満足するもの】</p> <p>(ロ)JIS G33172(溶融垂鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Y08を満足するもの】</p>	<p>8節 ガラス</p> <p>1 材料 (16.8.2)</p> <p>1 ガラスの種類及び厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>16.8.1表</p> <p>JIS R3205 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p> <p>JIS R3206 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p>	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示による	図示による		<p>4節 合成樹脂調合ペイント塗 (S.O.P塗り)</p> <p>1 塗料の種類 (17.4.2)</p> <p>2 木部合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ 屋外はA種、屋内はB種】</p> <p>3 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ B種】</p>	<p>4節 合成樹脂調合ペイント塗 (S.O.P塗り)</p> <p>1 塗料の種類 (17.4.2)</p> <p>2 木部合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ 屋外はA種、屋内はB種】</p> <p>3 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ B種】</p>																																																																	
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																									
図示による	図示による																																																																										
3 形状及び仕上げ (16.4.4)	<p>2 鋼板類</p> <p>(1)鋼板</p> <p>(イ)JIS G3302(溶融垂鉛めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Z12又はF12を満足するもの】</p> <p>(ロ)JIS G33172(溶融垂鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)により、めっきの付着量: 【・ ※ Y08を満足するもの】</p>	<p>8節 ガラス</p> <p>1 材料 (16.8.2)</p> <p>1 ガラスの種類及び厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>16.8.1表</p> <p>JIS R3205 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p> <p>JIS R3206 平面及び曲面等の種別:【・ 図示による】</p>	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示による	図示による		<p>4節 合成樹脂調合ペイント塗 (S.O.P塗り)</p> <p>1 塗料の種類 (17.4.2)</p> <p>2 木部合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ 屋外はA種、屋内はB種】</p> <p>3 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ B種】</p>	<p>4節 合成樹脂調合ペイント塗 (S.O.P塗り)</p> <p>1 塗料の種類 (17.4.2)</p> <p>2 木部合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ 屋外はA種、屋内はB種】</p> <p>3 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの工程の種別:【・ ※ B種】</p>																																																																	
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																									
図示による	図示による																																																																										
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>(仮称)公社赤通都府再生住宅整備工事(建築)</th> <th>工事年度</th> <th>令和1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事場所</td> <td>うるま市赤通972番51、929番11</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書(9)</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>沖縄県住宅供給公社</td> <td>縮尺</td> <td>No Scale</td> </tr> <tr> <td>適用</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>A-010</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検印</td> <td>管理建築士</td> <td>設計</td> <td>製図</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>名称</td> <td>(株)かみもり設計</td> </tr> <tr> <td>資格者氏名</td> <td>登録番号</td> <td>比嘉 豊 第305084号</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>登録番号</td> <td>第103-478号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>所在地</td> <td>沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	(仮称)公社赤通都府再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度	工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書(9)	発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	No Scale	適用		図面番号	A-010	検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	(株)かみもり設計	資格者氏名	登録番号	比嘉 豊 第305084号	所在地	登録番号	第103-478号				所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号																																					
工事名称	(仮称)公社赤通都府再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度																																																																								
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書(9)																																																																								
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	No Scale																																																																								
適用		図面番号	A-010																																																																								
検印	管理建築士	設計	製図																																																																								
	設計者	名称	(株)かみもり設計																																																																								
	資格者氏名	登録番号	比嘉 豊 第305084号																																																																								
	所在地	登録番号	第103-478号																																																																								
			所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号																																																																							

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項
5節 クリヤラッカー塗り (C. L塗り)		19章 内装工事		11節 断熱及び防露	
1 塗り工程 (17.5.2)	クリヤラッカー塗りの工程の種類: [・ ※ B種]	1節 一般事項		1 適用範囲 (19.11.1)	壁外断熱工事: [・]
6節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E. P-I、E. P-II塗り)		1 一般事項 (19.1.2)	2 室内において使用する機材: [・ ※ JIS及びJASに定められたホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを放散しない機材]	2 材料 (19.11.2)	1 発泡プラスチック保温材は、JIS A9511 (発泡プラスチック保温材) によるA種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材、A種押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)、A種硬質ウレタンフォーム保温材及びA種フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) とし、適用する種類及び厚さ: [・ ※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b]
1 塗り工程 (17.6.2)	合成樹脂エマルジョンペイント塗りの工程の種類: [・ ※ B種] 17.6.1表 (注)4 けい酸カルシウム板等の下塗りに先立つ工法: [・ ※ 専用の2液性エポキシシーラー等を用いる]	2 材料一般 (19.1.4)	1 内装材料の種類、品質、計上、及び寸法: [・ 図示による]	3 工法 (19.11.3)	2 吹き付け工法 (現場発泡工法) による断熱材の種類: [・ ※ A種1] 1 工法 (1) 断熱及び防露の工法: [・ ※ SI工法] 5 吹き付け工法 (現場発泡工法) (1) 断熱材の吹き付け厚さ: [・]
8節 ウレタン樹脂ワニス塗り (U. C塗り)		2節 発泡プラスチック系床下地		12節 内装プレハブ工法	
1 塗り工程 (17.8.2)	ウレタン樹脂ワニス塗りの工程の種類: [・ ※ B種]	2 材料 (19.2.1)	1 遮音性能: [・] 4 厚さ: [・ ※ (1)(2)]	1 適用範囲 (19.12.1)	2 内装プレハブ工法: [・]
9節 つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (G. P塗り)		3節 乾式遮音二重床下地		2 材料 (19.12.3)	材料: [・ ※ (1)~(7)] (7) (ハ) 鋼板の表面処理: [・ ※ JIS A8610の2種3級に準ずる]
1 コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこう面、その他ボード面等つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗りの工程の種類: [・ ※ B種]	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこう面、その他ボード面等つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗りの工程の種類: [・ ※ B種]	1 材料 (19.3.1)	1 遮音性能: [・ 図示による] 4 パーティクルボードと捨て張り合板の厚さ: [・ 図示による]	20章 部品・その他工事	
2 鉄鋼面つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (17.9.4)	屋内の鉄面のつや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗りの工程の種類: [・ ※ B種]	4節 天然木化粧複合フローリング張り		1節 一般事項	
18章 仕上塗材工事		1 材料工法 (19.4.1)	1 種類: [・ 図示による]	2節 部品ユニット	
1節 一般事項		5節 畳敷き		1 一般事項 (20.1.2)	2 室内において使用する機材: [・ ※ JIS及びJASに定められたホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを放散しない機材]
1 一般事項 (18.1.2)	2 防火材料の指定: [・ 有り] S1 3 室内において使用する機材: [・ ※ JIS及びJASに定められたホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆、またはホルムアルデヒドを放散しない機材]	1 材料 (19.5.1)	1 畳の種類: [・] 19.5.1表 畳べり JIS L3108 (畳べり地) によるへり地: [・] (注) D種の場合の畳床の記号: [・] 3 畳床の防虫処理: [・]	1 浴室ユニット (20.2.2)	
2 材料 (18.1.4)	3 マスチック塗材 (A、C) の品質及び性能: [・ ※ 総則編1.5.2.2(3)に示す基準]	6節 ビニル床シート		2 キッチンキャビネット (20.2.3)	1 キッチンキャビネットの品質及び性能: 2 浴室ユニットの種類、形状、寸法 (内法)、材質: [・ 図示による]
3 下地処理 (18.1.6)	4 複層仕上塗材: [・ ※ 水系塗材] 3 シーリング用材料の種類: [・ ※ UP-2]	1 材料 (19.6.1)	1 種類: [・ ※ 5種の場合は、エンボス加工] 2 ビニル巾木の厚さ、高さ: [・ ※ 厚さ1.5mm、高さ60mm] 3 接着剤の種類: [・] 4 熱溶接工法の適用: [・] 6 外廊下等の雨掛り部のビニル床シート端部処理: [・ ※ (1)~(3)]	3 郵便受箱 (20.2.4)	1 郵便受箱の品質及び性能: [・ ※ 総則編1.5.2.2(3)に示す基準] 2 郵便受箱の形状、寸法、材質: [・ 図示による]
3節 厚付け仕上塗材		7節 ビニル床タイル張り		4 手すりユニット (20.2.5)	1 手すりユニットの品質及び性能: [・ ※ 総則編1.5.2.2(3)に示す基準] 2 手すりユニットの種類、材質、形状及び寸法: [・ 図示による] 3 躯体への指示方法: [・ 図示による]
1 セメント系厚付け仕上塗材 (C) (18.3.1)	3 工程 工程凸部処理仕上げ及び上塗りの有無: [・] 18.3.1表 (注)1 下塗り及び上塗りの省略: [・]	1 材料 (19.7.1)	1 ビニル床タイルの種類及び厚さ等: [・ ※ ホモジニアスピニル床タイルとし、厚さ2mm]	5 補助手すり (20.2.6)	1 補助手すりの品質及び性能: [・ ※ 総則編1.5.2.2(3)に示す基準] 2 補助手すりの形状、寸法、材質: [・ 図示による]
2 合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材 (E) (18.3.2)	3 工程 18.3.2表 (注)1 下塗り及び上塗りの省略: [・] 2 工程4は凸部処理仕上げの場合: [・]	8節 合成樹脂塗り床		6 その他の部品ユニット (20.2.7)	1 その他の部品ユニット (換気扇、レンジフードファン、洗面化粧ユニット、洗濯機防水パン及び昇降機設備) の形状、寸法、材質: [・ 図示による] 機械設備工事とする 2 取り合い工事の区分: [・ 図示による]
4節 複層仕上塗材		9節 せっこうボード、その他のボード及び合板張り			
1 ポリマーセメント複層仕上塗材 (CE) (18.4.1)	3 工程 仕上げ方法: [・]	1 材料 (19.9.1)	3 化粧合板 (2) 和室天井に使用する場合は: [・ ※ 特殊加工化粧合板] (4) 天井板の合板合板及び裏材木の防虫処理: [・] 4 難燃処理表示合板 (3) 樹種: [・ ※ 生地のまま、又は透明塗料塗りの場合はラワンとし、不透明塗料塗りの場合はしな] 5 釘及ドリリングタッピングねじ (スクリューねじ) 等 (1) (イ) 化粧せっこうボードの留め付け: [・] 6 接着剤 接着剤の種類: [・ ※ 19.9.3表]		
2 けい酸系複層仕上塗材 (Si) (18.4.2)	3 工程 仕上げ方法: [・ ※ ゆず肌状]	2 施工 (19.9.2)	5 ボード類、合板等の張り付け (3) 合板類の張り付け: [・ ※ 19.9.5表のB種]		
3 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 (E) (18.4.3)	3 工程 仕上げ方法: [・]	10節 壁紙張り			
4 反応硬化合成樹脂エマルジョン系複層塗材 (RE) (18.4.4)	3 工程 仕上げ方法: [・]	1 材料 (19.10.1)	1 壁紙の品質及び防火性能: [・]		
5節 マスチック塗材 (RM) ローラー塗り					
1 種類 (18.5.1)	2 材料 (1) マスチック塗材の種類及び仕上げ: [・] (2) マスチック塗材 (A、C) の品質及び性能: [・]				

工事名称	(仮称) 公社赤通都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書 (10)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	No Scale
適用		図面番号	A-011
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

章 項目	特記事項
21章 PC工法による工事	
1節 一般事項	
21-1 関連設備工事 (21.1.3)	別契約工事の工事区分：【 ・ 】 ※ (1)及び(2) 【 ・ 】 (2)穴埋め：【 ・ 】
2節 PC部材製造に用いる材料及び部品	
1 セメント (21.2.1)	セメント：【 ・ 】 ※ 普通ポルトランドセメント、早強ポルトランドセメント又は混合セメント（高炉セメント、フライアッシュセメント）のA種のいずれか
2 混和材料 (21.2.4)	混和剤の種類：【 ・ 】
3 鋼材・鉄筋等 (21.2.5)	1 鉄筋の種類：【 ・ 】 2 鋼材の種類：【 ・ 】 3 せん断補強筋としてPC鋼棒を用いる場合：【 ・ 】
4 溶接用金物等 (21.2.6)	2 仕上がり形状、寸法：【 ・ 】
3節 PC部材の製造	
1 コンクリートの種類 (21.3.2)	コンクリートの使用管材による種別：【 ・ 】
2 コンクリートの設計基準強度 (21.3.3)	コンクリートの設計基準強度：【 ・ 】
3 コンクリートの割合 (21.3.4)	6 水セメント比 7 コンクリートの所用スランジ：【 ・ 】
4 PC部材のかぶりかぶり厚さ (21.3.9)	(1) PC部材及びPC部材接合部のかぶり厚さ：【 ・ 】
5 表面仕上げ (21.3.12)	2 タイル張り仕上げ (2) 製造方法：【 ・ 】 ※ 先付け工法
6 PC部材の補修 (21.3.16)	1 補修を要するPC部材の補修規準及び補修方法：【 ・ 】
4節 基礎及び基礎梁	
1 一般事項 (21.4.1)	(1) コンクリートの設計基準強度：【 ・ 】
6節 溶接接合	
1 添えプレート (21.6.6)	1 壁板の水平ドライ接合部に用いる添えプレートの材質：【 ・ 】
2 溶接施工 (21.6.7)	1 1 フレアグループ溶接の余盛り：【 ・ 】
3 溶接後の検査 (21.6.8)	2 超音波探査試験の実施：【 ・ 】
7節 スリーブ接合	
1 一般事項 (21.7.1)	1 スリーブ接合の材料及び施工方法：【 ・ 】 2 スリーブ接合の検査方法及び判定基準：【 ・ 】
8節 その他の接合	
1 一般事項 (21.8.1)	1 その他の接合の種類・箇所及び施工方法：【 ・ 】 2 その他の接合の検査方法及び判定基準：【 ・ 】
9節 狭小部充填コンクリート	
1 狭小部充填コンクリートの設計基準強度 (21.9.1)	1 狭小部充填コンクリートの設計基準強度：【 ・ 】
2 割合 (21.9.3)	狭小部充填コンクリートの割合：【 ・ 】
3 打込み (21.9.6)	5 凍害を受けるおそれがある場合の保温養生の方法：【 ・ 】
10節 敷きモルタル	
1 敷きモルタルの圧縮強度 (21.10.1)	敷きモルタルの圧縮強度：【 ・ 】

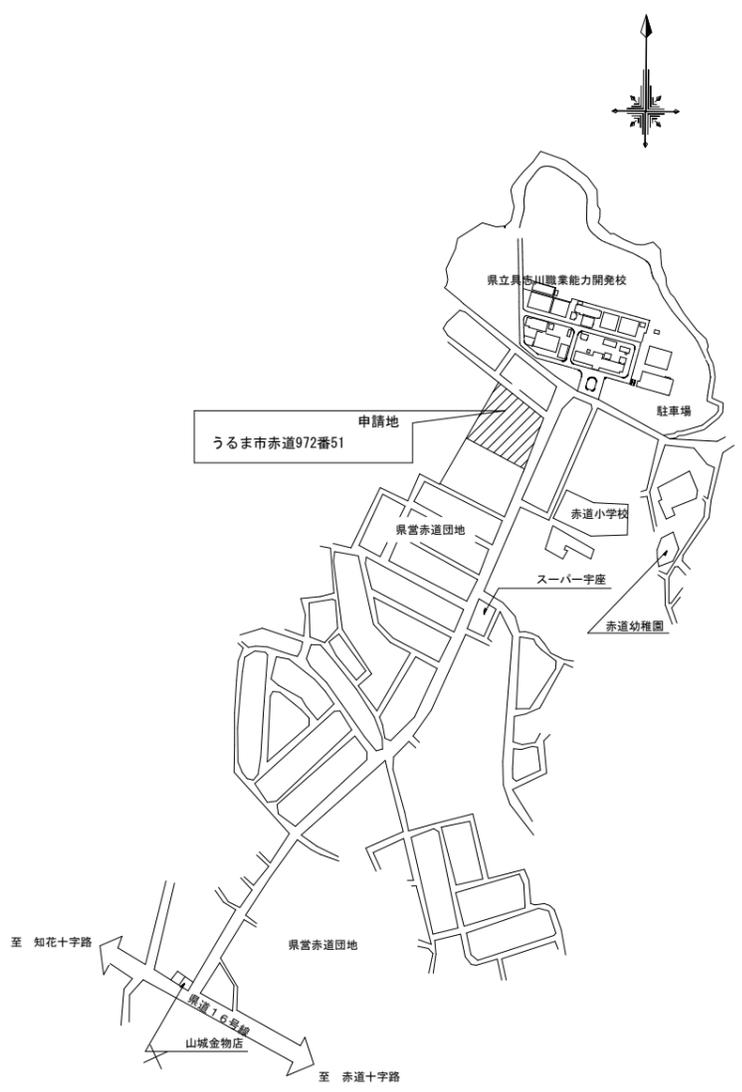
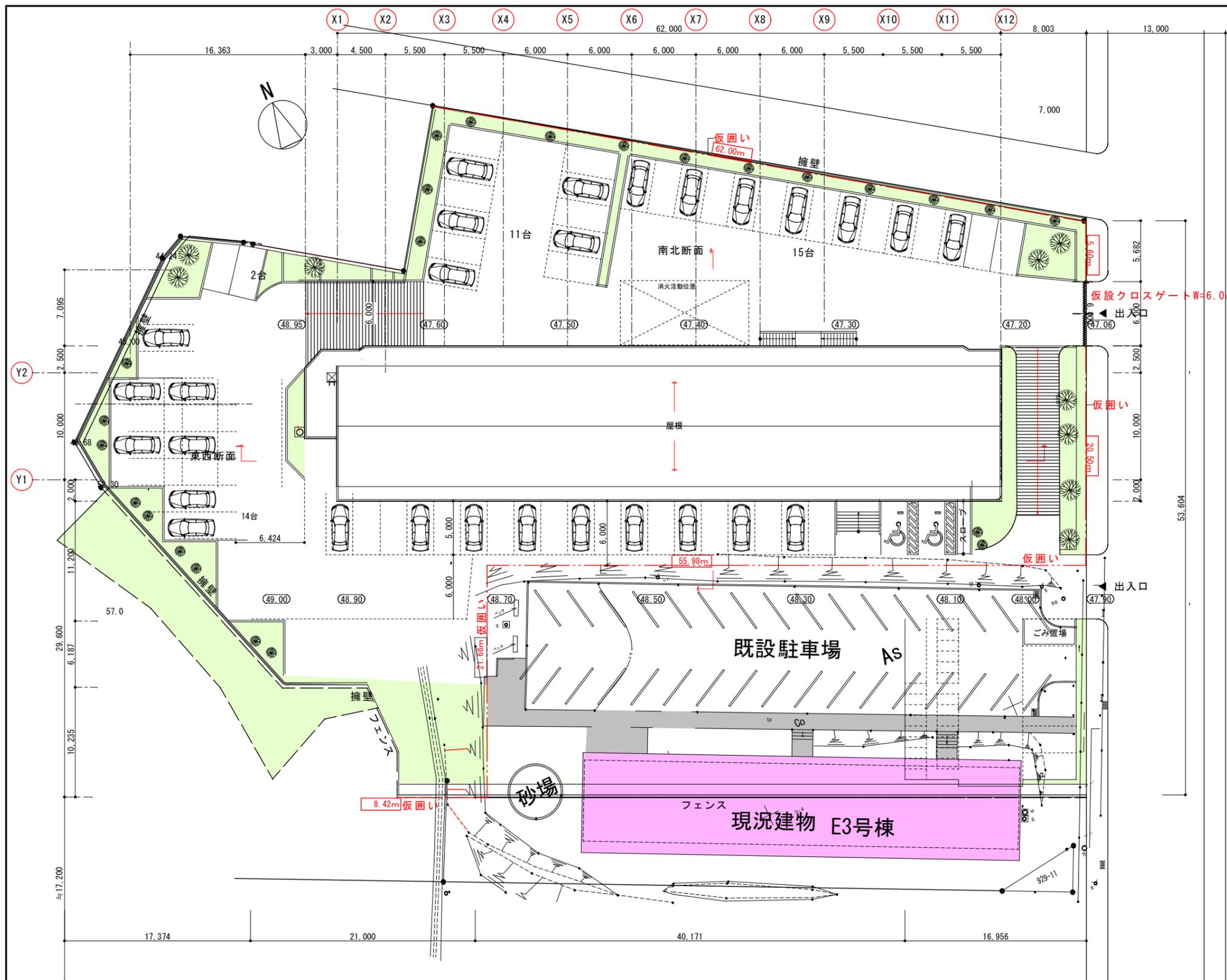
章 項目	特記事項																						
22章 排水工事																							
2節 材料																							
22-1 排水管 (22.2.1)	1 材料、管の種類、呼び径等 <table border="1"> <tr> <th>材料種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>VP</td> <td>図示による</td> <td>JIS K 6741</td> </tr> </table>	材料種	管の種類	呼び径	備考	硬質ポリ塩化ビニル管	VP	図示による	JIS K 6741														
材料種	管の種類	呼び径	備考																				
硬質ポリ塩化ビニル管	VP	図示による	JIS K 6741																				
22-2 側溝、排水枡等 (22.2.2)	1 側溝の形状及び寸法 <table border="1"> <tr> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 2 排水枡及びふたの種類等： <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 3 グレーチング材種、用途、適用荷重、メインバーピッチ等： <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形状	寸法	備考				種類	適用荷重	備考				材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考					
形状	寸法	備考																					
種類	適用荷重	備考																					
材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考																			
22-3 その他の材料 (22.2.3)	1 地業の材料：【 ・ 】 2 設計基準強度：【 ・ 】 18N/mm ² と。ただし、コンクリートが軽易な場合は、調査を容積比でセメント1：砂2：：砂利4程度 5 埋め戻しに用いる材料の種類：【 ・ 】																						
3節 施工																							
22-1 適用範囲 (22.3.1)	1 以外の工法：【 ・ 】																						
22-2 工法 (22.3.3)	5 遠心力鉄筋コンクリート管 (1) 管基礎の厚さ及び種類：【 ・ 】 6 硬質ポリ塩化ビニル管： (1) 管基礎の厚さ及び種類：【 ・ 】																						
4節 街きよ、縁石及び側溝																							
22-1 材料 (22.4.2)	1 コンクリート縁石及び側溝 <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>規格名称</th> <th>形状</th> <th>寸法等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 3 地業の材料：【 ・ 】 ※4.6.2.の1 1 砂利地業の厚さ：【 ・ 】 ※100mm	名称	規格名称	形状	寸法等	備考																	
名称	規格名称	形状	寸法等	備考																			
22-2 施工 (22.4.3)	5 材料 (1) 材料：【 ・ 】 6 床堀り、掘削など (2) 土質の確認または試験：【 ・ 】																						
5節 雨水浸透施設																							
22-1 施工一般 (22.5.2)	5 材料 (1) 材料：【 ・ 】 6 床堀り、掘削など (2) 土質の確認または試験：【 ・ 】																						
23章 舗装工事																							
2節 路床																							
23-1 路床の構成及び仕上がり (23.2.2)	1 路床は、路床土、謝断層、凍上抑制層又はフィルター層から構成され、その適用、厚さ等は次による。 (1) 遮断層の適用及び厚さ：【 ・ 】 (2) 凍上抑制層の適用及び厚さ：【 ・ 】 (3) 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ：【 ・ 】 (4) 路床安定処理 (イ) 安定処理の適用：【 ・ 】 (ロ) 安定処理の方法：【 ・ 】																						
23-2 材料 (23.2.3)	1 盛土に用いる材料の種類：【 ・ 】 2 遮断層に用いる材料：【 ・ 】 3 寒冷地に適用される凍上抑制層及び透水性舗装のフィルター層に用いる材料：【 ・ 】 4 砂の粒度試験：【 ・ 】 5 路床安定処理用材料 (1) 路床安定処理用添加材料：【 ・ 】 (2) ジオテキスタイルの適用及び品質：【 ・ 】																						
23-3 試験 (23.2.5)	1 路床土の支持力比 (CBR) 試験：【 ・ 】 2 路床締め固め度の試験：【 ・ 】																						

章 項目	特記事項																																															
3節 路盤																																																
3-1 盤の構成及び仕上がり (23.3.2)	1 路盤の厚さ：【 ・ 】																																															
3-2 材料 (23.3.3)	1 路盤材料の種類、品質等：【 ・ 】 ※ 採石及び再生材のクラッシャーラン又はクラッシャー鉄鋼スラグ																																															
4節 アスファルト舗装																																																
4-1 舗装の構成及び仕上がり (23.4.2)	1 アスファルト舗装の構成と厚さ：【 ・ 】																																															
4-2 配合その他 (23.4.4)	4 舗装の平たん性：【 ・ 】 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 1 表層及び基層の加熱アスファルト混合物及び再生アスファルト混合物（以下「加熱アスファルト混合物等」という。）の種類：【 ・ 】 5 シールコートの施行：【 ・ 】																																															
4-3 工法 (23.4.5)	3 アスファルト混合物等の抽出試験 (1) 試験の適用：【 ・ 】																																															
4-4 試験 (23.4.6)																																																
5節 コンクリート舗装																																																
5-1 舗装の構成及び仕上がり (23.5.2)	1 コンクリート舗装等の構成及び厚さ：【 ・ 】 ※ 23.5.1表 寒冷地の縁部立ち上がり寸法等：【 ・ 】																																															
5-2 材料 (23.5.3)	1 設計基準強度、スランジ及び粗骨材の最大寸法：【 ・ 】 ※ 2.5.2表 転圧コンクリート舗装に使用するコンクリート：【 ・ 】 2 寒冷地に施工する場合で早強セメントを用いる場合：【 ・ 】 4 注入目地材料の種類：【 ・ 】 ※ 低弾性タイプ 4 転圧コンクリート舗装の工法：【 ・ 】 5 目地 (1) 目地の種類及び間隔：【 ・ 】 ※ 23.5.4表 (2) 目地の構造：【 ・ 】 ※ 23.5.1図																																															
5-3 施工 (23.5.4)	1 コンクリート版の厚さの試験：【 ・ 】																																															
5-4 試験 (23.5.6)																																																
6節 カラー舗装																																																
6-1 舗装の構成及び仕上がり (23.6.2)	1 カラー舗装の構成と厚さの種類：【 ・ 】 ※ 加熱系混合物 結合材による種類及び車道部の基層の適用：【 ・ 】 3 舗装厚さの許容差：【 ・ 】 ※ 23.4.2の3																																															
6-2 材料 (23.6.3)	1 加熱系混合物に使用する材料：【 ・ 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石：【 ・ 】																																															
6-3 配合その他 (23.6.4)	1 加熱系混合物の配合その他は、23.4.4及び次による (2) 結合材に石油樹脂を使用する場合、顔料の添加量：【 ・ 】 2 樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の場合その他：【 ・ 】																																															
7節 透水性アスファルト舗装																																																
7-1 舗装の構成及び仕上がり (23.7.2)	1 透水性アスファルト舗装の厚さ：【 ・ 】 2 舗装の仕上がり (2) 舗装の平たん性：【 ・ 】 ※ 著しい不陸がないこと																																															
8節 排水性アスファルト舗装																																																
8-1 舗装の構成及び仕上がり (23.8.2)	1 排水性アスファルト舗装の厚さ：【 ・ 】																																															
<table border="1"> <tr> <td>工事名称</td> <td>(仮称) 公社赤通都再生住宅整備工事 (建築)</td> <td>工事年度</td> <td>令和1年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>うるま市赤通972番51、929番11</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書 (11)</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>沖縄県住宅供給公社</td> <td>縮尺</td> <td>No Scale</td> </tr> <tr> <td>適用</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td>A-012</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検印</td> <td>管理建築士</td> <td>設計</td> <td>製図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">(株) かみもり設計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資格者氏名</td> <td colspan="2">比嘉 豊 第305084号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">登録番号</td> <td colspan="2">第103-478号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">所在地</td> <td colspan="2">沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号</td> </tr> </table>				工事名称	(仮称) 公社赤通都再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度	工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書 (11)	発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	No Scale	適用		図面番号	A-012	検印	管理建築士	設計	製図										名称		(株) かみもり設計		資格者氏名		比嘉 豊 第305084号		登録番号		第103-478号		所在地		沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	
工事名称	(仮称) 公社赤通都再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度																																													
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書 (11)																																													
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	No Scale																																													
適用		図面番号	A-012																																													
検印	管理建築士	設計	製図																																													
名称		(株) かみもり設計																																														
資格者氏名		比嘉 豊 第305084号																																														
登録番号		第103-478号																																														
所在地		沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号																																														

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
舗装工事	9節 ブロック系舗装		擁壁	4節 芝張り、吹き付け種及び地被類		2 遊具組立設置 (24.8.3)	1 材料 (2)コンクリート製品でJISでないものの品質：【 ・ 】 (3)木製遊具器具など (4)木材の規格及び樹種など： 防腐処理：【 ・ ※ 24.8.1-2(2)】 (4)木材その他の工作物 防腐処理：【 ・ ※ 24.8.1-2(2)】 (v)自然石 (ii)切石などの仕上げ：【 ・ 】		
	23	1 舗装の構成及び仕上がり (23.9.3)		1 舗装の構成及び厚さは、23.9.1表以外は、次による。 (1)コンクリート平板舗装の目地材：【 ・ ※ 砂 】 (2)仕上り面の平坦性：【 ・ ※ 段差3mm以内】	1 芝 (1)芝の種類：【 ・ ※コウライシバ】 3 吹き付けは種用種子等 (1)種子 (4)種類及び量： 【 ・ ※洋芝類とし、採取後2年以内で、きょう雑物を含まない発芽率80%以上、かつ、施工時期及び地域に適した物】		1 材料 (2)ネットフェンス 【詳細は図示による】 (4)構成部材の種類寸法：【 ・ φ38.1×1.6 】 (v)ひし形金網の種類寸法：【 ・ 完全式菱形金網φ3.2×56 (400g亜鉛メッキ鉄線) 】		
	2 材料 (23.9.3)	1 コンクリート平板舗装の種類及び寸法：【 ・ 】 2 インターロッキングブロックの種類、形状、寸法、表面加工等：【 ・ ※ 車道部は曲げ強度5.0N/mm2の普通ブロック厚さ80mm以上、歩道部は曲げ強度3.0N/mm2の普通ブロック厚さ60mm】 3 舗石に用いる石材の種類、形状及び寸法：【 ・ 】 6 ジオテキスタイルの適用及び品質：【 ・ 】		2 芝張りの工法 (24.4.3) 3 移植樹木の枯損処置 (24.4.9)	4 地被類は発育が盛んで乾燥していないコンテナ栽培品とし、樹種（植物名）、芽立数、コンテナ径及び単位面積当たりのコンテナ数：【 ・ 】 1 工法：【 ・ ※平地は目地張り、法面はべた張り 】 1 新植樹木の枯損償の期間：【 ・ ※引き渡しの日から1年 】		9節 管理施設		
	3 施工 (23.9.4)	2 インターロッキングブロック舗装 (2)割り付け：【 ・ ※ ヘリンボンボンド】		5節 屋上緑化	1 植栽基板 (24.5.2) 2 材料 (24.5.3) 3 工法 (24.5.4)		1 屋上緑化システム (2)土壌層の厚さ：【 ・ 】 1 屋上緑化システムの各構成層の材質及び性能は、次の(1)～(5)までによる。なお、実績等の資料を監督員に提出する。 (3) 排水層： (4) (ii)膨張性頁岩等の粒径3～25mm程度の物とし、層の厚さ：【 ・ 】 (5) 土壌層 植え込み用土：【 ・ ※(v)の改良土】 4 樹木、芝及び地被類の樹種又は寸法、株立数並びに刈り込みものの適用及び数量： 【 ・ 】 5 緑材、舗装材、水抜き管、マルチング材等：【 ・ 】	10節 建築施設組立	
	10節 土系舗装、タイル舗装、れんが舗装、石系舗装			1 植栽基板 (24.5.2) 2 材料 (24.5.3) 3 工法 (24.5.4)	1 一般事項 (24.6.2) 2 ブロック積（張）擁壁 (24.6.5) 3 石積（張）擁壁 (24.6.6) 4 その他擁壁 (24.6.7)		1 一般事項 (24.6.2) 1 調査 (1)支持力試験の方法：【 ・ 】 2 材料一般 (1)石材の材料：【 ・ 】 (4)込めに使用する透水性材料及び伸縮目地の材料・厚さ：【 ・ 】 (5)水抜きパイプの口径：【 ・ 】 1 材料 コンクリートブロック：【 ・ ※JIS A5371（プレキャスト無筋コンクリート）D（ブロック式擁壁類）の規格に適合】 3 コンクリートブロック積：【 ・ 】 (1)コンクリートブロック積み：【 ・ ※谷積み】 1 材料 (1)石材：【 ・ ※JIS A5003（石材）の規格に適合】 (2)割石及び雑割石の規格】 2 工法一般 (3)雑割石積み、野面石積みの縁積みの場合の目地仕上げ方法：【 ・ 】 (9)水抜きパイプの口径：【 ・ 】 3 石積み (1) (4)割石積、雑割石積み、：【 ・ ※谷積み】 1 レンガウォール (1)普通レンガ：【 ・ ※23.10.4】 3 コンクリートブロックウォール (1)コンクリートブロック：【 ・ ※JIS A5406 B種】	1 一般事項 (24.10.1) 2 自転車置場 (24.10.2) 3 物置ユニット (24.10.3)	
	1 土系舗装 (23.10.2)	2 工法 (1)砂舗装の高さ及び厚さ：【 ・ 】 (2)採石及び石灰岩ガスト舗装の高さ及び厚さ：【 ・ 】 (4)表層安定剤の量：【 ・ 】		6節 ウォール・擁壁	1 四つ目垣 (24.7.3)		1 材料 (1)柱の防腐処理：【 ・ 】	11節 グラウンド舗装	
	2 タイル舗装 (23.10.3)	1 材料 (1)床用タイルの寸法、形状、色合いなど：【 ・ 】 2 工法 (3)目地 (v)タイル舗装の化粧目地：【 ・ 】 (vi)伸縮目地：【 ・ ※ 伸縮目地に囲まれた1区画は10m2以下】		7節 修景施設	1 一般事項 (24.7.3)		1 材料 (1)荒木田土：【 ・ 】 (4)グラウンドのライン：【 ・ 】 2 工法 (2)クレー舗装 (4)荒木田土の高さ及び厚さ：【 ・ 】 (v)表層安定剤の量：【 ・ 】	10節 建築施設組立	
	3 レンガ舗装 (23.10.4)	2 工法 (2)目地 (v)化粧目地：【 ・ 】 (vi)伸縮目地：【 ・ 】		8節 遊戯施設及びサービス施設	1 一般事項 (24.8.2)		1 材料 (1)物置ユニットの主要部材の材質：【 ・ 】 2 強度区分の種類、寸法、形状等：【 ・ 】 3 工法 (1)基礎工事：【 ・ ※ 製造所の仕様】	11節 グラウンド舗装	
	5 石材系舗装 (23.10.5)	1 砂利 (1)材料 (v)砂利の種類：【 ・ 】 2 小舗石、鉄平石、青石、丹波石 (1)材料 (v)小舗石の産地：【 ・ 】 (2)工法 (v)化粧目地：【 ・ 】		1 一般事項 (24.8.2) 4 木材の防腐処理 (1)木材防腐処理方法：【 ・ 】 (2)木材の防腐処理に使用する防腐剤：【 ・ 】 6 安全確保 遊具の構造、強度、材料、寸法、安全領域等： 【 ・ ※（一社）日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」の規定】	1 一般事項 (24.11.3)		1 材料 (1)荒木田土：【 ・ 】 (4)グラウンドのライン：【 ・ 】 2 工法 (2)クレー舗装 (4)荒木田土の高さ及び厚さ：【 ・ 】 (v)表層安定剤の量：【 ・ 】	12節 その他	
	11 砂利 砂利敷き			1 一般事項 (24.11.3)	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品		
1 材料 (23.11.2)	砂利敷きの種別：【 ・ ※ 通路はA種、建物周囲その他はB種 】	1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
24章 植栽、屋上緑化、ウォール・擁壁		1 一般事項 (24.11.3)	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
1節 一般事項		1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
24	1 植栽地の確認等 (24.1.2)	1 土壌の水素イオン濃度(pH)、水溶性塩類(EC)等の試験： 【 ・ 】	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
2節 植栽基盤		1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
2 植栽基盤一般 (24.2.2)	1 植栽基盤整備工法の適用：【 ・ 】 2 有効土層として整備する面積及び厚さ：【 ・ ※ 樹木等に応じた有効土層の厚さは、24.2.1表】 3 植栽基盤に浸透した雨水を排水するために、暗きょ、開きょ、排水層、縦穴排水等を設置する場合は：【 ・ 】 4 植栽基盤整備工法の種別： 【 ・ ※ 樹木の場合はA種、芝及び地被類の場合はB種】 5 土壌改良材の適用：【 ・ 】	1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
2 材料 (24.2.3)	1 植え込み用土：【 ・ ※ 現場発生土の改良土】 2 土壌改良材：【 ・ 】	1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
3節 植樹		1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
1 材料 (24.3.2)	2 樹木の樹種、寸法、株立数及び刈り込みものの適用並びに数量：【 ・ 】 3 支柱材：【 ・ ※ 丸太】 (1)防腐処理方法：【 ・ ※ 加圧防腐処理丸太材】 4 幹巻き用材料：【 ・ ※ 幹巻き用テープ】 4 支柱 (1)添え柱形、鳥居形、ハツ掛け方、布掛け方、ワイヤー掛け又は地下埋設形：【 ・ 】	1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
2 新植の工法 (24.3.3)	1 新植樹木の枯損償の期間：【 ・ ※ 引き渡しの日から1年】	1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				
3 新植樹木の枯損償 (24.3.4)	1 新植樹木の枯損償の期間：【 ・ ※ 引き渡しの日から1年】	1 共通仮設備品	1 共通仮設備品		1 共通仮設備品				

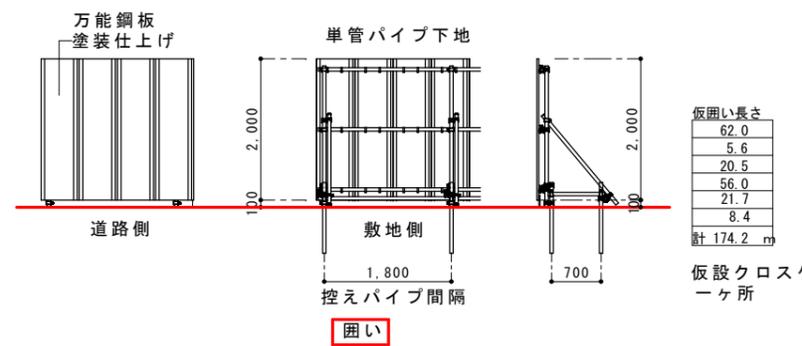
名称	規格	数量	単位	名称	規格	数量	単位
【事務所備品】							
片袖机（椅子込み）	1060×730	5	台	電話機	子機付	1	台
会議用テーブル	1800×600×700	6	台	下駄箱	12人程度	1	台
会議用椅子	折りたたみタイプ	20	脚				
スチール棚（壁付）	1200×600×1900	4	台				
ホワイトボード	行事用 900×1200	1	枚				
ホワイトボード	無地用 900×1200	1	枚				
ロッカー	6人用	1	台				
流し台	L=1200	1	台				
冷蔵庫	230リットル	1	台				
電気ポット	3リットル	1	台	【購入備品】			
カラーデジタル複合機	A3規格対応	1	台	レインコート	ビニル製	12	着
パーソナルコンピューター	インターネット回線設定 Windows10 office込み	2	台	長靴	白	6	足
エアコン		2	台	雨傘		6	本
時計	壁掛け	2	台	保護帽		6	個
食器棚		1	台	安全帯		6	組

工事名称	(仮称)公社赤通都再生住宅整備工事（建築）	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤通972番51、929番11	図面名称	特記仕様書（12）
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	No Scale
適用		図面番号	A-013
検印	管理建築士	設計	製図
	設計者	名称	(株)かみもり設計
	資格者氏名	比嘉 豊	第305084号
	登録番号		第103-478号
所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号		



案内図 NO SCALE

配置図 縮尺 1/400



工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	仮囲い配置図
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:200 A3=1:400
適用		図面番号	A-015
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

敷地求積図



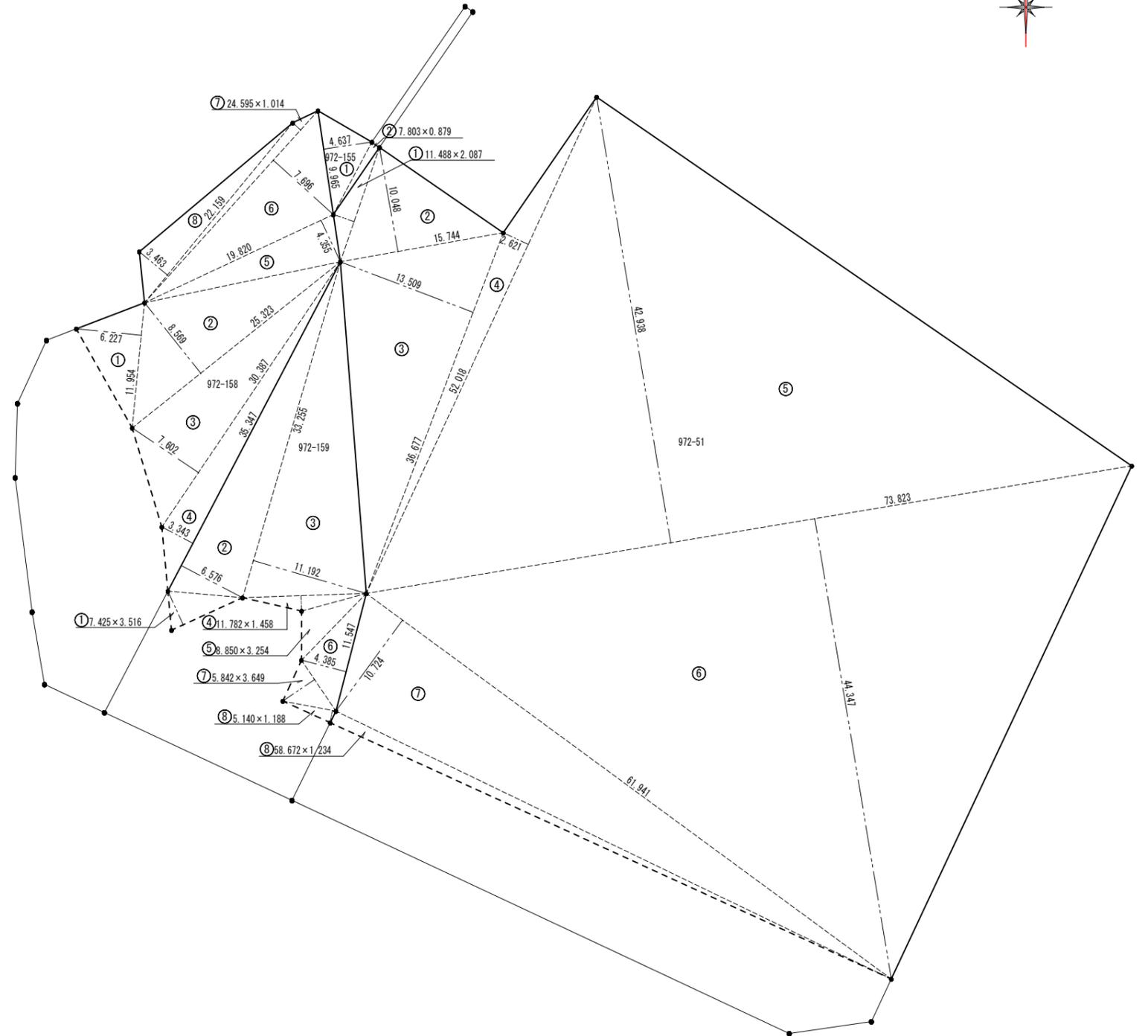
972-155			
N O	底辺	高さ	倍面積
1	9.973	4.637	46.244801
2	7.803	0.879	6.858837
合計			53.103638
1/2			26.551819
地積			26.55 ⊕

972-158			
N O	底辺	高さ	倍面積
1	11.954	6.227	74.437558
2	25.323	8.569	216.992787
3	30.387	7.602	231.001974
4	35.347	3.343	118.165021
5	19.820	4.355	86.316100
6	24.595	7.696	189.283120
7	24.595	1.014	24.939330
8	22.159	3.463	76.736617
合計			1017.872507
1/2			508.9362535
地積			508.93 ⊕

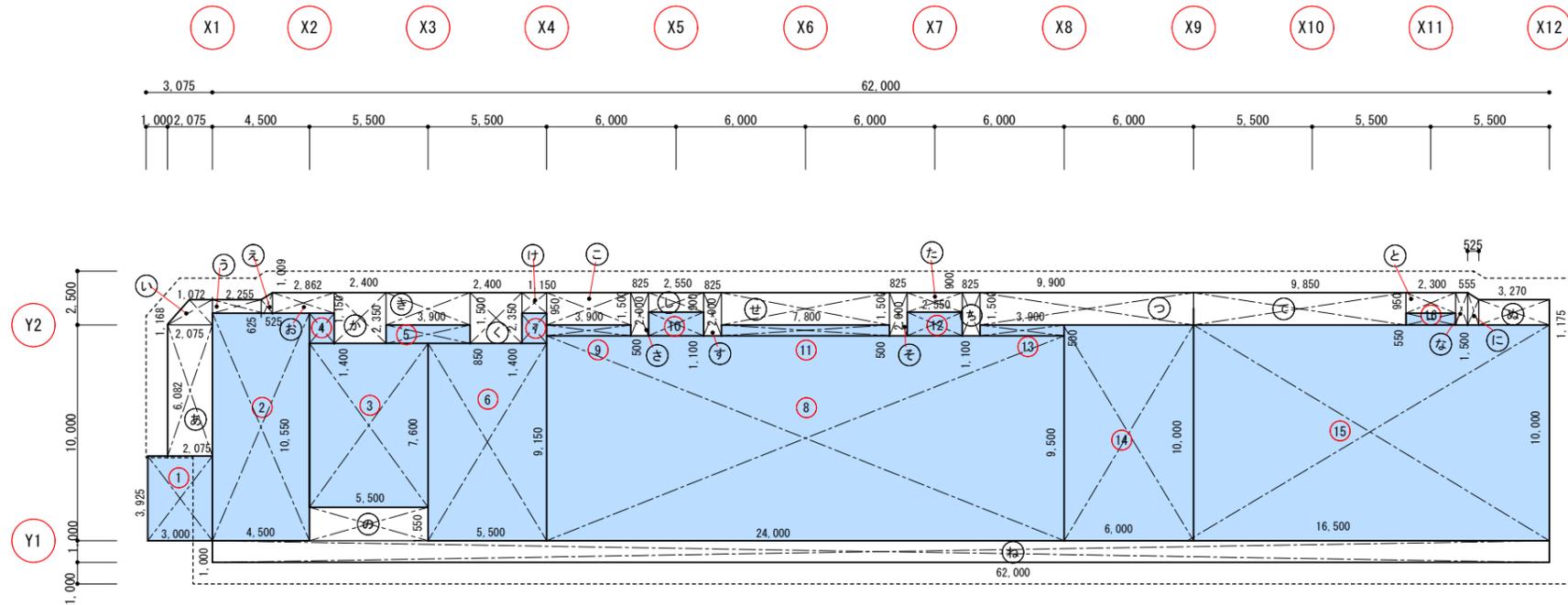
972-159			
N O	底辺	高さ	倍面積
1	7.425	3.516	26.106300
2	35.347	6.576	232.441872
3	33.255	11.192	372.189960
4	11.782	1.458	17.178156
5	8.850	3.254	28.797900
6	11.547	4.385	50.633595
7	5.842	3.649	21.317458
8	5.140	1.188	6.106320
合計			754.771561
1/2			377.3857805
地積			377.38 ⊕

972-51			
N O	底辺	高さ	倍面積
1	11.488	2.087	23.975456
2	15.744	10.048	158.195712
3	36.677	13.509	495.469593
4	52.018	2.621	136.339178
5	73.823	42.938	3169.811974
6	73.823	44.347	3273.828581
7	61.941	10.724	664.255284
8	58.672	1.234	72.401248
合計			7994.277026
1/2			3997.1385130
地積			3997.13 ⊕

合計	4909.99 ⊕
----	-----------



工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	敷地面積求積図
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:250 A3=1:500
適用		図面番号	A-016
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

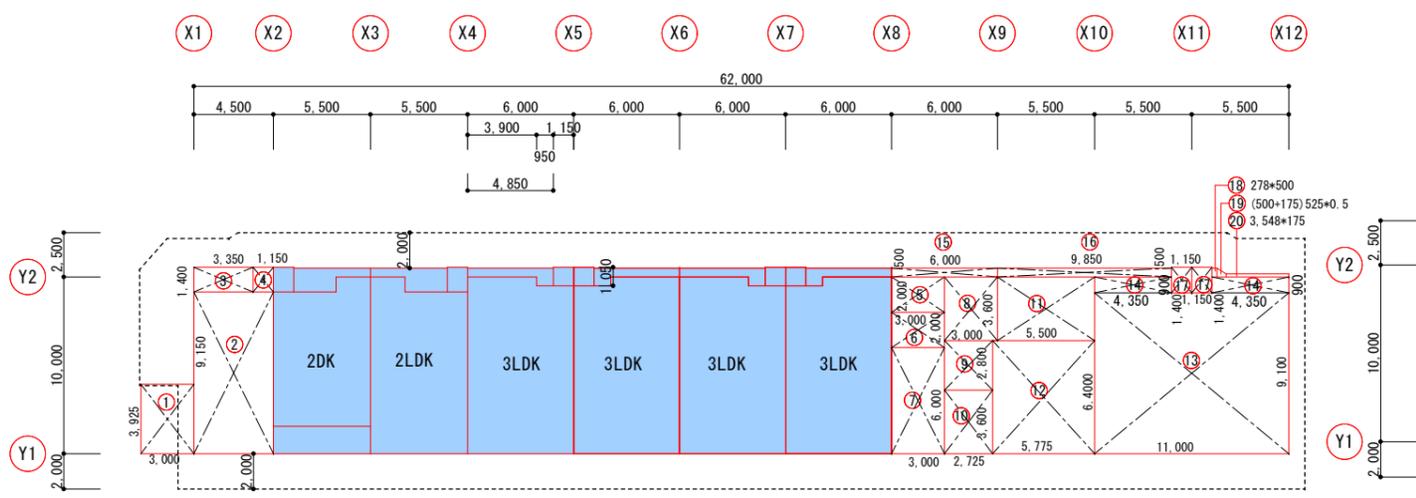


建築面積求積図 縮尺 1/300

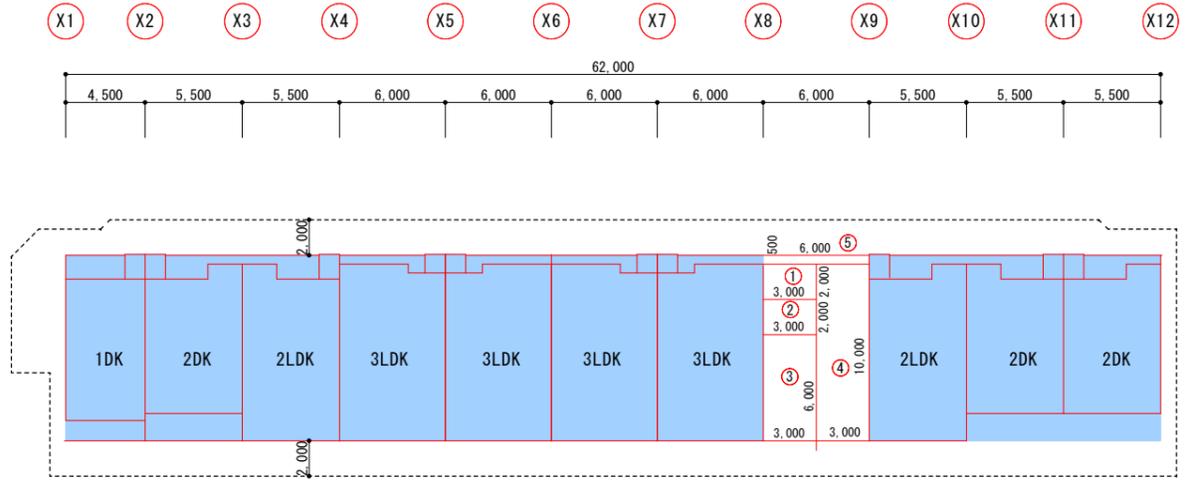
建築面積求積表(基準法)				(単位:m ²)					
記号	計算式	計算結果	面積		記号	計算式	計算結果	面積	
			屋内	外部参加部				屋内	外部参加部
①	3.000 × 3.925	11.7750	11.7750		㊸	2.075 × 6.082	12.6202		12.6202
②	4.500 × 10.550	47.4750	47.4750		㊹	(1.107+2.075) × 1.168 × 0.5	1.8583		1.8583
③	5.500 × 7.600	41.8000	41.8000		㊺	2.255 × 0.625	1.4094		1.4094
④	1.150 × 1.400	1.6100	1.6100		㊻	(0.625+1.009) × 0.525 × 0.5	0.4289		0.4289
⑤	3.900 × 0.850	3.3150	3.3150		㊼	2.862 × 1.150	3.2913		3.2913
⑥	5.500 × 9.150	50.3250	50.3250		㊽	2.400 × 2.350	5.6400		5.6400
⑦	1.150 × 1.400	1.6100	1.6100		㊾	3.900 × 1.500	5.8500		5.8500
⑧	24.000 × 9.500	228.0000	228.0000		㊿	2.400 × 2.350	5.6400		5.6400
⑨	3.900 × 0.500	1.9500	1.9500		㊻	1.150 × 0.950	1.0925		1.0925
⑩	2.550 × 1.100	2.8050	2.8050		㊼	3.900 × 1.500	5.8500		5.8500
⑪	7.800 × 0.500	3.9000	3.9000		㊽	0.825 × 2.000	1.6500		1.6500
⑫	2.550 × 1.100	2.8050	2.8050		㊾	2.550 × 0.900	2.2950		2.2950
⑬	3.900 × 0.500	1.9500	1.9500		㊿	0.825 × 2.000	1.6500		1.6500
⑭	6.000 × 10.000	60.0000	60.0000		㊻	7.800 × 1.500	11.7000		11.7000
⑮	16.500 × 10.000	165.0000	165.0000		㊼	0.825 × 2.000	1.6500		1.6500
⑯	2.300 × 0.550	1.2650	1.2650		㊽	2.550 × 0.900	2.2950		2.2950
					㊾	0.825 × 2.000	1.6500		1.6500
					㊿	9.900 × 1.500	14.8500		14.8500
					㊻	9.850 × 1.500	14.7750		14.7750
					㊼	2.300 × 0.950	2.1850		2.1850
					㊽	0.555 × 1.500	0.8325		0.8325
					㊾	(1.500+1.175) × 0.525 × 0.5	0.7022		0.7022
					㊿	3.270 × 1.175	3.8423		3.8423
					㊻	62.000 × 1.000	62.0000		62.0000
					㊼	5.500 × 1.550	8.5250		8.5250
小計			625.5850		小計				174.2826
建築面積			625.5850 + 174.2826 = 799.8676 ≒ 799.86 m ²						

1.025 × 0.775

工事名称	(仮称)公社赤道都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和元年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	共同住宅床面積求積表(基準法)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300
適用		図面番号	A-017
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	(株)かみもり設計
		資格者氏名	比嘉 豊 第305084号
		登録番号	第103-478号
		所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号



1階求積図 縮尺 1/400



基準階求積図 縮尺 1/400
2階～6階

記号	計算式	計算結果	住戸面積			共用面積								
			住戸	PS	バルコニー	廊下	EV	階段	機械室等	ピロティ等	集会室等	その他		
1DK	住戸求積図より × 1戸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2DK	住戸求積図より × 1戸	43.4575	1.6100	8.5250	4.2150	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2LDK	住戸求積図より × 1戸	49.5000	0.5500	-	7.7000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3DK	住戸求積図より × 4戸	235.8000	4.8300	-	11.6000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
①	3.000 × 3.925	11.7750	-	-	-	-	-	11.7750	-	-	-	-	-	-
②	4.500 × 9.150	41.1750	-	-	-	-	-	41.1750	-	-	-	-	-	-
③	3.350 × 1.400	4.6900	-	-	-	-	-	4.6900	-	-	-	-	-	-
④	1.150 × 1.400	1.6100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6100	-
⑤	3.000 × 2.000	6.0000	-	-	-	-	6.0000	-	-	-	-	-	-	-
⑥	3.000 × 2.000	6.0000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0000	-
⑦	3.000 × 6.000	18.0000	-	-	-	-	-	-	18.0000	-	-	-	-	-
⑧	3.000 × 3.600	10.8000	-	-	-	10.8000	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨	2.725 × 2.800	7.6300	-	-	-	7.6300	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩	2.725 × 3.600	9.8100	-	-	-	-	-	-	9.8100	-	-	-	-	-
⑪	5.500 × 3.600	19.8000	-	-	-	-	-	-	-	-	19.8000	-	-	-
⑫	5.775 × 6.400	36.9600	-	-	-	-	-	-	-	-	36.9600	-	-	-
⑬	11.000 × 9.100	100.1000	-	-	-	-	-	-	-	-	100.1000	-	-	-
⑭	4.350 × 0.900 × 2	7.8300	-	-	-	-	-	-	-	-	7.8300	-	-	-
⑮	6.000 × 0.500	3.0000	-	-	-	3.0000	-	-	-	-	-	-	-	-
⑯	9.850 × 0.500	4.9250	-	-	-	4.9250	-	-	-	-	-	-	-	-
⑰	1.150 × 1.400 × 2	3.2200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2200	-
⑱	2.780 × 0.500	1.3900	-	-	-	1.3900	-	-	-	-	-	-	-	-
⑲	(0.5+0.175) × 0.525 × 0.5	0.1772	-	-	-	0.1772	-	-	-	-	-	-	-	-
⑳	3.548 × 0.500	0.6209	-	-	-	0.6209	-	-	-	-	-	-	-	-
小計			328.7575	6.9900	8.5250	52.0581	6.0000	18.0000	57.6400	9.8100	164.6900	10.8300		
合計													663.3006 m ²	

記号	計算式	計算結果	住戸面積			共用面積								
			住戸	PS	バルコニー	廊下	EV	階段	機械室等	ピロティ等	集会室等	その他		
1DK	住戸求積図より × 1戸	36.0000	1.6100	5.1750	4.5225	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2DK	住戸求積図より × 3戸	130.3725	4.8300	25.5750	12.6450	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2LDK	住戸求積図より × 2戸	99.0000	1.1000	-	15.4000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3LDK	住戸求積図より × 4戸	235.8000	4.8300	-	11.6000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
①	3.000 × 2.000	6.0000	-	-	-	6.0000	-	-	-	-	-	-	-	-
②	3.000 × 2.000	6.0000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0000	-
③	3.000 × 6.000	18.0000	-	-	-	-	-	-	18.0000	-	-	-	-	-
④	3.000 × 10.000	30.0000	-	-	-	-	-	30.0000	-	-	-	-	-	-
⑤	6.000 × 0.500	3.0000	-	-	-	-	3.0000	-	-	-	-	-	-	-
小計			501.1725	12.3700	30.7500	77.1675	6.0000	18.0000	-	-	-	-	6.0000	-
合計													651.4600 m ²	
1階	1階共同住宅床面積求積表より	328.7575	6.9900	8.5250	52.0581	6.0000	18.0000	57.6400	9.8100	164.6900	10.8300			
2階	基準階共同住宅床面積求積表より	501.1725	12.3700	30.7500	77.1675	6.0000	18.0000	-	-	-	-	6.0000		
3階	基準階共同住宅床面積求積表より	501.1725	12.3700	30.7500	77.1675	6.0000	18.0000	-	-	-	-	6.0000		
4階	基準階共同住宅床面積求積表より	501.1725	12.3700	30.7500	77.1675	6.0000	18.0000	-	-	-	-	6.0000		
5階	基準階共同住宅床面積求積表より	501.1725	12.3700	30.7500	77.1675	6.0000	18.0000	-	-	-	-	6.0000		
6階	基準階共同住宅床面積求積表より	501.1725	12.3700	30.7500	77.1675	6.0000	18.0000	-	-	-	-	6.0000		
小計			2,834.6200	68.8400	162.2750	437.8956	36.0000	108.0000	57.6400	9.8100	164.6900	40.8300		
延べ床面積													3,920.6006 ≒ 3,920.60 m ²	

工事名称	(仮称)公社赤道都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和元年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	共同住宅床面積求積表(基準法)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:200 A3=1:400
適用		図面番号	A-018
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

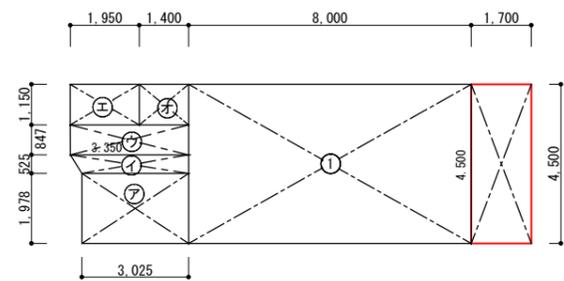
1LDK X1~X2間 2F~6F

A棟

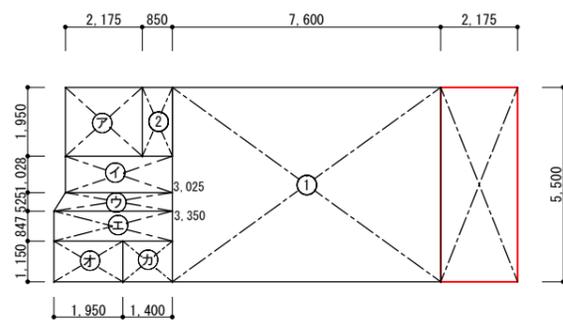
2DK X11~X12間 2F~6F

2DK 中間間

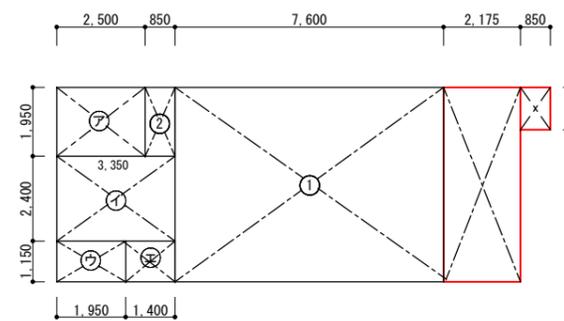
2LDK X9~X10間 2F~6F



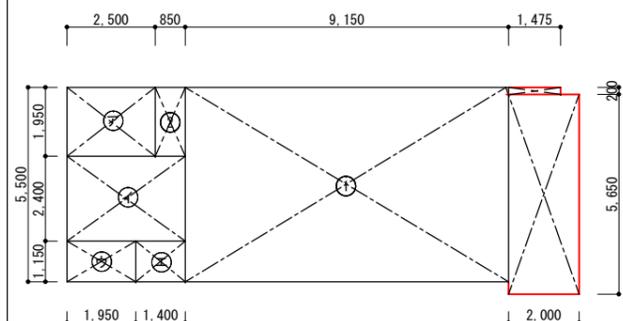
①	8.000 × 4.500 =	36.0000	
②	1.700 × 4.500 =	7.6500	7.6500 × 1/3 = 2.5500
合計		36.0000	
■ 専用面積 (1LDK) 36.0000 m ²			
■ バルコニー算入面積 (公営住宅法)		2.5500 m ²	
ア	3.025 × 1.978 =	5.9835	
イ	(3.025 + 3.350) × 0.525 × 0.5 =	1.6735	
ウ	3.350 × 0.525 =	1.7588	
エ	1.950 × 1.150 =	2.2425	
(廊下) 小計		9.4158	
オ	1.400 × 1.150 =	1.6100	
(MB) 小計		1.6100	
■ 共用面積		11.0258 m ²	



①	7.600 × 5.500 =	41.8000	
②	0.850 × 1.950 =	1.6575	
合計		43.4575	
■ 専用面積 (2DK) 43.4575 m ²			
■ バルコニー算入面積 (公営住宅法)		3.9875 m ²	
ア	2.175 × 1.950 =	4.2413	
イ	3.025 × 1.028 =	3.1097	
ウ	(3.025 + 3.350) × 0.525 × 0.5 =	1.6735	
エ	3.350 × 0.847 =	2.8375	
オ	1.950 × 1.150 =	2.2425	
(廊下) 小計		14.1045	
カ	1.400 × 1.150 =	1.6100	
(MB) 小計		1.6100	
■ 共用面積		15.7145 m ²	

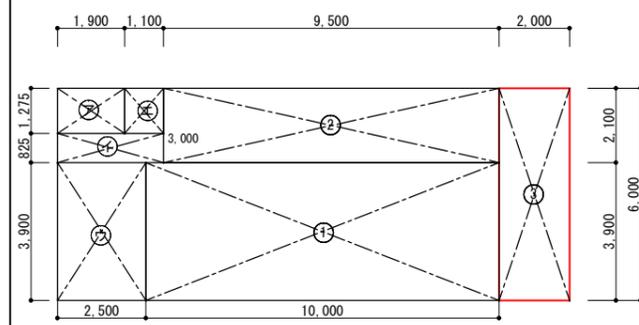


①	7.600 × 5.500 =	41.8000	
②	0.850 × 1.950 =	1.6575	
合計		43.4575	
■ 専用面積 (2DK) 43.4575 m ²			
■ バルコニー算入面積 (公営住宅法)		4.3275 m ²	
ア	2.500 × 1.950 =	4.8750	
イ	3.350 × 2.400 =	8.0400	
ウ	1.950 × 1.150 =	2.2425	
(廊下) 小計		15.1575	
エ	1.400 × 1.150 =	1.6100	
(MB) 小計		1.6100	
■ 共用面積		15.7145 m ²	



①	9.150 × 5.500 =	50.3250	
②	0.850 × 1.950 =	1.6575	
合計		51.9825	
■ 専用面積 (2DK) 43.4575 m ²			
■ バルコニー算入面積 (公営住宅法)		4.7499 m ²	
ア	2.500 × 1.950 =	4.8750	
イ	3.350 × 2.400 =	8.0400	
ウ	1.950 × 1.150 =	2.2425	
(廊下) 小計		15.1575	
エ	1.400 × 1.150 =	1.6100	
(MB) 小計		1.6100	
■ 共用面積		15.7145 m ²	

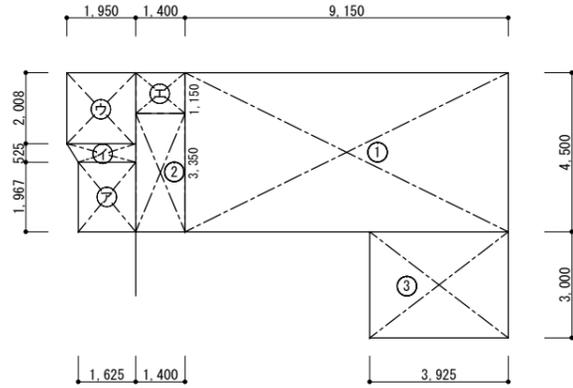
3LDK 中間



①	10.000 × 3.900 =	39.0000	
②	9.500 × 2.100 =	19.9500	
合計		58.9500	
■ 専用面積 (2DK) 58.9500 m ²			
■ バルコニー算入面積 (公営住宅法)		4.0000 m ²	
ア	1.900 × 1.275 =	2.4225	
イ	3.000 × 0.825 =	9.7500	
ウ	2.500 × 3.900 =	9.7500	
(廊下) 小計		21.9225	
エ	1.100 × 1.275 =	1.4025	
(MB) 小計		1.4025	
■ 共用面積		23.3250 m ²	

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	住戸別床面積表 (1)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	(公営住宅法) A1=1:100 A3=1:200
適用		図面番号	A-019
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

受水槽室・電気室



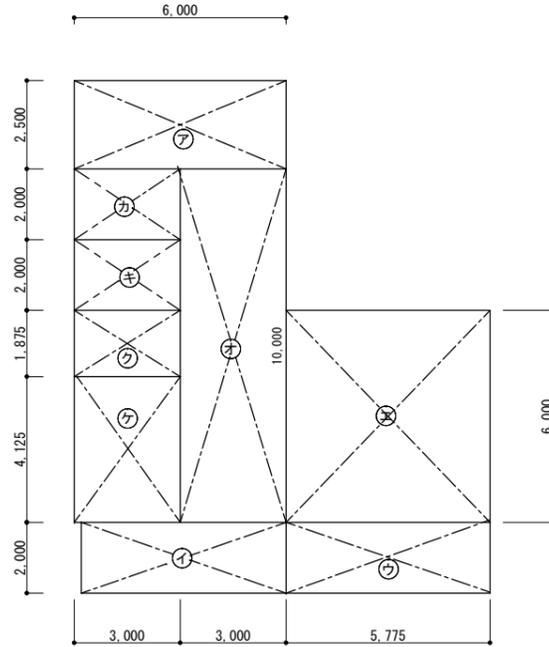
①	9.150 × 4.500 =	41.1750
②	1.400 × 3.350 =	4.6900
③	3.925 × 3.000 =	11.7750
合計		57.6400

■ 受水槽室・電気室 57.6400 m²

㉗	1.625 × 1.967 =	3.1964
㉘	(1.950+1.625) × 0.525 × 0.5 =	0.9385
㉙	1.950 × 2.008 =	3.9156
(廊下) 小計		8.0505
㉚	1.400 × 1.150 =	1.6100
(MB) 小計		1.6100

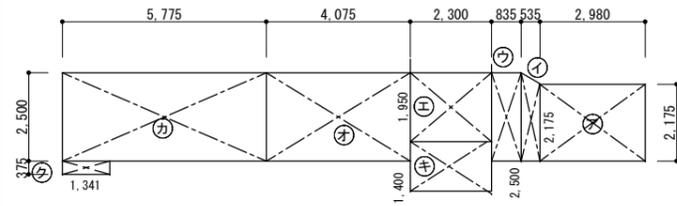
■ a 共用面積 9.6605 m²

1階EVホール・エントランスホール・階段下倉庫・階段・廊下



㉗	6.000 × 2.500 =	15.0000
㉘	6.000 × 2.000 =	12.0000
㉙	5.775 × 6.000 =	34.6500
(廊下) 小計		61.6500
㉚	5.775 × 6.000 =	34.6500
㉛	3.000 × 10.000 =	30.0000
(ホール) 小計		64.6500
㉜	3.000 × 2.000 =	6.0000
㉝	3.000 × 2.000 =	6.0000
(EV) 小計		12.0000
㉞	3.000 × 1.875 =	5.6250
(階段) 小計		5.6250
㉟	3.000 × 4.125 =	12.3750
(倉庫) 小計		12.3750
■ a 共用面積		156.3000 m ²

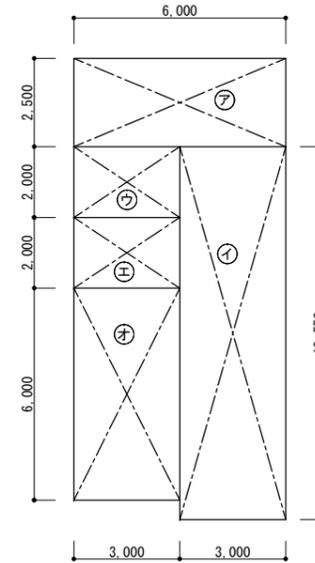
集会室



㉟	2.980 × 2.175 =	6.4815
㊰	(2.500+2.175) × 0.535 × 0.5 =	1.2506
㊱	0.835 × 2.500 =	2.0875
㊲	2.300 × 1.950 =	4.4850
㊳	4.075 × 2.500 =	10.1875
㊴	5.775 × 2.500 =	14.4375
(廊下) 小計		38.9296
㊵	2.300 × 1.400 =	3.2200
㊶	1.341 × 0.375 =	0.5029
(MB) 小計		3.7229

■ a 共用面積 42.6525 m²

2~6階EVホール・階段・廊下



㊷	6.000 × 2.500 =	15.0000
(廊下) 小計		15.0000
㊸	3.000 × 10.550 =	31.6500
(ホール) 小計		31.6500
㊹	3.000 × 2.000 =	6.0000
㊺	3.000 × 2.000 =	6.0000
(EV) 小計		12.0000
㊻	3.000 × 6.000 =	18.0000
(階段) 小計		18.0000
■ a 共用面積		76.6500 m ²

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	住戸別床面積表 (2)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	(公営住宅法) A1=1:100 A3=1:200
適用		図面番号	A-020
検印	管理建築士	設計	製図
	設計者	名称	(株) かみもり設計
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号		

公営住宅法による面積表													
棟	階	住戸専用面積			共用面積								合計
		住戸	バルコニー	小計	PS・MB	廊下	EVホール	EV	階段	倉庫	機械室等	小計	
	6階	454.1550	35.9424	490.0974	13.6600	171.6828	31.6500	12.0000	42.2563			271.2491	761.3465
	5階	454.1550	35.9424	490.0974	13.6600	171.6828	31.6500	12.0000	42.2563			271.2491	761.3465
	4階	454.1550	35.9424	490.0974	13.6600	171.6828	31.6500	12.0000	42.2563			271.2491	761.3465
	3階	454.1550	35.9424	490.0974	13.6600	171.6828	31.6500	12.0000	42.2563			271.2491	761.3465
	2階	454.1550	35.9424	490.0974	13.6600	171.6828	31.6500	12.0000	42.2563			271.2491	761.3465
	1階	331.2400	25.0774	356.3174	14.1629	81.6250	64.6500	12.0000	9.6386	18.5988	57.6400	258.3153	614.6327
	合計	2,602.0150	204.7894	2,806.8044	82.4629	940.0390	222.9000	72.0000	220.9201	18.5988	57.6400	1,614.5608	4,421.3652
	合計	2,602.0150	204.7894	2,806.8044	82.4629	940.0390	222.9000	72.0000	220.9201	18.5988	57.6400	1,614.5608	4,421.3652

住戸タイプ別共用部面積							
住戸タイプ	戸数	戸当り専用面積	タイプ別専用床面積	比率	共用部分床面積	タイプ別共用部分床面積	戸当り共用面積
				①			
1LDK	5戸	36.0000 m ²	180.0000 m ²	6.2895 %	1,614.5608 m ²	101.5397 m ²	20.3079 m ²
2DK(1)	5戸	43.4575 m ²	217.2875 m ²	7.5923 %		122.5775 m ²	24.5155 m ²
2DK(2)	11戸	43.4575 m ²	478.0325 m ²	16.7032 %		269.6801 m ²	24.5164 m ²
2LDK	11戸	51.9825 m ²	571.8075 m ²	19.9798 %		322.5892 m ²	29.3263 m ²
3LDK	24戸	58.9500 m ²	1,414.8000 m ²	49.4352 %		798.1581 m ²	33.2566 m ²
合計	56戸		2,861.9275 m ²	100 %		1,614.5446 m ²	

1戸当り平均床面積算定表								
住戸タイプ	戸数	戸当り専用面積	バルコニー	戸当り共用面積	戸当り床面積	タイプ別床面積	戸当り平均床面積	備考
	①	②	③	④	⑤=②+③+④	⑥=①×⑤		
1LDK	5戸	36.0000 m ²	2.5500 m ²	20.3079 m ²	58.8579 m ²	294.2895 m ²	84.0181 m ²	-
2DK(1)	5戸	43.4575 m ²	3.9875 m ²	24.5155 m ²	71.9605 m ²	359.8025 m ²		
2DK(2)	11戸	43.4575 m ²	4.3275 m ²	24.5164 m ²	72.3014 m ²	795.3154 m ²		
2LDK	11戸	51.9825 m ²	4.7499 m ²	29.3263 m ²	86.0587 m ²	946.6457 m ²		
3LDK	24戸	58.9500 m ²	4.0000 m ²	33.2566 m ²	96.2066 m ²	2,308.9584 m ²		
合計	56戸					4,705.0115 m ²		

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)			工事年度	令和1年度	
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11			図面名称	面積集計表 (公営住宅法)	
発注機関	沖縄県住宅供給公社			縮尺	A1=1:200 A3=1:400	
適用				図面番号	A-023	
検印	管理建築士	設計	製図	名称	(株) かみもり設計	
				資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
				登録番号	第103-478号	
				所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

■ 外部仕上表

外 壁	共用廊下	屋 根	階 段	バルコニー	駐車場・遊歩道	備 考
巾木：コンクリート打放し補修の上、複層仕上塗材(Si) (2〜3色)	床：コンクリート直均し仕上(化粧目地) 排水溝：防水モルタル塗 ドレイン溝：塗り仕上	コンクリート金ゴテ押え 屋根用カラー ウレタン塗膜防水(X-2工法)	床：コンクリート直均し 厚30mmモルタル塗 ノンスリップ目地切り(V型)EP-I塗	床：コンクリート直均し仕上(化粧目地) 排水溝：防水モルタル塗 ドレイン溝：塗り仕上	駐車場：アスファルト舗装、区画表記・白線引W=150 区画番号表記、車止め・1ブロック/1区画	・室名札板 ・新聞受金物 ・ビクトサイン板 ・消防活動用空地区画 ・縦樋 ・中継ドレイン
壁：コンクリート打放し補修の上、複層仕上塗材(Si) 一部厚30mm琉球石灰岩乱型切肌張り	巾木：コンクリート打放し補修(B) 複層塗材(Si)	厚60mm* リスレンフォーム保温板3種b打込み(特記参照)	巾木：コンクリート打放し補修(B) 複層塗材(Si)	巾木：コンクリート打放し補修(B) 複層塗材(Si)	車道：アスファルト舗装 一部カラー仕上	・集水枡 ・構造用スリット25×170(耐火2時間、防水仕様)
公社章：厚20mmカットボード 打抜き 複層塗材(Si)	壁：コンクリート打放し補修(B) 複層塗材(Si)	丸環(φ19 SUS304) ルーフトレイン(ハット型)	壁：コンクリート打放し補修(B) 複層塗材(Si)	壁：コンクリート打放し補修(B) 複層塗材(Si)	歩道：アスファルト舗装カラー仕上	・コンクリート打継ぎ部分(柱・壁等)のシーリング ・外壁面などの壁目地のシーリング
	手摺：アルミ製32φ(既製品)		手摺：アルミ製32φ(既製品)	天井：コンクリート打放し補修(B) EP-I塗	排水設備：ロードレインI型・集水枡	・EVピット外部：無機質浸透型塗布防水材塗 ・地下設備配管ピット内：無機質浸透型塗布防水材塗
	天井：コンクリート打放し補修の上、EP-I塗		天井：コンクリート打放し補修(B) EP-I塗	隔壁板、物干し金物、クロー用スリーブ		
	軒天：LGS下地 厚6mmケイ酸カルシウム板 目透し張 EP-I塗		踊り場：	冷房室外機取付用インサート		
	床下点検口(配管ピット)		階段室前廊下壁：住戸案内表示板・階数表示板			

■ 内部仕上表

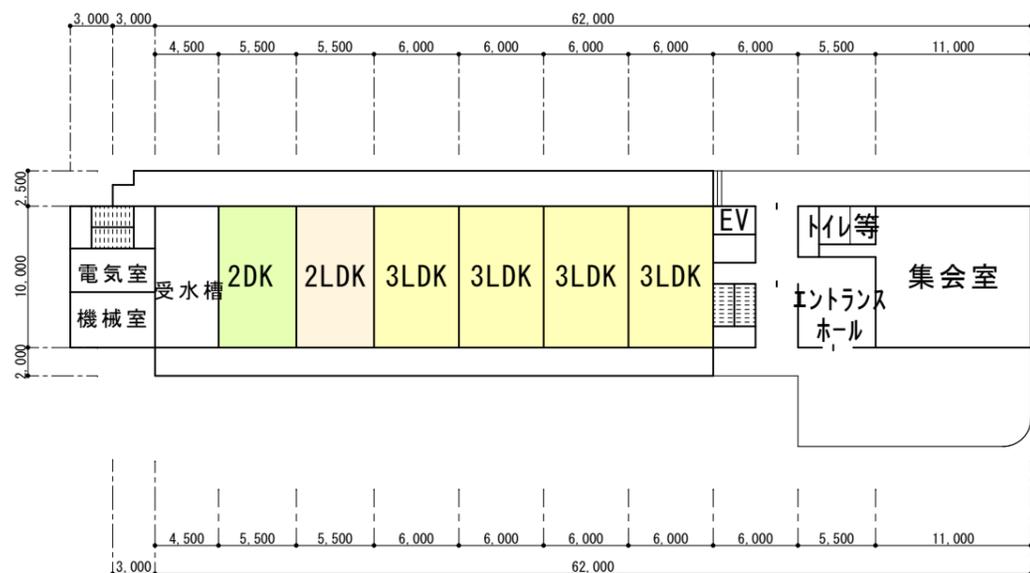
室 名	部 位	床		巾 木		壁		天 井						備 考		
		材 料	仕 上	材 料	仕 上	材 料	仕 上	材 料(基準階)	仕 上	天井高	材 料(最上階)	仕 上	天井高		回り縁	仕 上
住 戸 部 分	玄 関	W		木製巾木 15×60(メラピー)	C L	木下地 厚5.5mm化粧合板		コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.150	厚60mm押出法* リスレンフォーム断熱材3種b/A打込	2.150	メラピー(15×35)	C L	靴箱：W=900 玄関櫃：御影石100×40 木製手摺：タモ集成材L=600	
		RC	100角磁器質タイル	100角磁器質タイル	100角磁器質タイル	コンクリート打放し補修(B)	EP-II					厚9.5mm化粧石膏ボード(LGS)				
	廊 下	W		木製巾木 15×60(メラピー)	C L	木下地 厚5.5mm化粧合板		コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.450	厚60mm押出法* リスレンフォーム断熱材3種b/A打込	薄付塗材(E)	2.415	メラピー(15×35)	C L	
		RC	畳床：厚20mmパーティクルボード 厚5.5mmラワン合板下地 厚10mmチーク集成フローリング	(塗装品)			コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)							
	LDK D K	W		木製巾木 15×60(メラピー)	C L	木下地 厚5.5mm化粧合板 一部木下地 厚6mmケイカル板+厚3mmキッチンパネル		コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.450	厚60mm押出法* リスレンフォーム断熱材3種b/A打込	薄付塗材(E)	2.415	メラピー(15×35)	C L	ステンレス流し台 ガス台 吊り戸棚(L=2,100、不燃処理) ステンレス製水切り棚(L=1,200) ステンレス製床下換気口(100×440)
		RC	畳床：厚20mmパーティクルボード 厚5.5mmラワン合板下地 厚10mmチーク集成フローリング	(塗装品)			コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)							
	洋室 洋室1・洋室2	W		木製巾木 15×60(メラピー)	C L	木下地 厚5.5mm化粧合板		コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.450	厚60mm押出法* リスレンフォーム断熱材3種b/A打込	薄付塗材(E)	2.415	メラピー(15×35)	C L	クローキャップ 長押 ステンレス製床下換気口(100×440)
		RC	畳床：厚20mmパーティクルボード 厚5.5mmラワン合板下地 厚10mmチーク集成フローリング	(塗装品)			コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)							
	和 室	W		畳寄せ H=55(メラピー)	C L	木下地 厚5.5mm化粧合板		コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.450	厚60mm押出法* リスレンフォーム断熱材3種b/A打込	薄付塗材(E)	2.415	メラピー(15×35)	C L	クローキャップ 長押 厚55畳敷き(別途工事)
		RC	畳床：厚20mmパーティクルボード 厚5.5mmラワン合板下地 畳敷き タンス置場・板間：厚10mmチーク集成フローリング	(塗装品)			コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)							
洗面室	W		ソフト巾木 H=60		木下地 厚6mmケイ酸カルシウム板	EP-II	コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.100	厚6mmケイ酸カルシウム板目透し張(LGS)	EP-II	2.100	塩ビ製廻縁	—	アルミ床下点検口(450×450) 壁用点検口(200×200) 木製手摺：タモ集成材L=600 洗面化粧台、洗濯機パン(機械設備工事)	
	RC	畳床：厚20mmパーティクルボード(パラフィン処理) 厚12mm耐水ワラ合板下地 厚2.5mmビニール床シート			コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)									
便 所	W		H=100厚3mm* Δ777444塗膜防水		木下地 厚6mmケイ酸カルシウム板	EP-II	コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.100	厚6mmケイ酸カルシウム板目透し張(LGS)	EP-II	2.100	塩ビ製廻縁	—	壁用点検口(200×200) L型手摺：600×700(機械設備工事)	
	RC	コンクリート直均し、厚3mmゴムアスファルト塗膜防水(Y-2) シンダーコンクリート+100角磁器質タイル	100角磁器質タイル	100角磁器質タイル	コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)									
浴 室	W		H=100厚3mm* Δ777444塗膜防水		ユニットバス(1216)仕様		ユニットバス(1216)仕様	薄付塗材(E)	2.100	厚6mmケイ酸カルシウム板目透し張(LGS)	EP-II	2.100	塩ビ製廻縁	—	ユニットバス詳細図参照	
	RC	コンクリート直均し、厚3mmゴムアスファルト塗膜防水(Y-2) ユニットバス(1216)仕様		ユニットバス(1216)仕様	ユニットバス(1216)仕様		ユニットバス(1216)仕様									
押入・収納	W		雑巾摺り 15×15(メラピー)	C L	木下地 厚4mm化粧合板		コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.450	厚60mm押出法* リスレンフォーム断熱材3種b/A打込	薄付塗材(E)	2.415	—	—	ハンガーパイプφ32	
	RC	畳床：厚20mmパーティクルボード 厚5.5mmラワン合板下地 厚9mmラワン合板			木下地 厚4mm化粧合板		コンクリート打放し補修(B)									
共 用 部 分	集会所	W		木製巾木 15×60(メラピー)	C L	50形LGS下地 厚12.5mm石膏ボード(不燃)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.780	厚60mm押出法* リスレンフォーム断熱材3種b/A打込	薄付塗材(E)	2.600	メラピー(15×35)	C L	ステンレス製グレーチング(溝巾150) 靴箱 玄関櫃：御影石100×20 木製手摺：タモ集成材φ32
		RC	コンクリート直均し、厚10mmチーク集成フローリング(直貼クッション付) 玄関：100角磁器質タイル(ノンスリップタイプ)	(塗装品)	御影石 20×70(本磨き)	コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)								
	湯沸室	W			C L	50形LGS下地 厚12.5mm石膏ボード(不燃) 一部50形LGS下地、厚6mmケイカル板+厚3mmキッチンパネル	EP-II	コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.400	厚9.5mm化粧石膏ボード(LGS)	薄付塗材(E)	2.400	メラピー(15×35)	C L	ステンレス流し台 ガス台(L=1,400) 吊り戸棚(L=800、不燃処理) ステンレス製水切り棚(L=800)
		RC	コンクリート直均し 厚10mmチーク集成フローリング(直貼クッション付)			コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)								
便所1	W		H=100厚3mm* Δ777444塗膜防水		木下地 厚6mmケイ酸カルシウム板	EP-II	コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	2.100	厚6mmケイ酸カルシウム板目透し張(LGS)	EP-II	2.100	塩ビ製廻縁	—	ビクトサイン(車いす使用者用) グレーチング(機械設備工事)	
RC	コンクリート直均し、厚3mmゴムアスファルト塗膜防水(Y-2) 100角磁器質タイル(ノンスリップタイプ)	100角磁器質タイル	100角磁器質タイル	コンクリート打放し補修(B)	コンクリート打放し補修(B)	EP-II	コンクリート打放し補修(B)									
電気室	RC	コンクリート直均し仕上	防塵塗装 (エポキシ塗)	コンクリート打放し補修(B) 防塵塗装 H=300	厚25mm木毛セメント版打込み(準不燃)		厚25mm木毛セメント版打込み(準不燃)					4.275	—	—		
受水槽室	RC	コンクリート直均し仕上		コンクリート打放し補修(B) H=100	厚25mm木毛セメント版打込み(準不燃)		厚25mm木毛セメント版打込み(準不燃)					4.625	—	—		
配管ピット	RC	コンクリート直均し仕上 無機質浸透型塗布防水		コンクリート打放し素地	コンクリート打放し素地		コンクリート打放し素地					—	—	—	点検口、タラップ	
EV昇降路	RC	内部：コンクリート直均しの上、ウレタン塗膜防水(難燃) 外部：コンクリート打放し補修の上、無機質浸透型塗布防水材塗	同左(GLまで) 同左(GLまで)	コンクリート打放し素地	コンクリート打放し素地		コンクリート打放し素地					—	—	—	機械搬入用フック	
EVホール	RC	コンクリート直均し仕上(化粧目地) 一部視覚障害者用タイル 300×300(黄)		コンクリート打放し補修(B)	コンクリート打放し補修(B)	複層塗材(Si)	コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	EP-I	—	—	—	—	—	ステンレス製グレーチング(溝幅200) 掲示板	
集合郵便受	RC	コンクリート直均し仕上		コンクリート打放し補修(B)	コンクリート打放し補修(B)	複層塗材(Si)	コンクリート打放し補修(B)	薄付塗材(E)	EP-I	—	—	—	—	—	ステンレス製集合郵便受箱(104戸+1)	
階段下倉庫	RC	コンクリート直均し仕上		コンクリート打放し補修(B)	コンクリート打放し補修(B)		コンクリート打放し補修(B)					—	—	—		
PS	RC	コンクリート直均し仕上		コンクリート打放し素地	コンクリート打放し素地		コンクリート打放し素地					—	—	—		

※集会所は平12建告第1436号第四号二(四)を適用。(内装：下地・仕上共不燃仕上)
※内装パネル工法の仕様は内装パネル仕様書に依る。

塗 装 凡 例		
EP-I	合成樹脂エマルジョンペイント1種(外部用)	準不燃:QM-9816
EP-II	合成樹脂エマルジョンペイント2種(内部用)	
E	合成樹脂エマルジョン系薄付仕上塗材	準不燃:QM-9812
Si	けい酸質系複層仕上塗材	準不燃:QM-9813
CL	クイヤクラッカー(B種)	

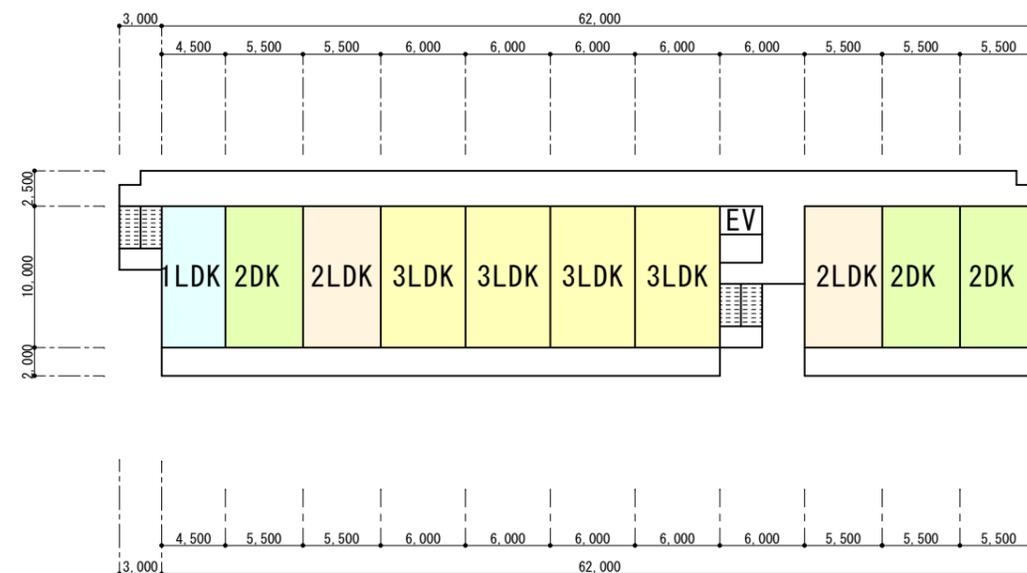
特 記 事 項			
1	・シックハウス対策による内装の仕上げ、天井裏等の下地(床下地材等を含む)についてはF☆☆☆☆の材料を使用する。	7	・最上階スラブ下は、厚60mm 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種b/A断熱材打込とする。(S1-F工法)
2	・ケイ酸カルシウム板は、ノンスベスト製品とする。不燃:NM-8578	8	・内装仕上に用いる全ての接着剤は、F☆☆☆☆の材料を使用する。
3	・天井 軽量鉄骨下地 7)9.5mm化粧石膏ボード 準不燃:QM-9824	9	・界壁とボード類の間に接着モルタル等の点付けによって空隙がないこと。
4	・天井下地組は、全て軽量鉄骨工事とする。(内部19型、外部25型)	10	・厚25mm木毛セメント板 準不燃:QM-9701
5	・洗面室の床シート張の接着剤はエポキシ樹脂系とする。	11	・畳(和室)は別途工事とする。
6	・造作材は、CL塗とする。	12	

工事名称	(仮称)公社赤道都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	仕上表
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮 尺	A1=1:200 A3=1:400
適 用		図面番号	A-024
検 印	管理建築士	設 計	製 図
	名 称	(株)かみり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号		



1階平面図

縮尺 1/500



2～6階平面図

縮尺 1/500

住棟タイプ E棟案 6階建て				
型式	住戸面積	住戸数	区分率	面積
1LDK	36m ²	5戸	6%	180m ²
2DK	44m ²	16戸	25%	704m ²
2LDK	50m ²	11戸	20%	550m ²
3LDK	58m ²	24戸	49%	1,392m ²
合計		56戸	100%	2,826m ²

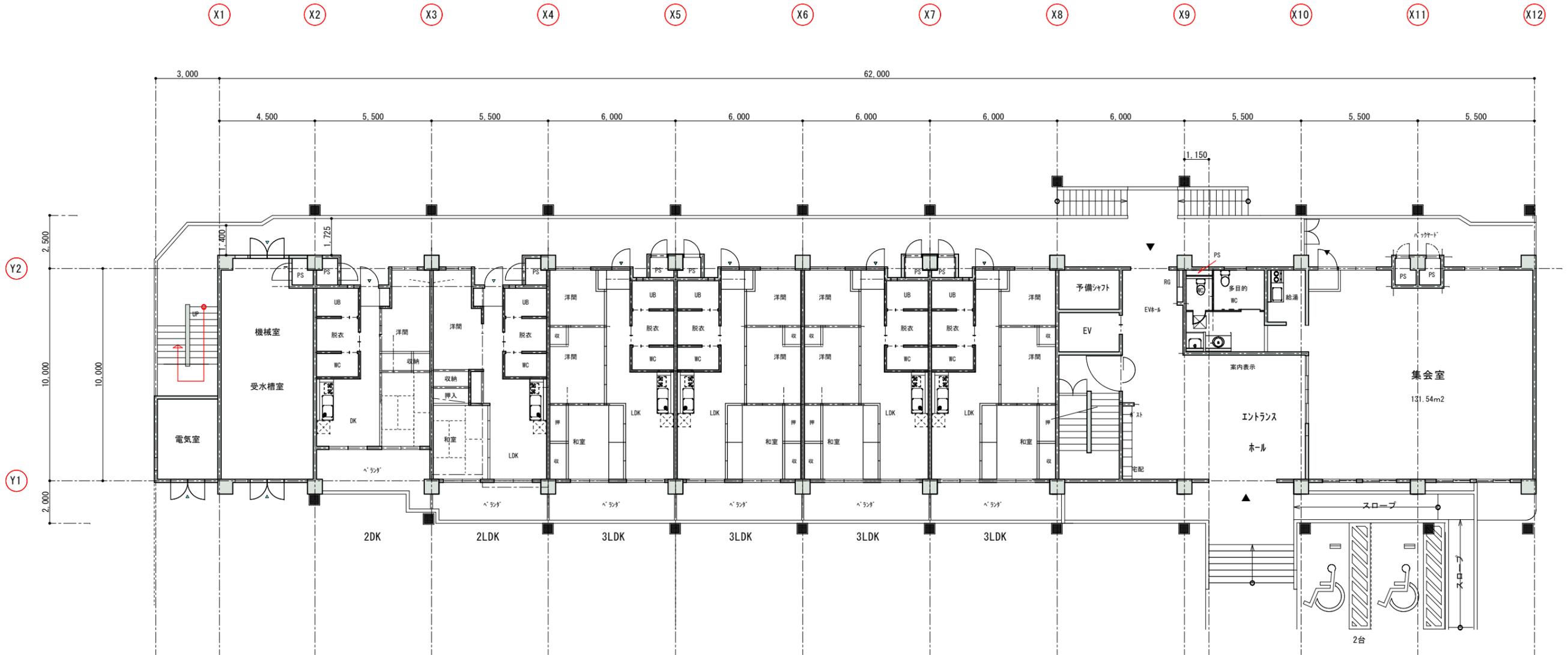
共有部分	38m ² ×6階	228m ²
エントランスホール		25m ²
集会室		85m ²
機械室		23m ²
電気室		18m ²
受水槽室		36m ²
延べ面積		3,980m ²
建築面積		854m ²
備考		

18,600
3,000 3,000 3,000 3,000 3,000 600

	1LDK	2DK	2LDK	3LDK	3LDK	3LDK	3LDK		2LDK	2DK	2DK
	1LDK	2DK	2LDK	3LDK	3LDK	3LDK	3LDK		2LDK	2DK	2DK
	1LDK	2DK	2LDK	3LDK	3LDK	3LDK	3LDK		2LDK	2DK	2DK
	1LDK	2DK	2LDK	3LDK	3LDK	3LDK	3LDK		2LDK	2DK	2DK
	1LDK	2DK	2LDK	3LDK	3LDK	3LDK	3LDK		2LDK	2DK	2DK
機械室	受水槽	2DK	2LDK	3LDK	3LDK	3LDK	3LDK		ホール	集会室	

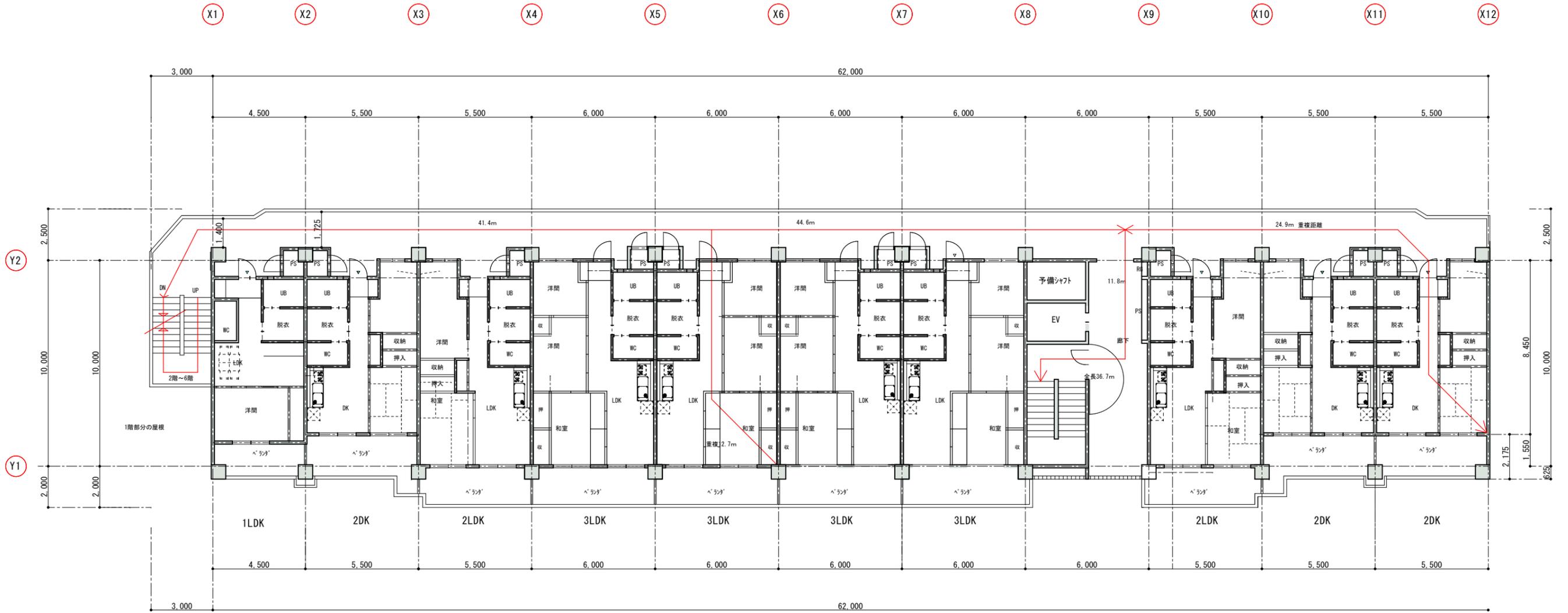
E棟断面図

工事名称	(仮称)公社赤道都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	住戸KEYPLAN
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:250 A3=1:500
適用		図面番号	A-025
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	



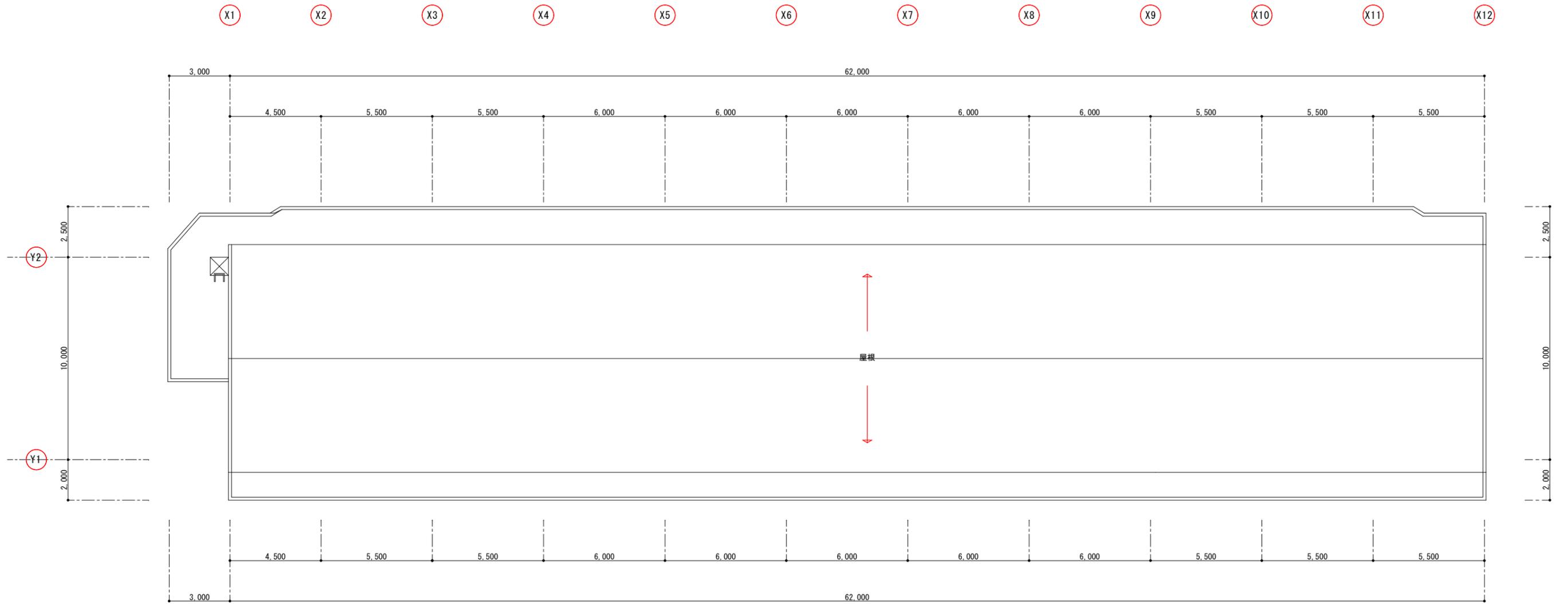
1階平面図 縮尺 1/200

工事名称	(仮称)公社赤道都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	1階平面図
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:100 A3=1:200
適用		図面番号	A-026
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	



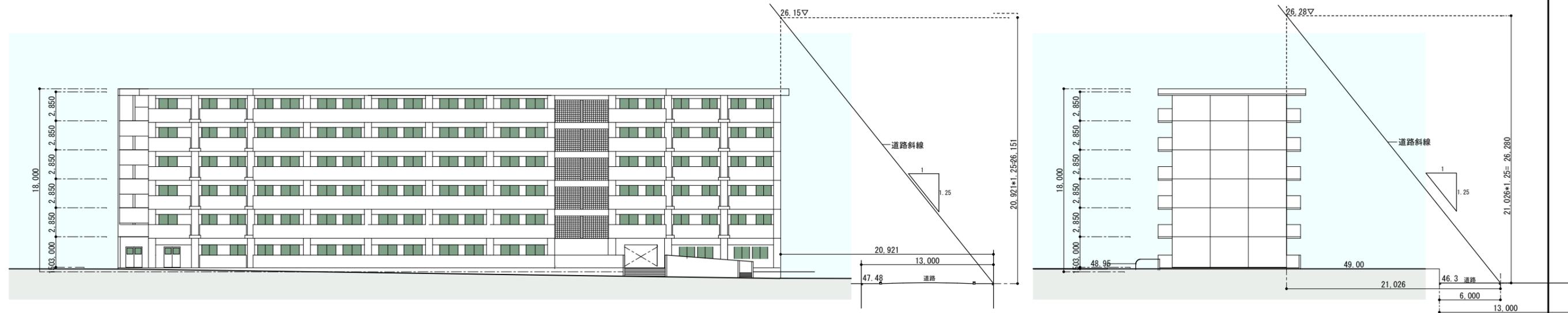
基準階平面図 縮尺 1/200 2階～6階

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	基準階平面図 2階～6階
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:100 A3=1:200
適用		図面番号	A-027
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	



屋根伏せ図 縮尺 1/200

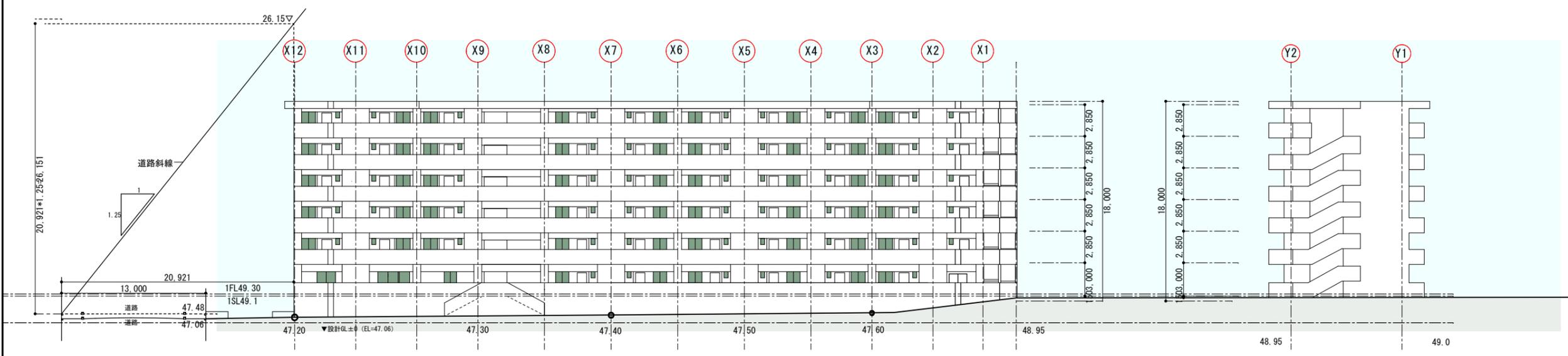
工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)			工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11			図面名称	屋根伏せ図
発注機関	沖縄県住宅供給公社			縮尺	A1=1:100 A3=1:200
適用				図面番号	A-028
検印	管理建築士	設計	製図	名称	(株) かみもり設計
				資格者氏名	比嘉 豊 第305084号
				登録番号	第103-478号
				所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号



南側立面図 縮尺 1/400

※隣地斜線は20m立ち上がりからの勾配1.25なので適合する。

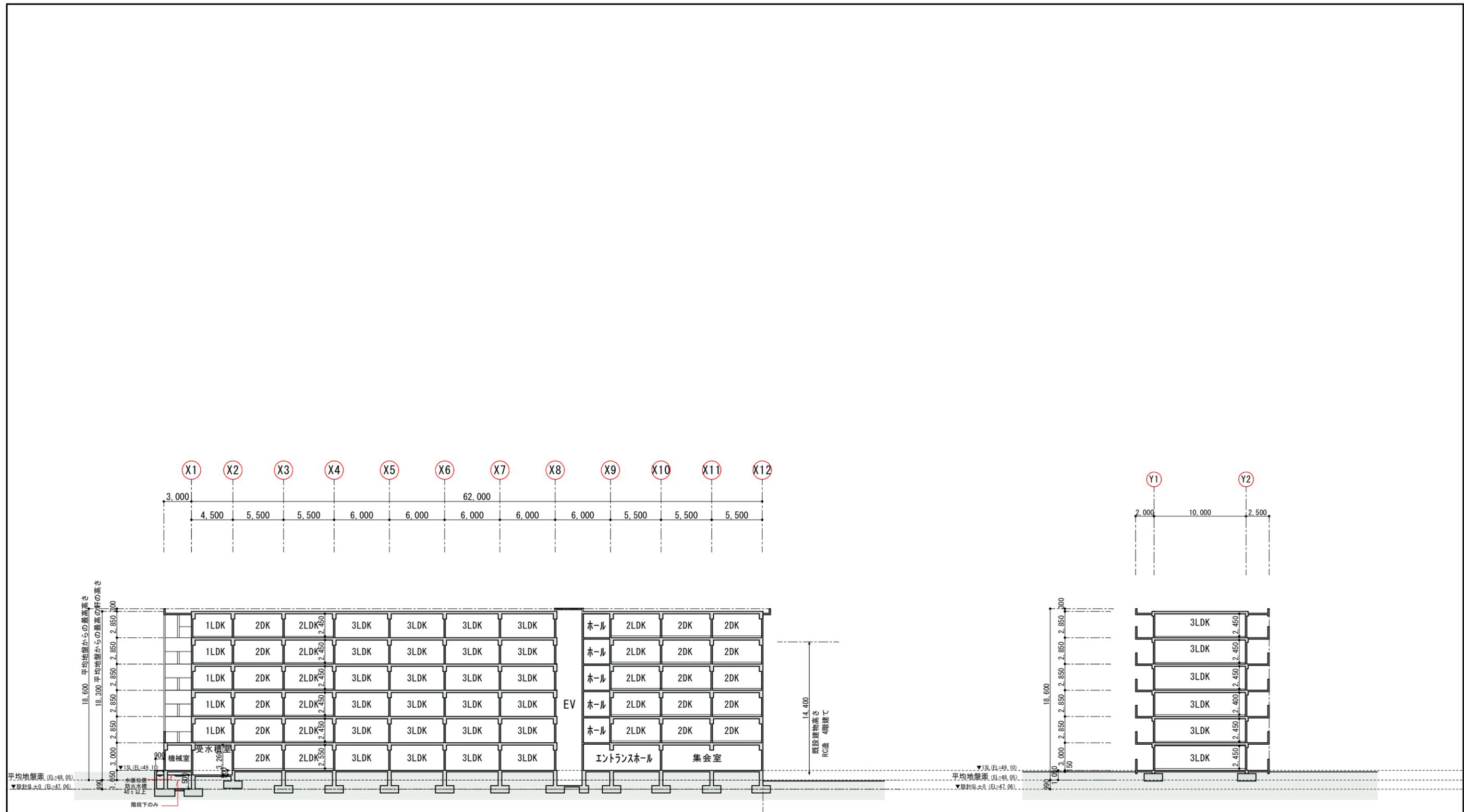
東側立面図 縮尺 1/400



北側立面図 縮尺 1/400

東側立面図 縮尺 1/400

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和元年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	立面図
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:200 A3=1:400
適用		図面番号	A-029
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	



東西断面図 縮尺 1/400

南北断面図 縮尺 1/400

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	断面図
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:200 A3=1:400
適用		図面番号	A-030
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	